

二宮町
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
及び在宅介護実態調査
調査結果報告書

令和5年3月

二宮町

目次

I	調査概要.....	5
1	調査の目的.....	5
2	調査対象.....	5
3	調査方法.....	5
4	回収状況.....	5
5	調査結果の表示方法.....	5
II	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	6
1	あなたご自身やご家族、生活状況について.....	7
2	からだを動かすことについて.....	13
3	食べることについて.....	19
4	毎日の生活について.....	25
5	地域での活動について.....	35
6	あなたとまわりの人の「助け合い」について.....	44
7	日常生活支援サービスについて.....	48
8	健康について.....	51
9	認知症高齢者支援について.....	55
10	在宅医療と介護、看取りについて.....	60
11	消費者被害等について.....	65
12	災害時等の支援について.....	67
13	虐待について.....	69
14	高齢者福祉政策全般について.....	72
III	要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析.....	75
1	要介護状態になるリスクの発生状況.....	75
(1)	運動機能の低下.....	75
(2)	閉じこもり.....	78
(3)	転倒.....	80
(4)	栄養.....	82
(5)	口腔機能.....	84
(6)	認知機能.....	86

(7) うつ傾向.....	88
2 日常生活.....	90
(1) 手段的自立度（IADL）.....	90
3 社会参加.....	93
(1) 知的能動性.....	93
(2) 社会的役割.....	96
IV 在宅介護実態調査.....	98
A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目.....	98
B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目.....	109

I 調査概要

1 調査の目的

令和6年度から3年間の計画である高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の改定に向けた基礎資料として、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象

調査名	調査対象者	対象者数
①介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	65歳以上の一般高齢者及び要支援認定者等	700人
②在宅介護実態調査	在宅の要支援・要介護認定者	300人

3 調査方法

①介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

調査方法：郵送による発送・回収

調査期間：令和4年11月21日～令和4年12月5日

②在宅介護実態調査

調査方法：認定調査員による聞き取り調査、一部郵送による発送・回収

調査期間：令和4年1月4日～令和4年12月27日

4 回収状況

調査名	配布数	回収数	回収率
①介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	700件	553件	79.0%
②在宅介護実態調査	(聞取調査分)	200件	100.0%
	(郵送調査分)	100件	68.0%
合計	1,000件	821件	82.1%

5 調査結果の表示方法

- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものに下線を引いています。（無回答を除く）
- 報告書中の文章や表において、設問や選択肢の一部を省略して記載している場合があります。

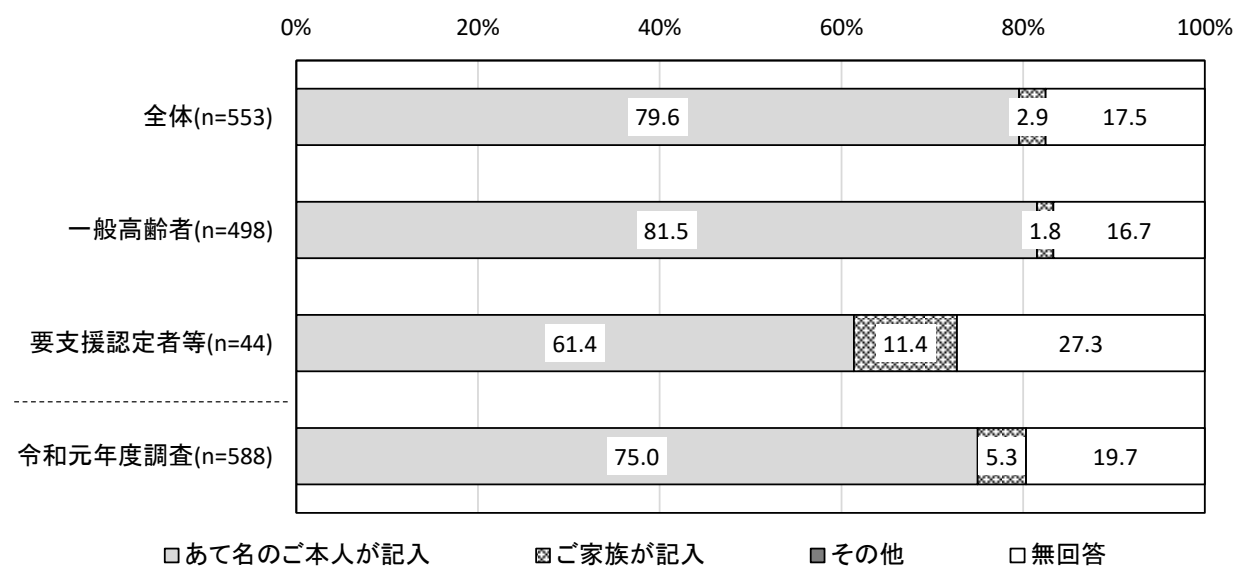
Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

一般高齢者では、「あて名のご本人が記入」が81.5%と最も高く、次いで「ご家族が記入」が1.8%となっています。要支援認定者等では、「あて名のご本人が記入」が61.4%と最も高く、次いで「ご家族が記入」が11.4%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「ご家族が記入」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「あて名のご本人が記入」の割合が高くなっています。



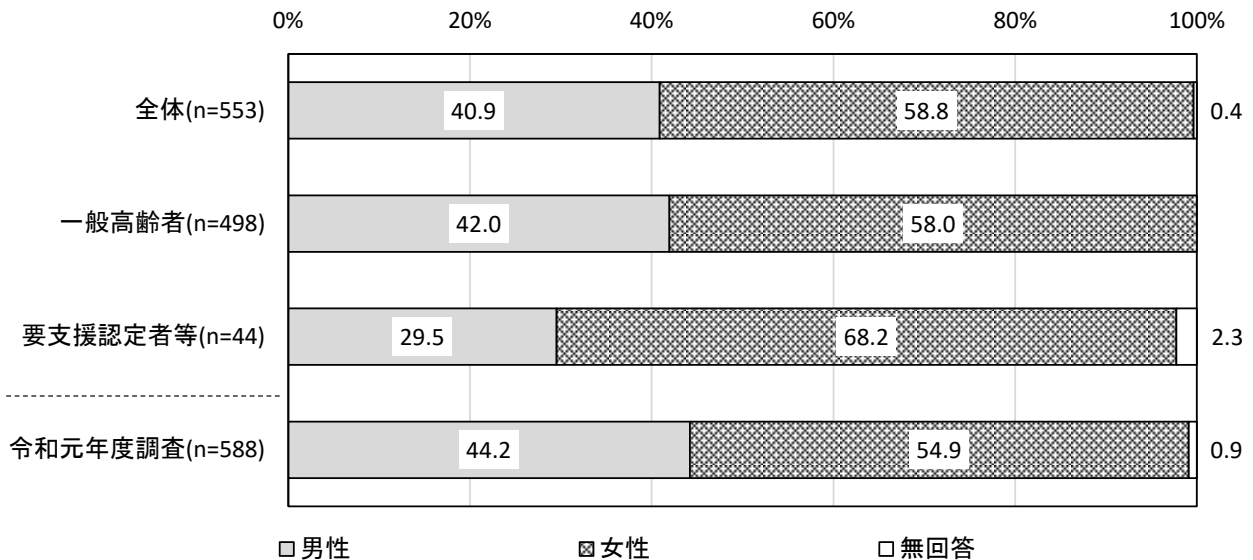
1 あなたご自身やご家族、生活状況について

問1 あなたの性別について、ご回答ください（1つを選択）

一般高齢者では、「男性」が42.0%、「女性」が58.0%となっています。要支援認定者等では、「男性」が29.5%、「女性」が68.2%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「女性」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「女性」の割合が高くなっています。

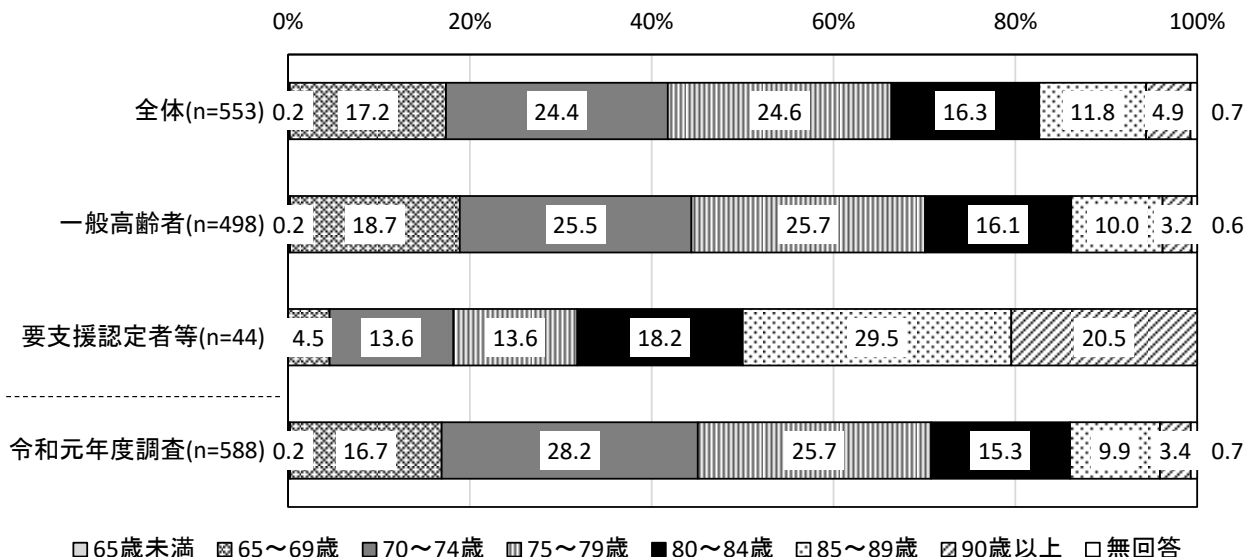


問2 あなたの年齢をご回答ください（1つを選択）

一般高齢者では、「75～79歳」が25.7%と最も高く、次いで「70～74歳」が25.5%となっています。要支援認定者等では、「85～89歳」が29.5%と最も高く、次いで「90歳以上」が20.5%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「85～89歳」「90歳以上」の割合が特に高くなっています。

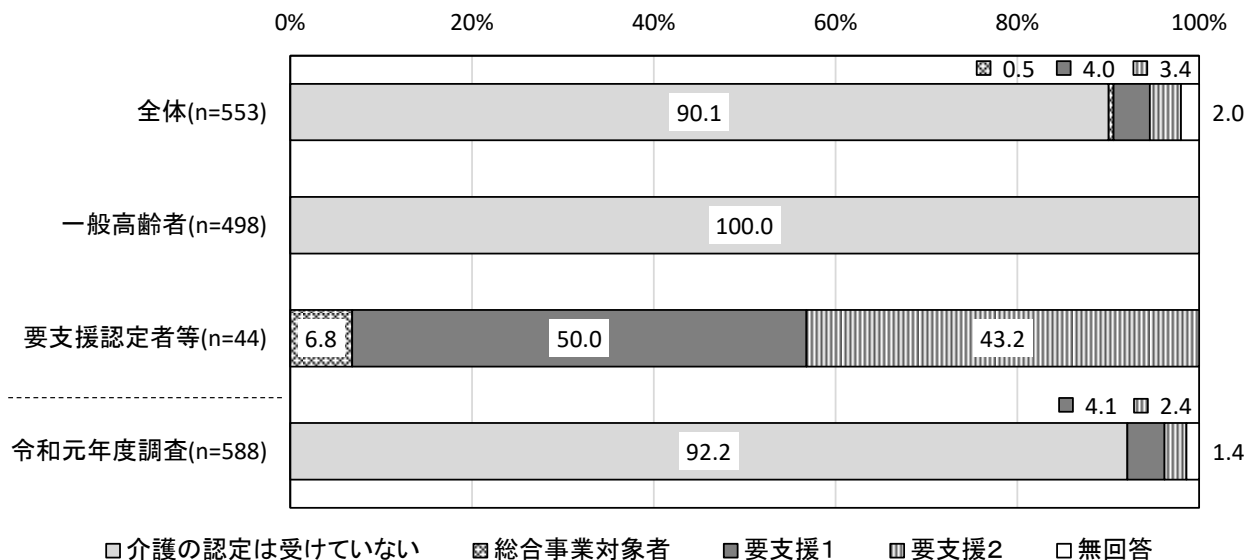
令和元年度調査と比べると、全体では「85～89歳」「90歳以上」の割合が特に高くなっています。



問3 あなたの介護保険の要介護度をお答えください（1つを選択）

要支援認定者等では、「事業対象者」が6.8%、「要支援1」が50.0%、「要支援2」が43.2%となっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

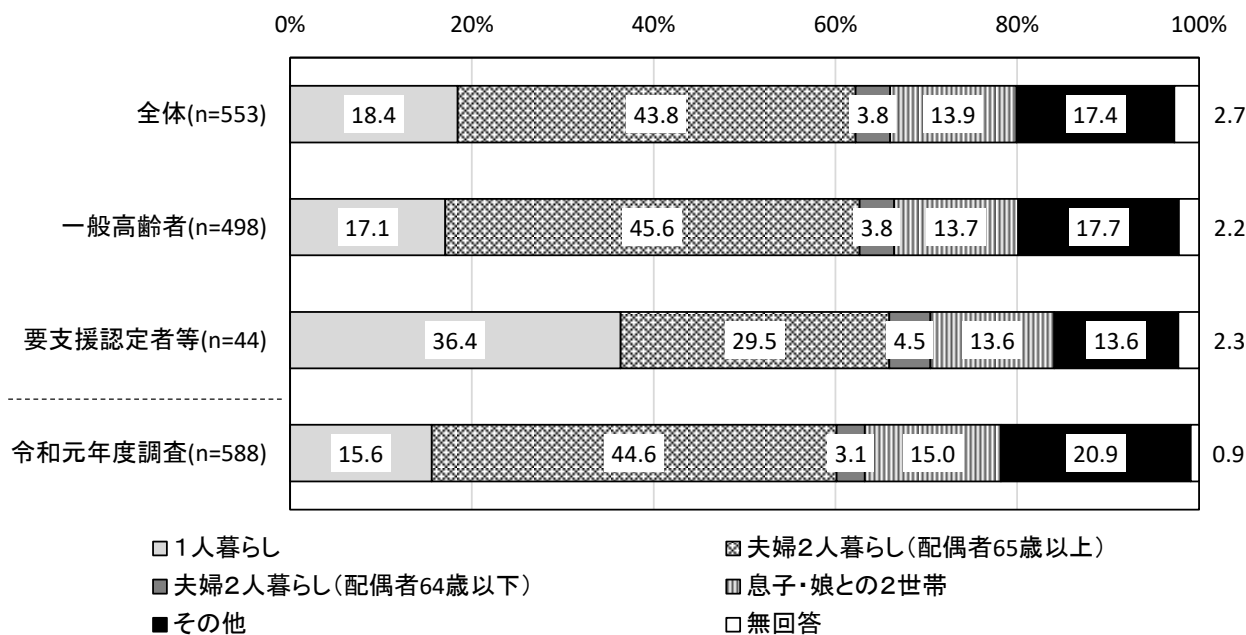


問4 家族構成をお教えてください（1つを選択）

一般高齢者では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が45.6%と最も高く、次いで「1人暮らし」が17.1%、「息子・娘との2世帯」が13.7%となっています。要支援認定者等では、「1人暮らし」が36.4%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が29.5%、「息子・娘との2世帯」が13.6%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「1人暮らし」の割合が特に高くなっています。

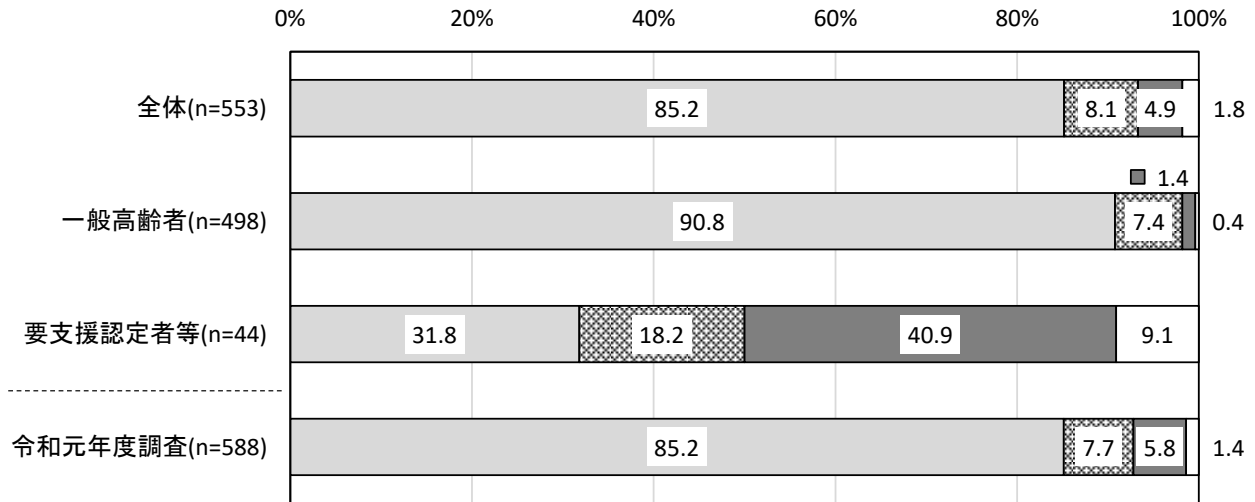
令和元年度調査と比べると、全体では「1人暮らし」の割合が特に高くなっています。



問5 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つを選択）

一般高齢者では、「介護・介助は必要ない」が90.8%と最も高くなっています。要支援認定者等では、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が40.9%と最も高く、次いで「介護・介助は必要ない」が31.8%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が18.2%となっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。



- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
- 無回答

問5で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方にお伺いします。

問5-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（複数選択可）

一般高齢者と要支援認定者等では、「高齢による衰弱」がそれぞれ25.0%、34.6%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「心臓病」「がん（悪性新生物）」「関節の病気（リウマチ等）」「骨折・転倒」「脊椎損傷」「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「心臓病」「視覚・聴覚障害」「高齢による衰弱」の割合が特に高くなっています。

		脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病
(単位：%)									
全体	(n=72)	11.1	15.3	5.6	4.2	6.9	4.2	0.0	8.3
一般高齢者	(n=44)	6.8	11.4	4.5	4.5	4.5	6.8	0.0	9.1
要支援認定者等	(n=26)	19.2	19.2	7.7	0.0	11.5	0.0	0.0	3.8
令和元年度調査	(n=79)	13.9	6.3	8.9	3.8	7.6	3.8	1.3	8.9
		腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
(単位：%)									
全体	(n=72)	0.0	18.1	19.4	4.2	27.8	15.3	0.0	16.7
一般高齢者	(n=44)	0.0	20.5	11.4	2.3	25.0	11.4	0.0	25.0
要支援認定者等	(n=26)	0.0	15.4	30.8	7.7	34.6	23.1	0.0	3.8
令和元年度調査	(n=79)	0.0	8.9	17.7	8.9	17.7	15.2	2.5	16.5

問5で「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方にお伺いします。

問5-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか（複数選択可）

一般高齢者では、「息子」「娘」が28.6%と最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」が14.3%となっています。要支援認定者等では、「配偶者（夫・妻）」が27.8%と最も高く、次いで「息子」「娘」「介護サービスのヘルパー」が16.7%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「配偶者（夫・妻）」の割合が特に高くなっています。

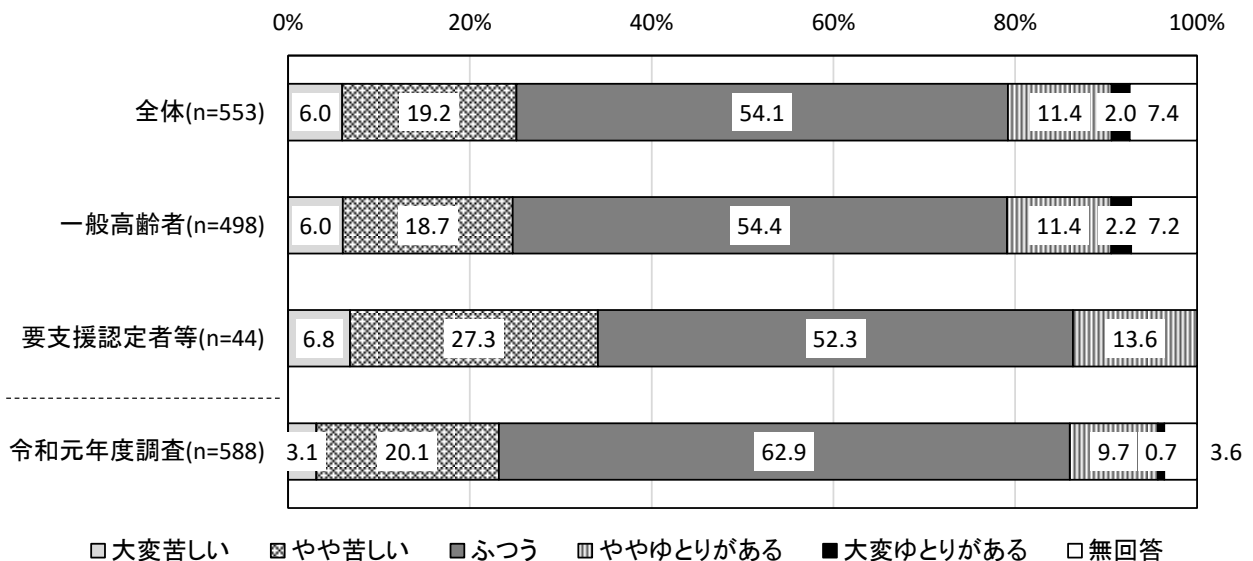
令和元年度調査と比べると、全体では「息子」「介護サービスのヘルパー」の割合が特に高くなっています。

		配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護 サービスの ヘルパー	その他	無 回答
(単位:%)										
全体	(n=27)	22.2	22.2	18.5	0.0	3.7	0.0	14.8	14.8	18.5
一般高齢者	(n=7)	0.0	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0
要支援認定者等	(n=18)	27.8	16.7	16.7	0.0	5.6	0.0	16.7	11.1	27.8
令和元年度調査	(n=79)	38.0	17.7	19.0	6.3	1.3	3.8	6.3	3.8	21.5

問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』が24.7%、要支援認定者等では34.1%と、9.4ポイントの差となっています。

令和元年度調査と比べると、全体では『苦しい』が2.0ポイント高くなっています。

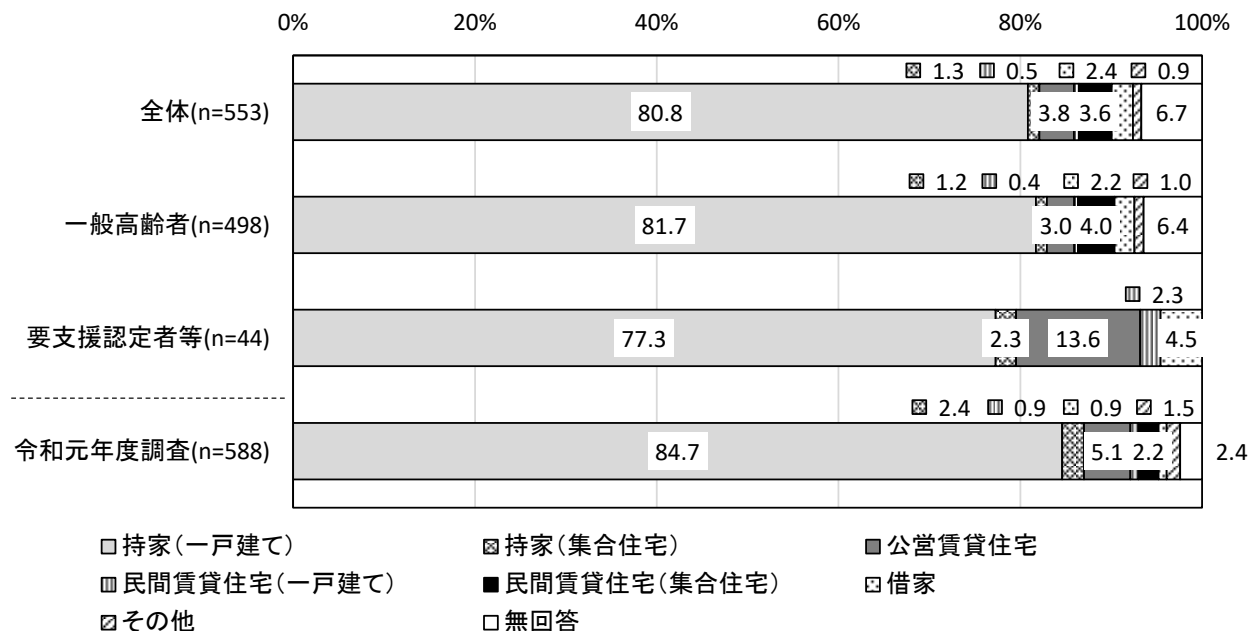


問7 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（1つを選択）

一般高齢者と要支援認定者等では、「持家（一戸建て）」がそれぞれ81.7%、77.3%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「公営賃貸住宅」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。



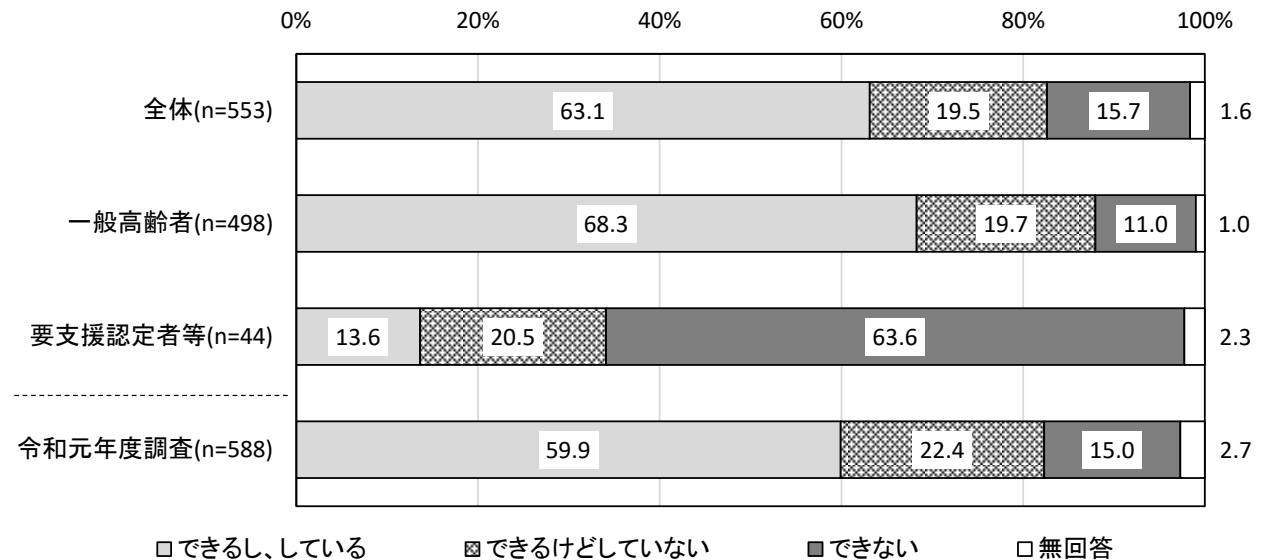
2 からだを動かすことについて

問8 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」が68.3%と最も高くなっています。要支援認定者等では、「できない」が63.6%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できない」の割合が特に高く、差は52.6ポイントとなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「できるし、している」の割合が特に高くなっています。

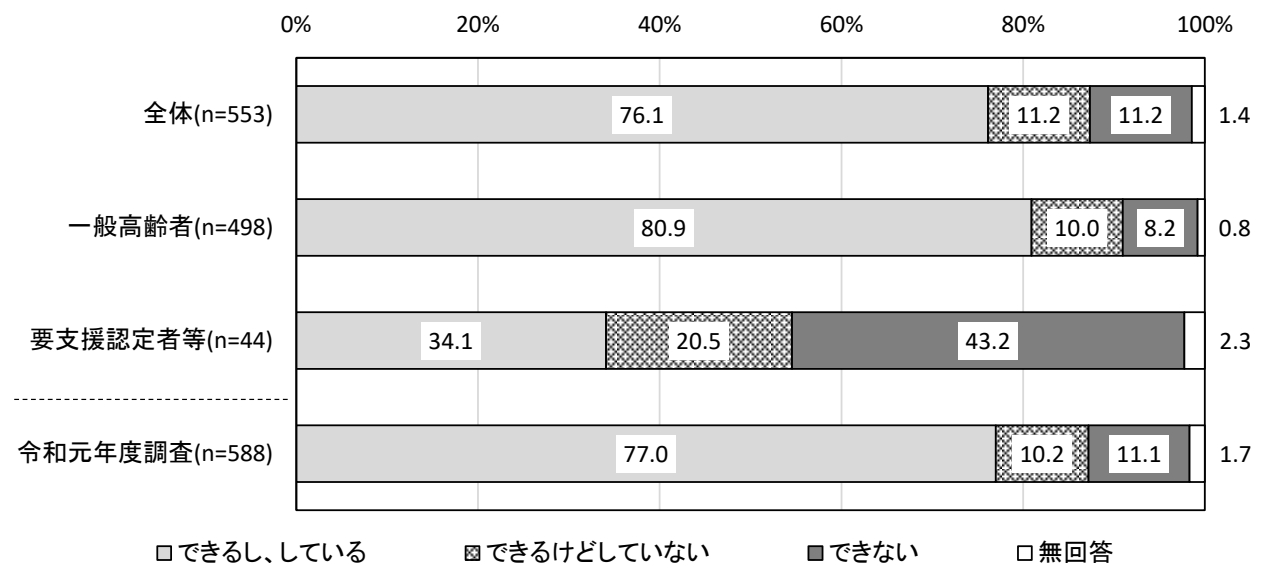


問9 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」が80.9%と最も高くなっています。要支援認定者等では、「できない」が43.2%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できない」の割合が特に高く、差は35.0ポイントとなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

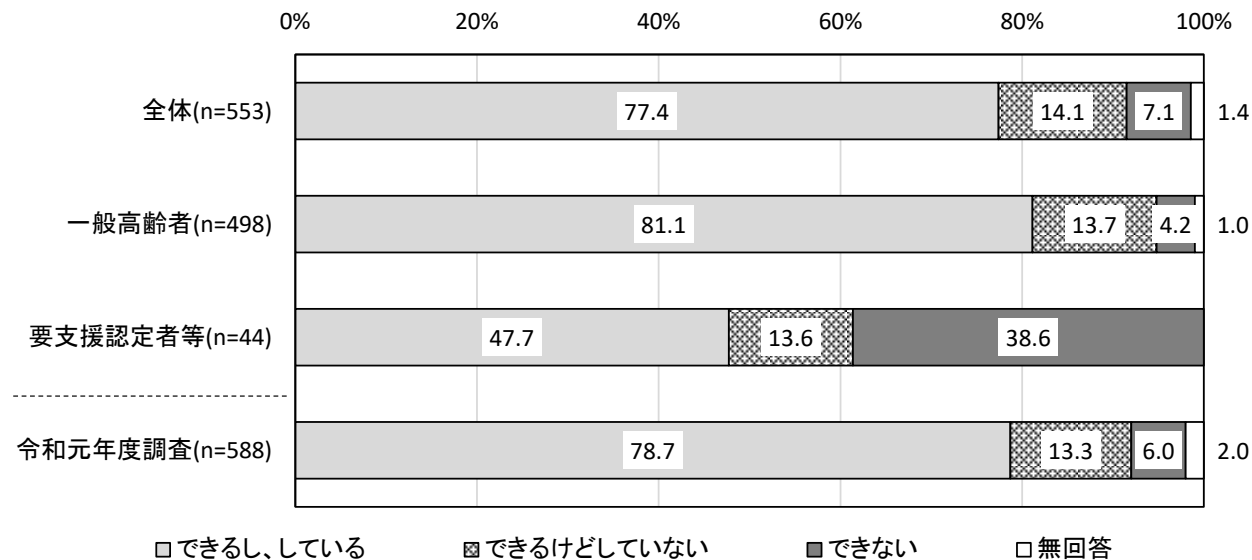


問10 15分位続けて歩いていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」が81.1%と最も高くなっています。要支援認定者等でも、「できるし、している」が47.7%と最も高く、次いで「できない」が38.6%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できない」が34.4ポイント高くなっています。

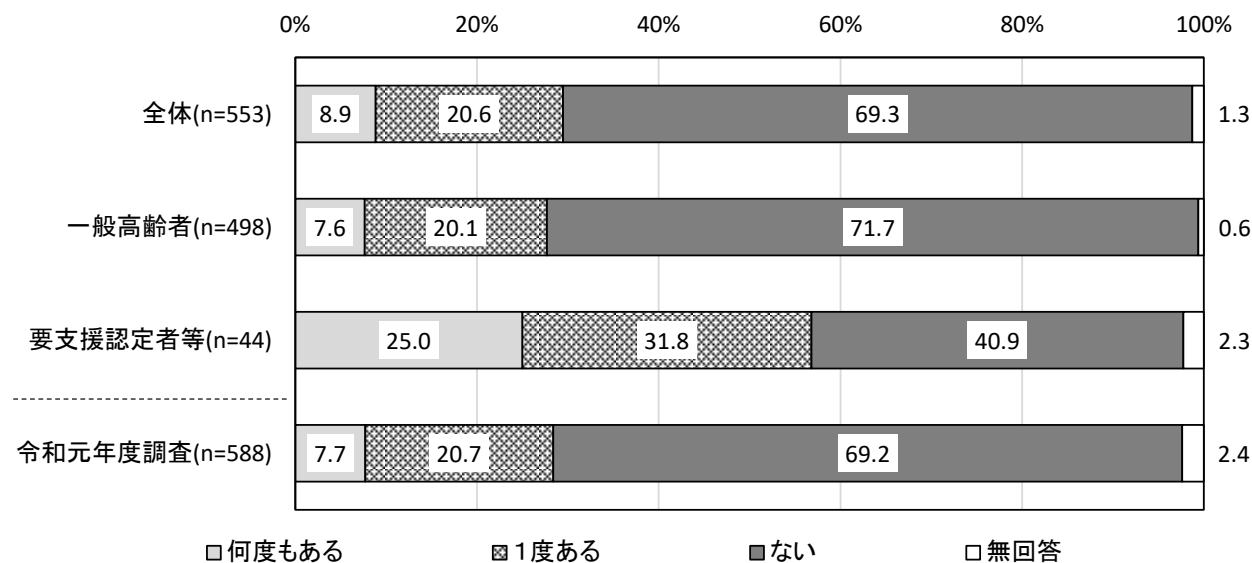
令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。



問11 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つを選択）

一般高齢者では、「何度もある」と「1度ある」を合わせた『過去1年間に転んだ経験がある人』が27.7%、要支援認定者等では56.8%と、29.1ポイントの差となっています。

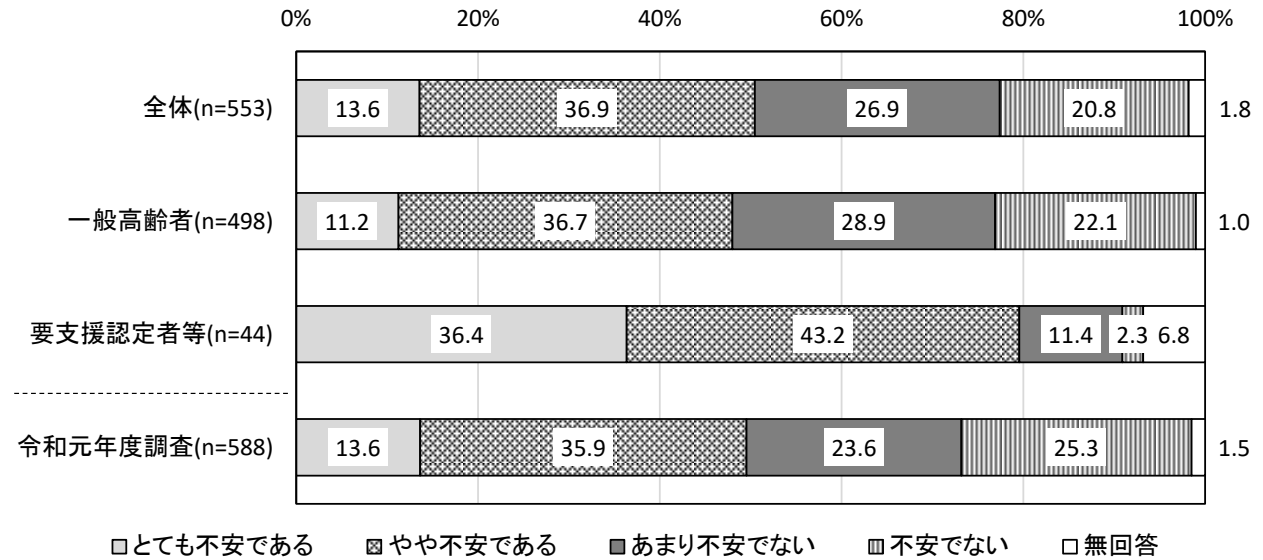
令和元年度調査と比べると、全体では『過去1年間に転んだ経験がある人』が1.1ポイント高くなっています。



問 12 転倒に対する不安は大きいですか（1つを選択）

一般高齢者では、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『転倒に対して不安な人』が47.9%、要支援認定者等では79.6%と、31.7ポイントの差となっています。

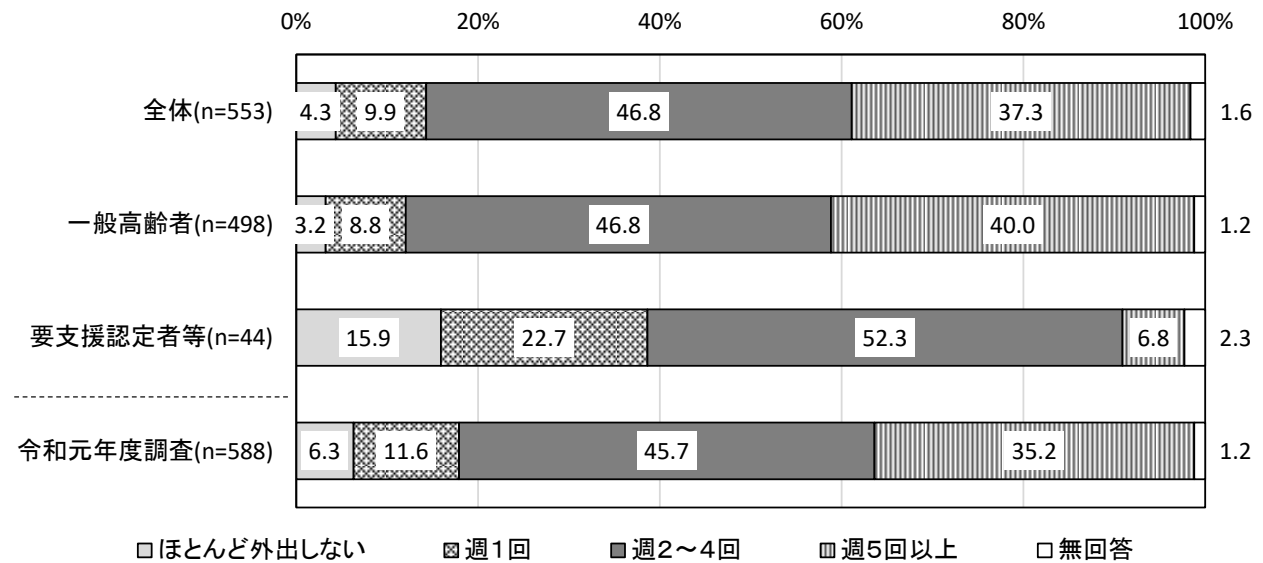
令和元年度調査と比べると、全体では『転倒に対して不安な人』が1.0ポイント高くなっています。



問 13 週に1回以上は外出していますか（1つを選択）

一般高齢者では、「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた『閉じこもり傾向のある人』が12.0%、要支援認定者等では38.6%と、26.6ポイントの差となっています。

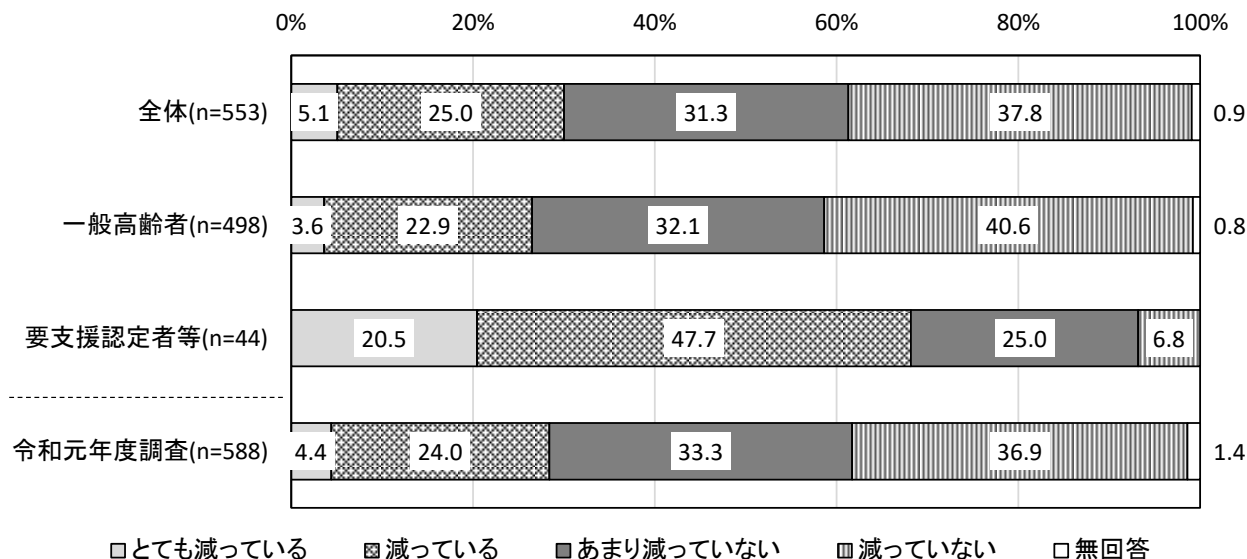
令和元年度調査と比べると、全体では『閉じこもり傾向のある人』が3.7ポイント低くなっています。



問 14 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「とても減っている」と「減っている」を合わせた『外出の回数が減っている人』が26.5%、要支援認定者等では68.2%と、41.7ポイントの差となっています。

令和元年度調査と比べると、全体では『外出の回数が減っている人』が1.7ポイント高くなっています。

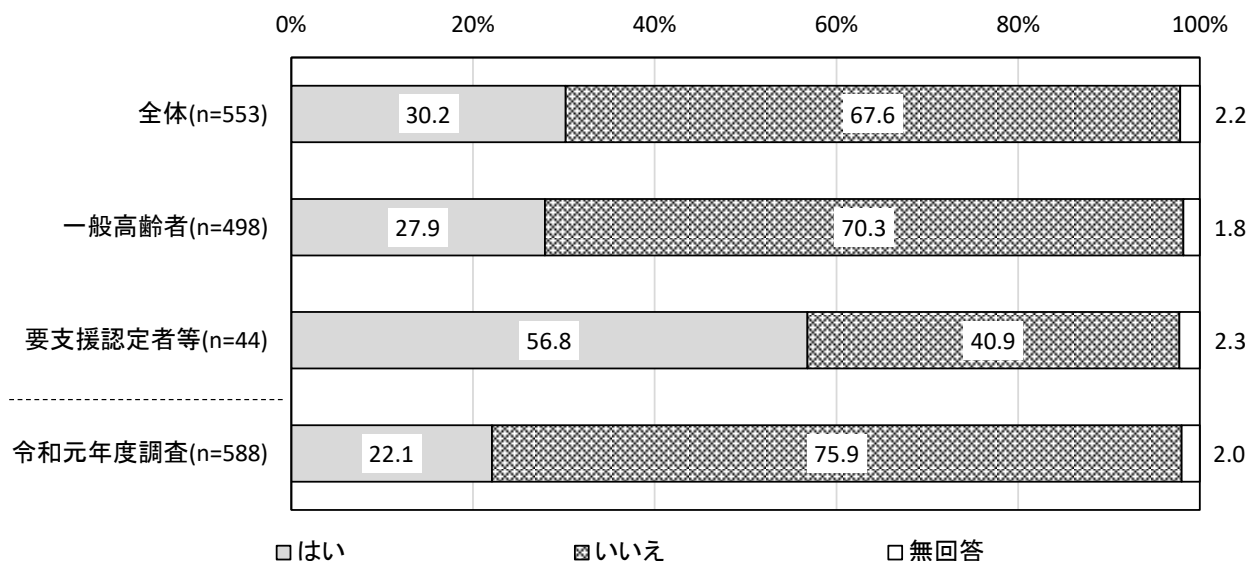


問 15 外出を控えていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が27.9%、「いいえ」が70.3%となっています。要支援認定者等では、「はい」が56.8%、「いいえ」が40.9%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」が28.9ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「はい」の割合が高くなっています。



問15で「はい」と回答した方にお伺いします。

問15-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（複数選択可）

一般高齢者では、「足腰などの痛み」が28.8%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」が12.9%、「トイレの心配（失禁など）」が9.4%となっています。要支援認定者等では、「足腰などの痛み」が68.0%と最も高く、次いで「病気」が24.0%、「トイレの心配（失禁など）」「交通手段がない」が20.0%となっています。なお、一般高齢者では、「その他」も高くなっており、具体的な内容をみると、「新型コロナウイルス感染症の影響」が多くなっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「病気」「障害（脳卒中の後遺症など）」「足腰などの痛み」「トイレの心配（失禁など）」「耳の障害（聞こえの問題など）」「目の障害」「外での楽しみがない」「交通手段がない」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「トイレの心配（失禁など）」「外での楽しみがない」「経済的に出られない」の割合が高くなっています。

		病気	障害など（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の問題（聞こえ）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
(単位：%)												
全体	(n=167)	7.8	1.2	34.7	11.4	3.6	4.8	13.2	6.6	9.6	49.1	4.2
一般高齢者	(n=139)	5.0	0.0	28.8	9.4	2.9	2.9	12.9	7.9	7.2	56.8	5.0
要支援認定者等	(n=25)	24.0	8.0	68.0	20.0	8.0	12.0	16.0	0.0	20.0	12.0	0.0
令和元年度調査	(n=130)	19.2	2.3	39.2	10.8	5.4	7.7	9.2	3.1	16.9	35.4	3.8

問 16 外出する際の移動手段は何ですか（複数選択可）

一般高齢者では、「徒歩」が71.1%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」が53.4%、「電車」が34.9%となっています。要支援認定者等では、「自動車（人に乗せてもらう）」が47.7%と最も高く、次いで「タクシー」が43.2%、「バス（コミュニティバスを除く）」が38.6%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「自動車（人に乗せてもらう）」「バス（コミュニティバスを除く）」「タクシー」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

		徒歩	自転車	バイク	転自動車（自分で運	て自動車（人に乗せ	電車	バス（コミュニティバスを除く）	（コミュニティバス）
(単位: %)									
全体	(n=553)	67.5	17.2	7.1	49.5	23.7	33.6	28.8	3.3
一般高齢者	(n=498)	71.1	18.7	7.8	53.4	21.5	34.9	28.3	3.4
要支援認定者等	(n=44)	31.8	4.5	0.0	11.4	47.7	20.5	38.6	2.3
令和元年度調査	(n=588)	73.5	19.9	6.3	45.1	22.8	42.7	34.5	4.1
		病院や施設のバス	車いす	ト（電動）車いす（カー	カ歩（器・シルバ	タクシー	その他	無回答	
(単位: %)									
全体	(n=553)	0.5	0.4	0.2	0.7	14.5	1.6	1.1	
一般高齢者	(n=498)	0.0	0.0	0.0	0.2	11.8	1.2	1.0	
要支援認定者等	(n=44)	6.8	4.5	2.3	6.8	43.2	6.8	0.0	
令和元年度調査	(n=588)	1.0	0.5	0.0	1.2	16.2	1.0	1.0	

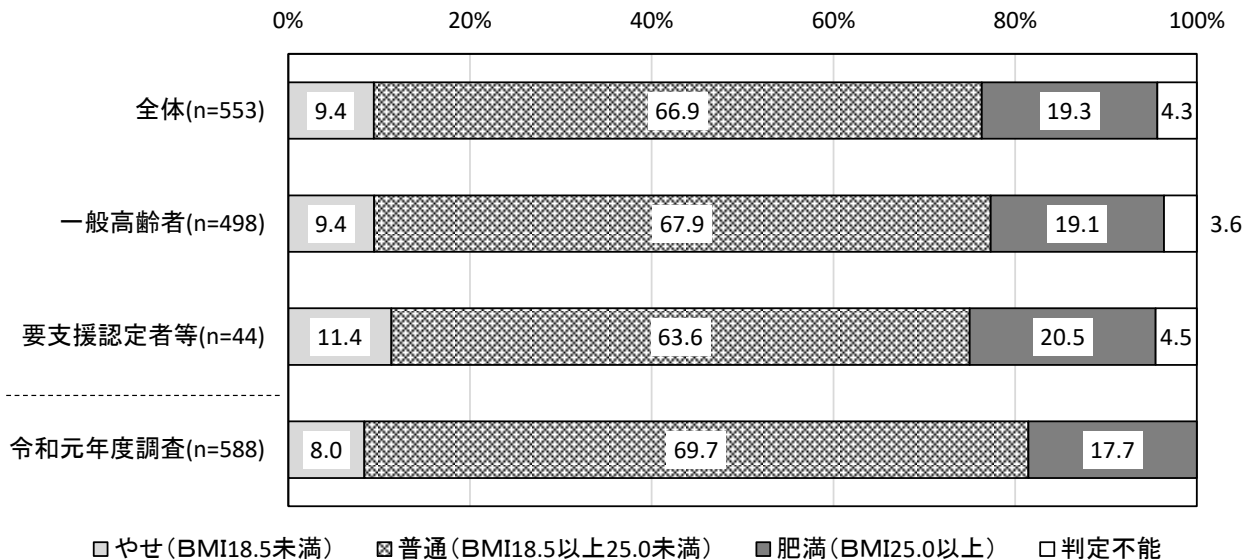
3 食べることについて

問 17 身長・体重をご記入ください

身長と体重から算出したBMIをみると、一般高齢者と要支援認定者等では、「普通（BMI 18.5以上 25.0未満）」がそれぞれ67.9%、63.6%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「やせ（BMI 18.5未満）」が2.0ポイント、「肥満（BMI 25.0以上）」が1.4ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

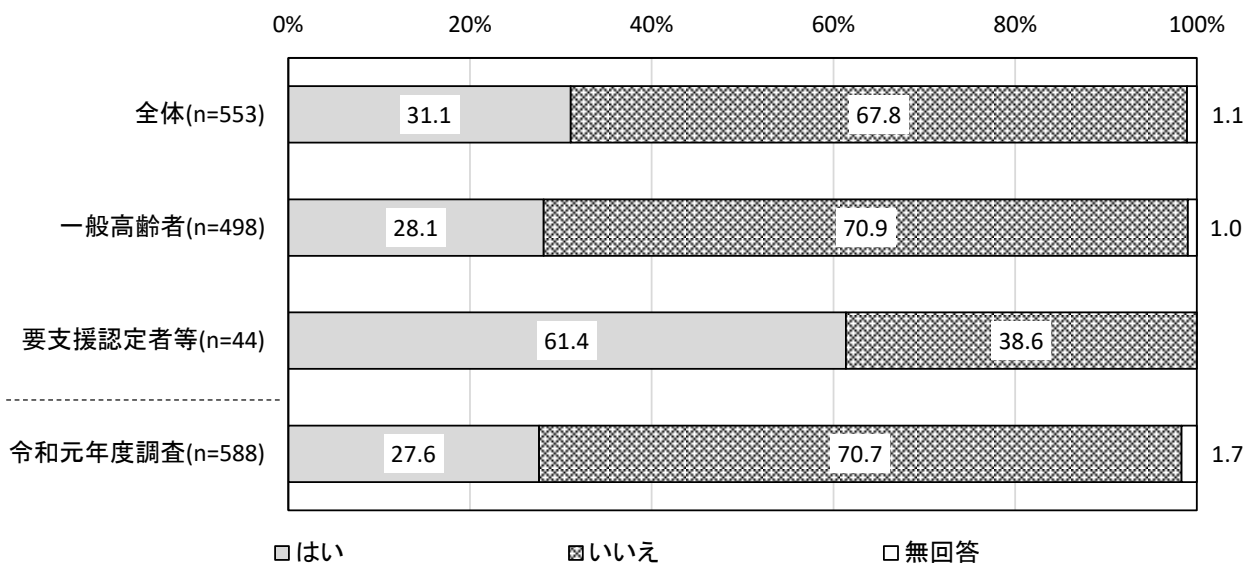


問 18 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が28.1%、「いいえ」が70.9%となっています。要支援認定者等では、「はい」が61.4%、「いいえ」が38.6%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」が33.3ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「はい」の割合が高くなっています。

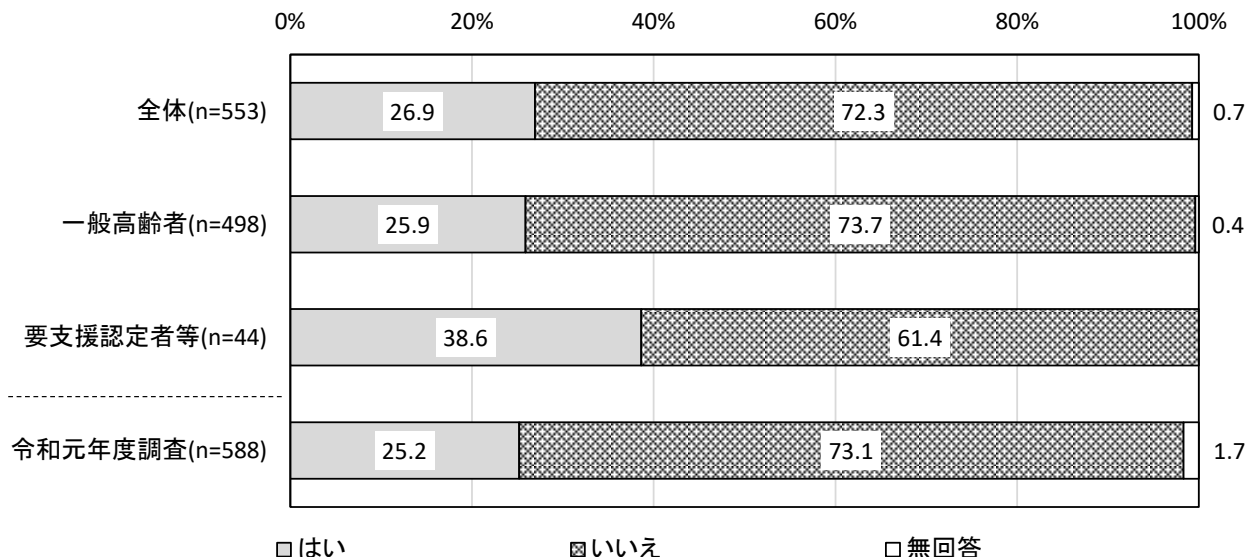


問 19 お茶や汁物等でむせることがありますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が25.9%、「いいえ」が73.7%となっています。要支援認定者等では、「はい」が38.6%、「いいえ」が61.4%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」が12.7ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「はい」の割合が高くなっています。

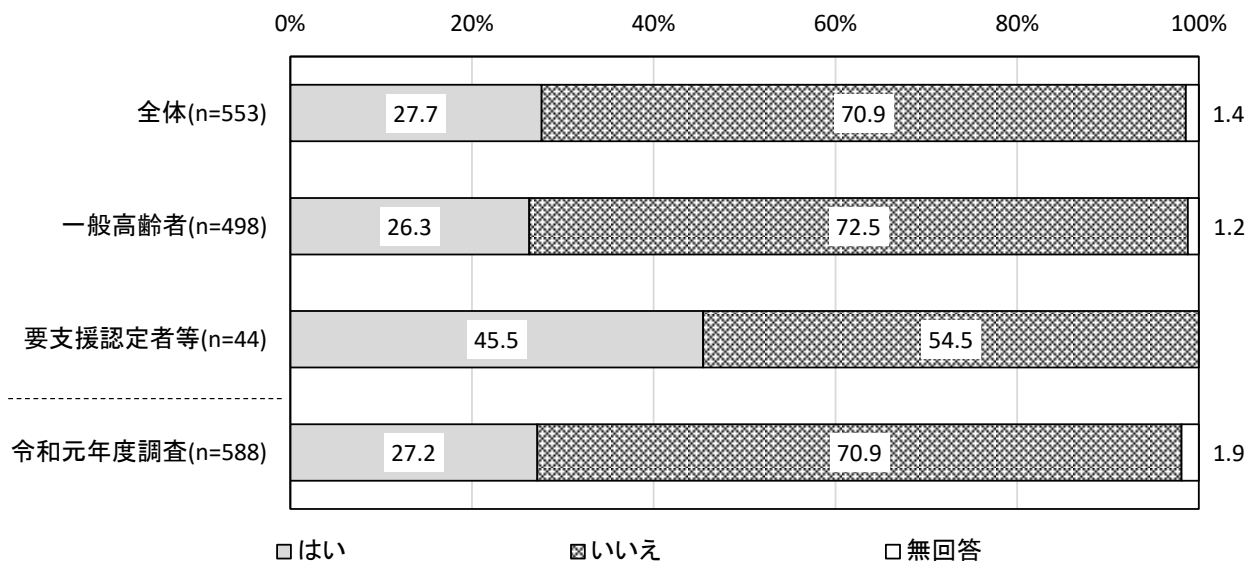


問 20 口の渇きが気になりますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が26.3%、「いいえ」が72.5%となっています。要支援認定者等では、「はい」が45.5%、「いいえ」が54.5%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」が19.2ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

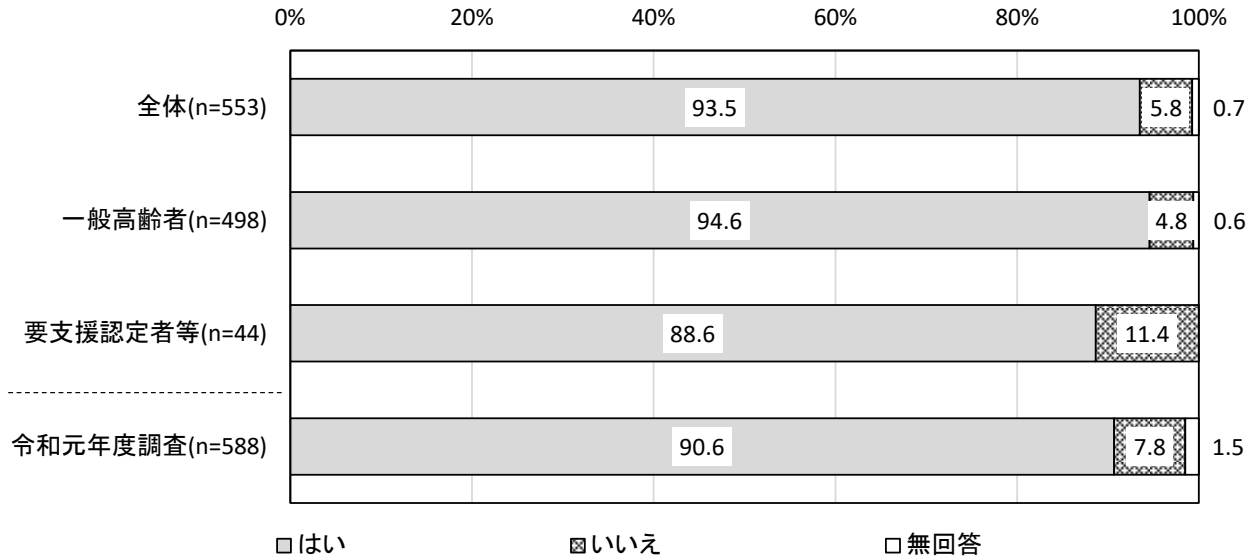


問21 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が94.6%、「いいえ」が4.8%となっています。要支援認定者等では、「はい」が88.6%、「いいえ」が11.4%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」が6.6ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「はい」の割合が高くなっています。

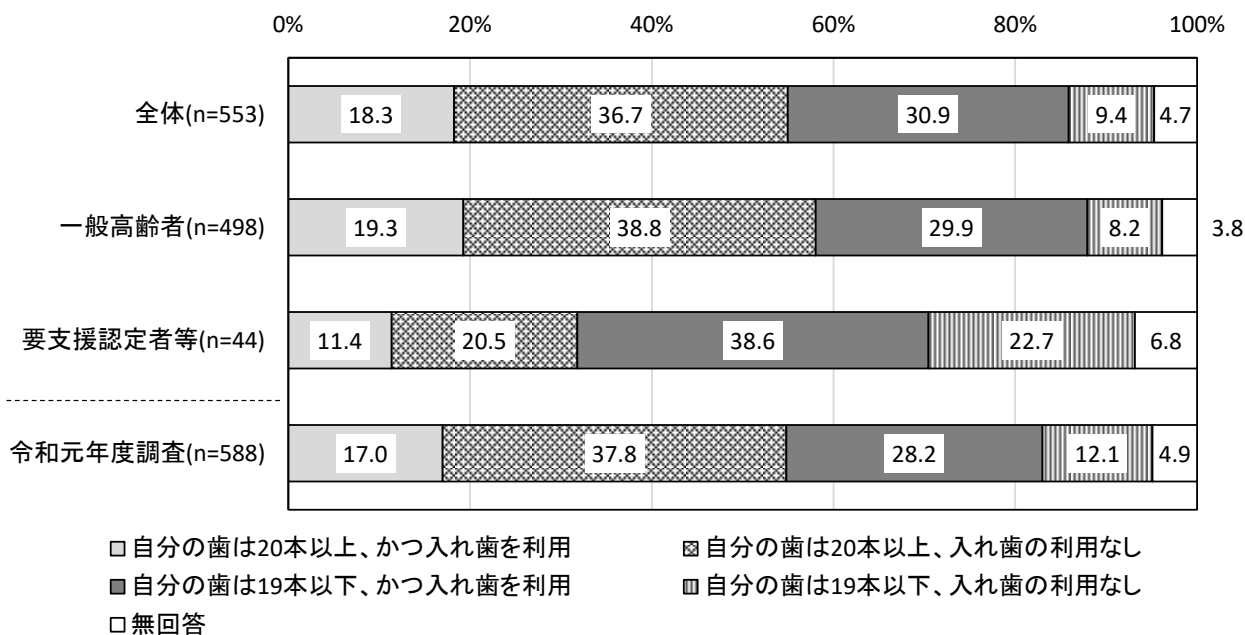


問 22 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）（1つを選択）

一般高齢者では、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 38.8%と最も高くなっています。要支援認定者等では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 38.6%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた『自分の歯は 20 本以上の人』が 26.2 ポイント低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

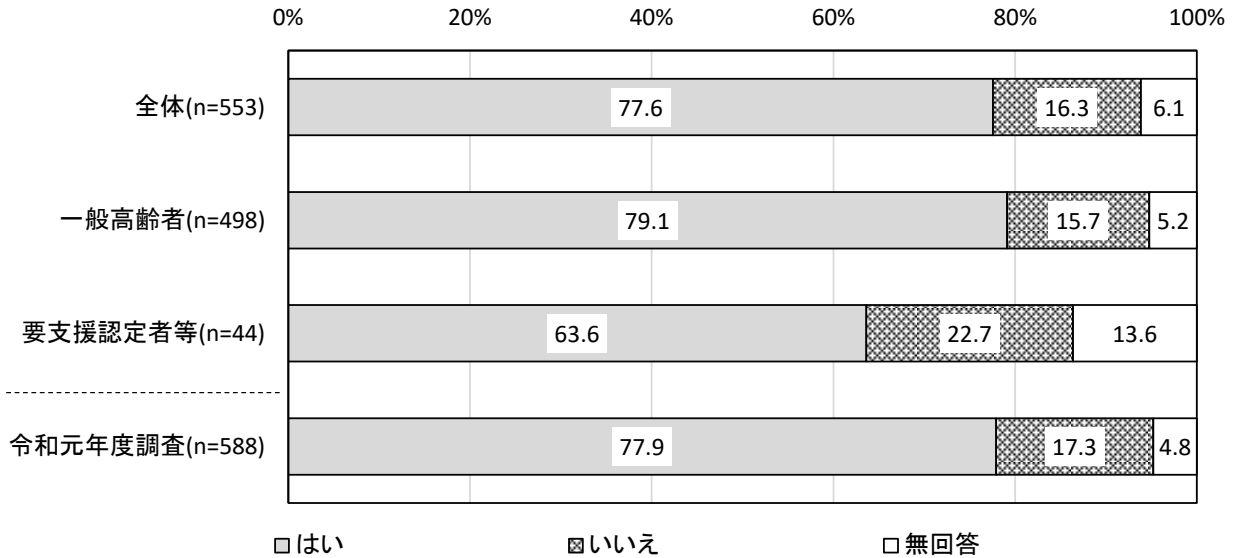


問 22-1 噛み合わせは良いですか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が79.1%、「いいえ」が15.7%となっています。要支援認定者等では、「はい」が63.6%、「いいえ」が22.7%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」が7.0ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。



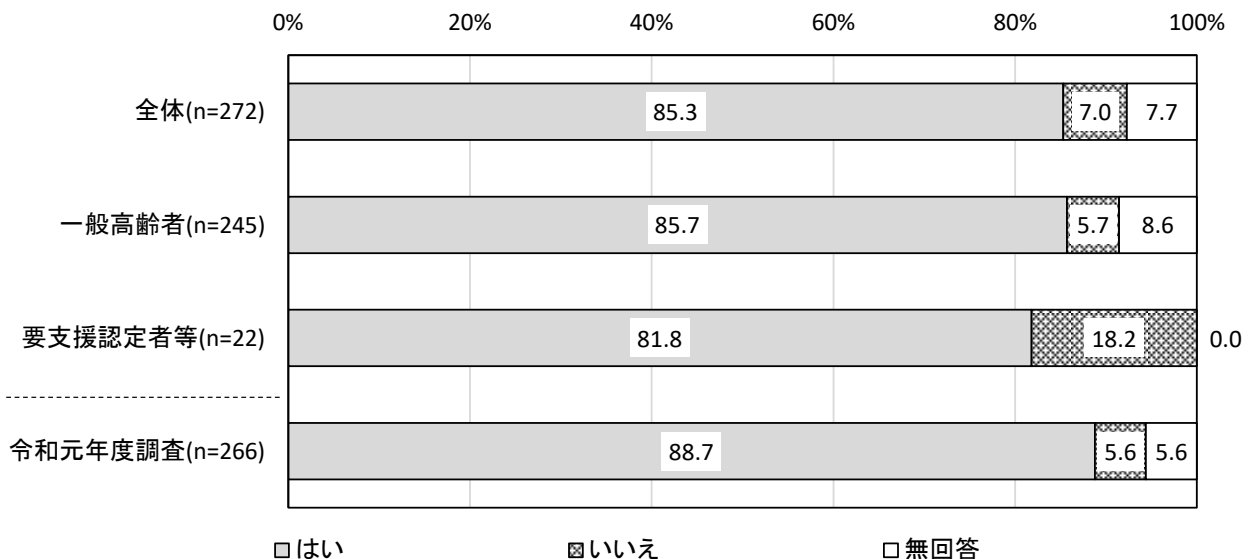
問 22 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方にお伺いします。

問 22-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が85.7%、「いいえ」が5.7%となっています。要支援認定者等では、「はい」が81.8%、「いいえ」が18.2%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」が12.5ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

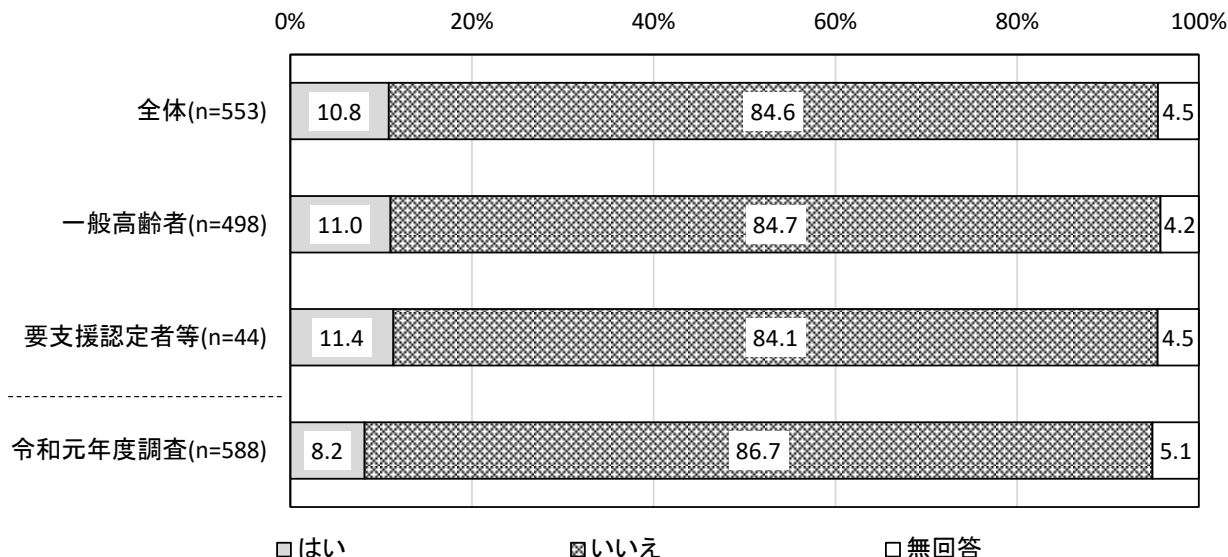


問 23 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が11.0%、「いいえ」が84.7%となっています。要支援認定者等では、「はい」が11.4%、「いいえ」が84.1%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」が0.4ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「はい」の割合が高くなっています。

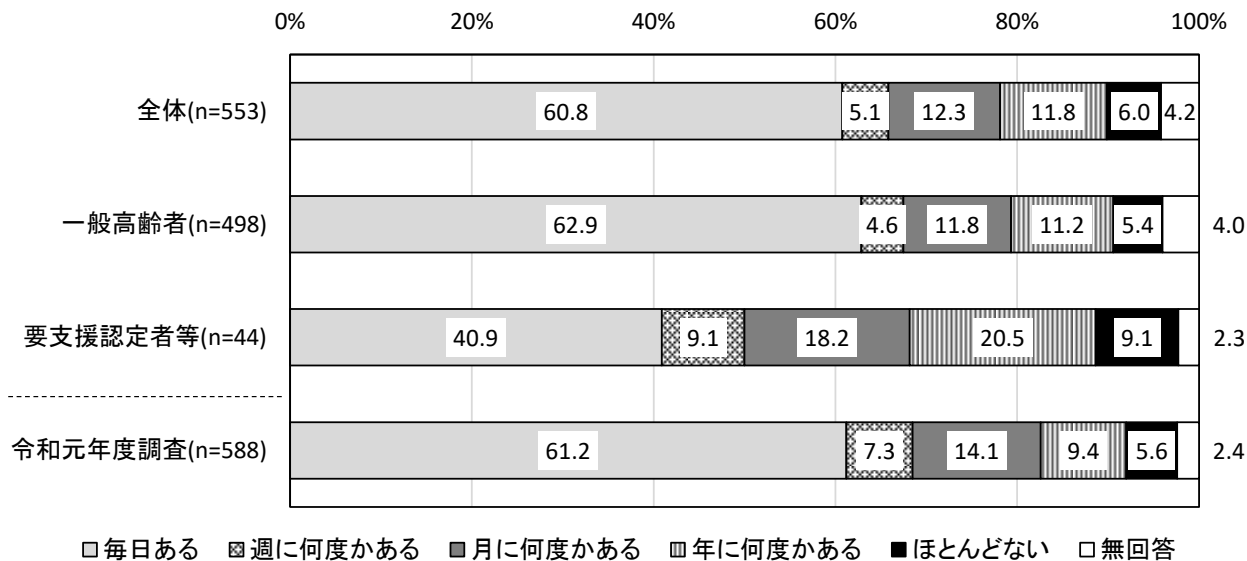


問 24 どなたかと食事をとる機会がありますか（1つを選択）

一般高齢者と要支援認定者等では、「毎日ある」がそれぞれ62.9%、40.9%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「月に何度かある」が6.4ポイント、「年に何度かある」が9.3ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「年に何度かある」の割合が特に高くなっています。



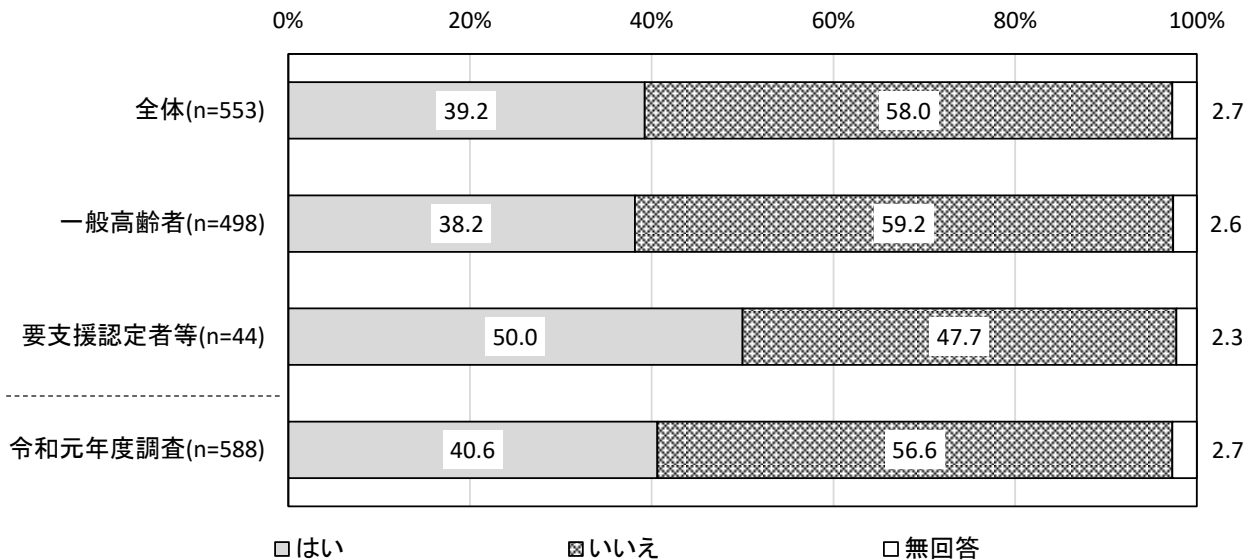
4 毎日の生活について

問 25 物忘れが多いと感じますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が38.2%、「いいえ」が59.2%となっています。要支援認定者等では、「はい」が50.0%、「いいえ」が47.7%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」が11.8ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

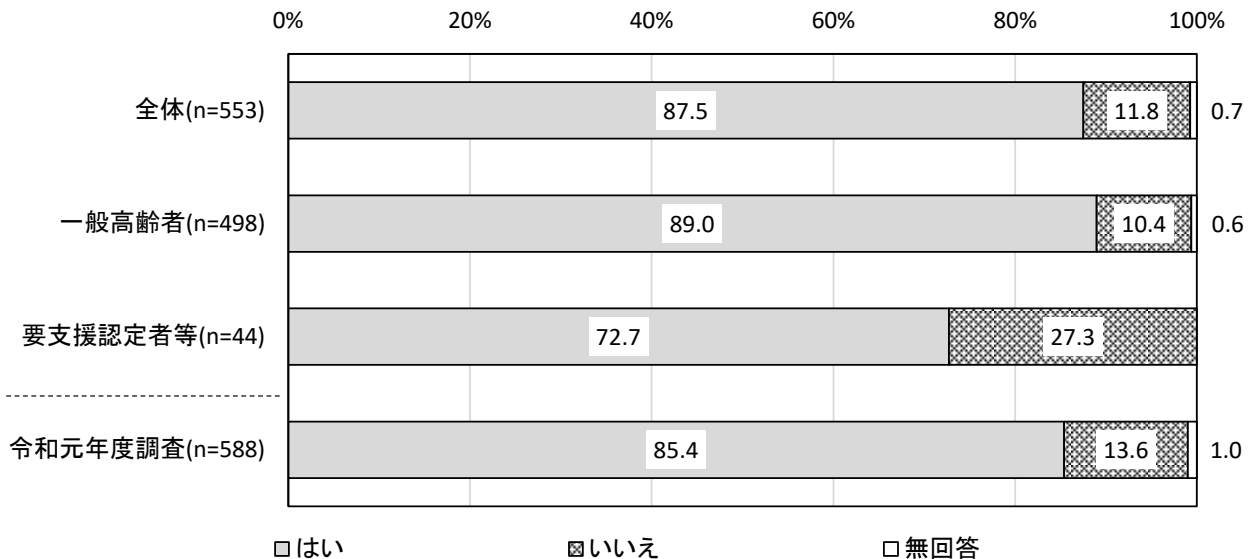


問 26 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が89.0%、「いいえ」が10.4%となっています。要支援認定者等では、「はい」が72.7%、「いいえ」が27.3%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」が16.9ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「はい」の割合が高くなっています。

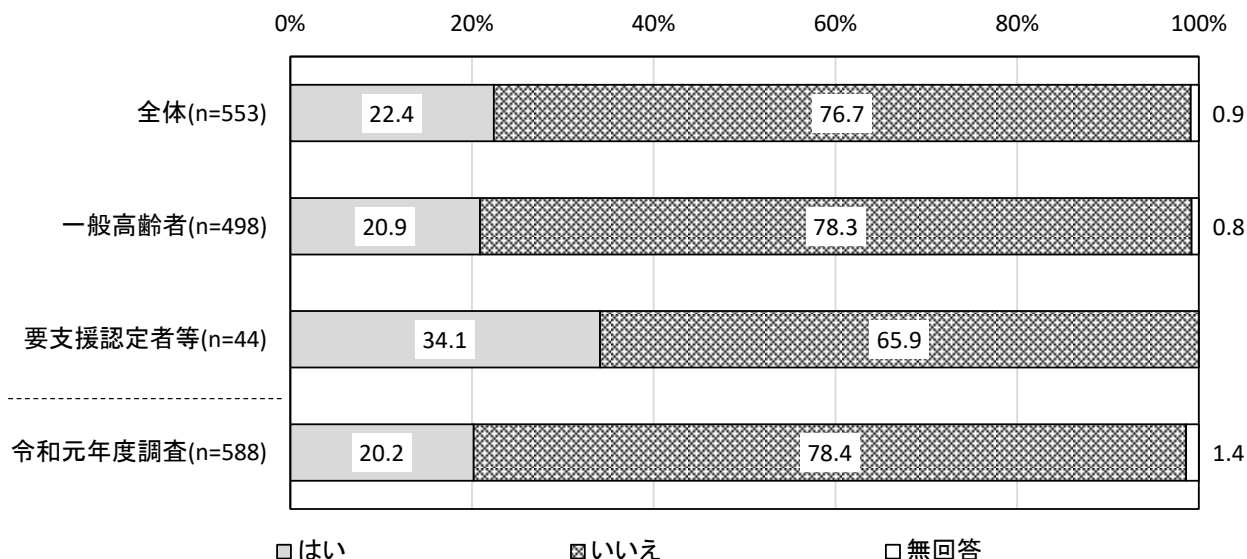


問 27 今日が何月何日かわからない時がありますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が20.9%、「いいえ」が78.3%となっています。要支援認定者等では、「はい」が34.1%、「いいえ」が65.9%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」が13.2ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「はい」の割合が高くなっています。

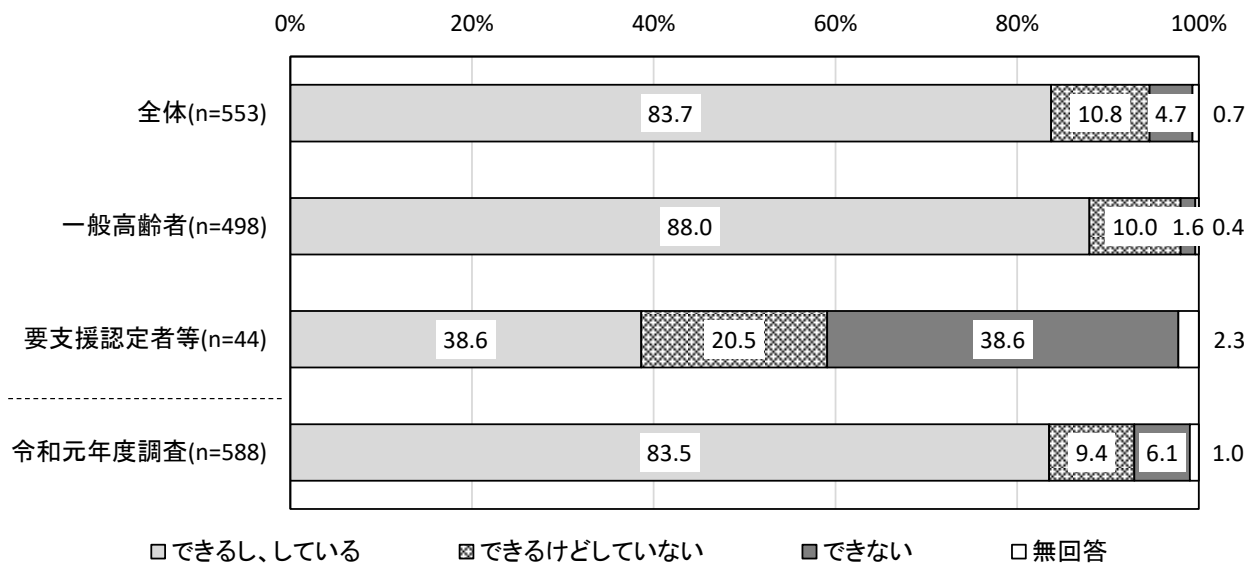


問 28 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」が88.0%と最も高くなっています。要支援認定者等では、「できるし、している」「できない」が38.6%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できない」が37.0ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

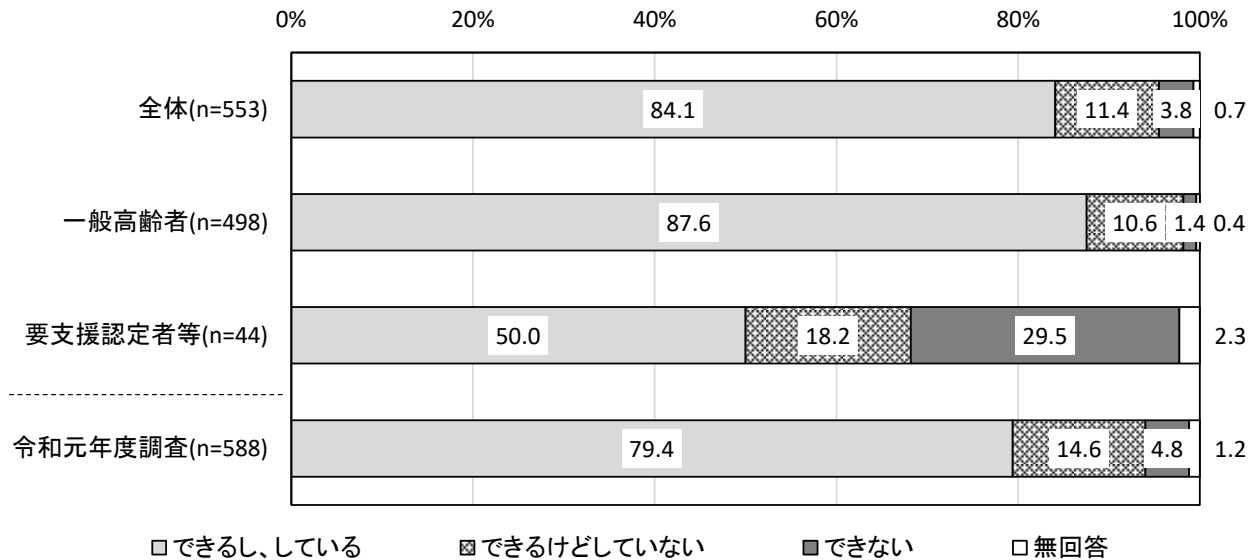


問 29 自分で食品・日用品の買物をしていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」が 87.6%と最も高くなっています。要支援認定者等でも、「できるし、している」が 50.0%と最も高く、次いで「できない」が 29.5%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できない」が 28.1ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「できるし、している」の割合が高くなっています。

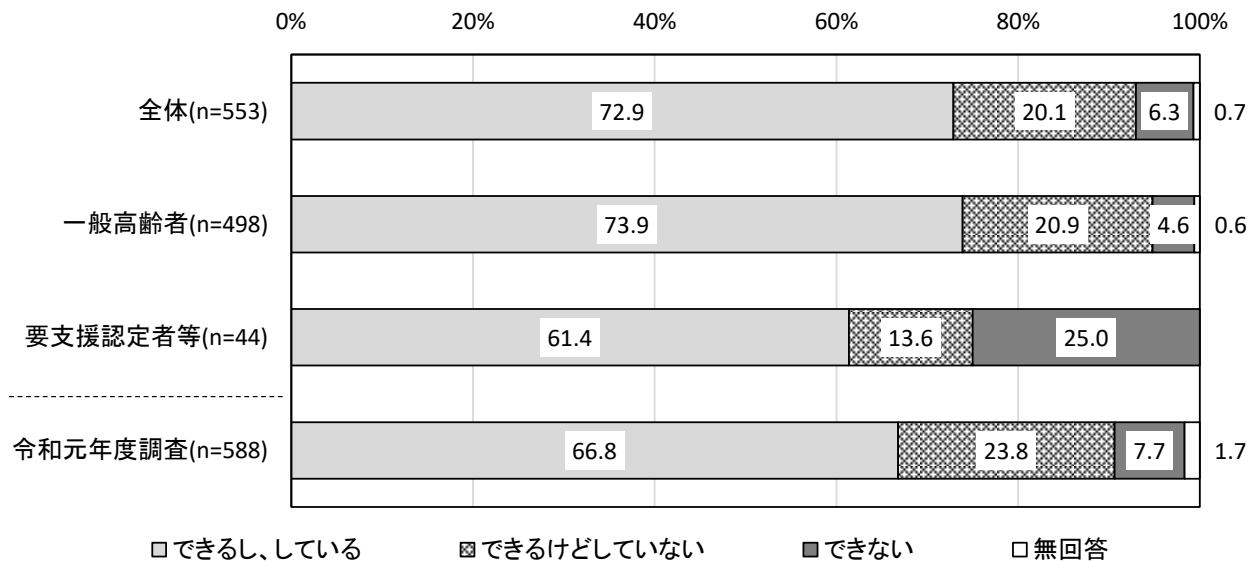


問 30 自分で食事の用意をしていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」が 73.9%と最も高くなっています。要支援認定者等でも、「できるし、している」が 61.4%と最も高く、次いで「できない」が 25.0%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できない」が 20.4ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「できるし、している」の割合が高くなっています。

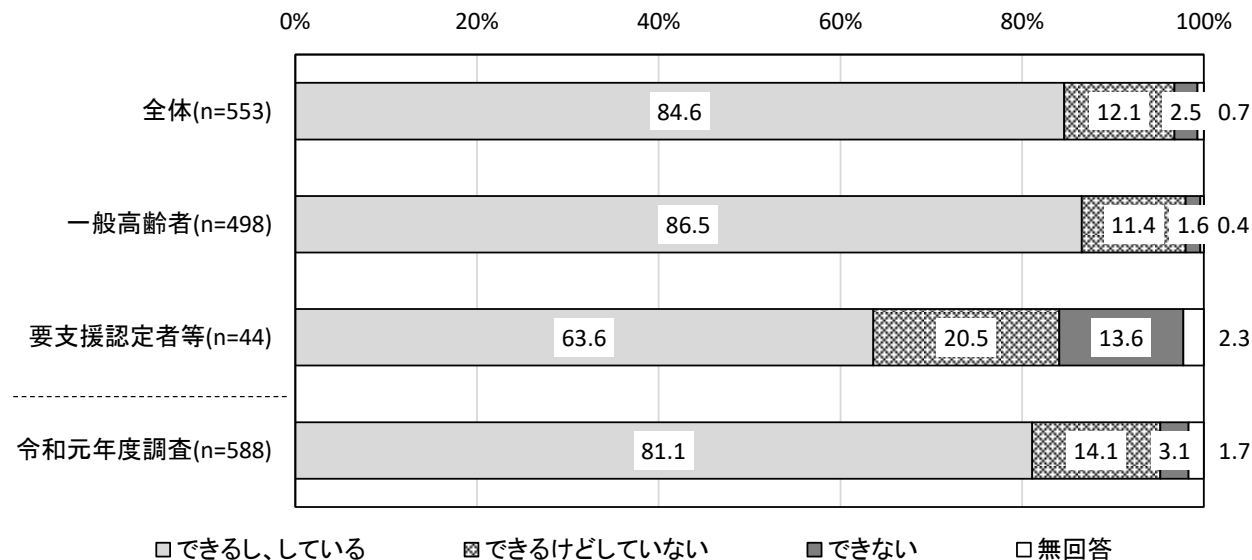


問 31 自分で請求書の支払いをしていますか（1つを選択）

一般高齢者と要支援認定者等では、「できるし、している」がそれぞれ86.5%、63.6%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できない」が12.0ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「できるし、している」の割合が高くなっています。

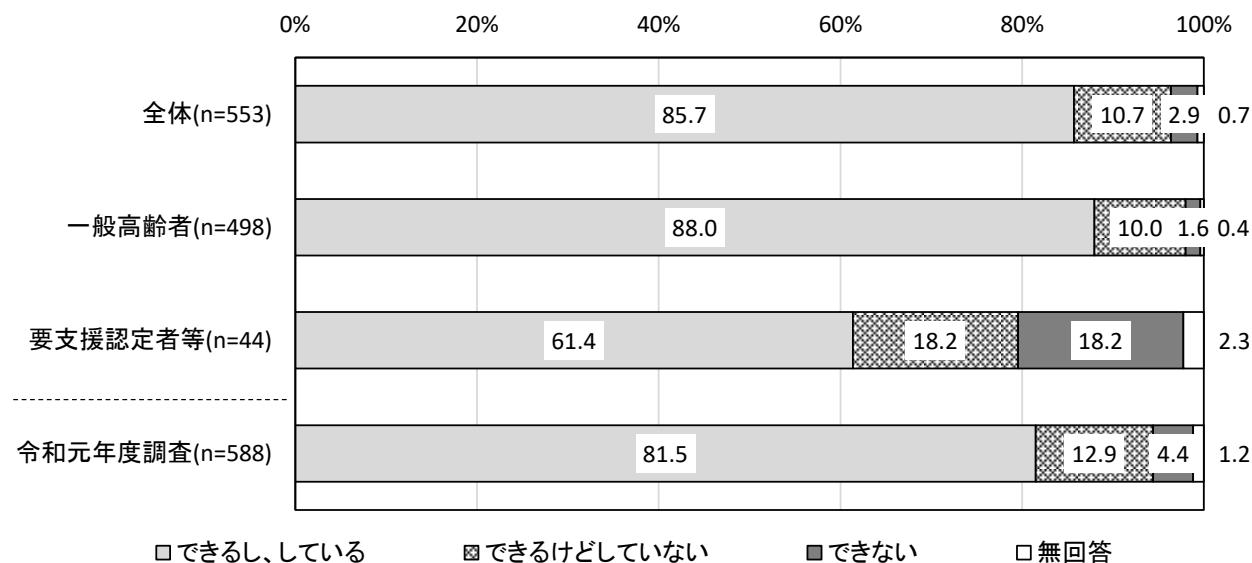


問 32 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」が88.0%と最も高くなっています。要支援認定者等でも、「できるし、している」が61.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」「できない」が18.2%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できない」が16.6ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「できるし、している」の割合が高くなっています。

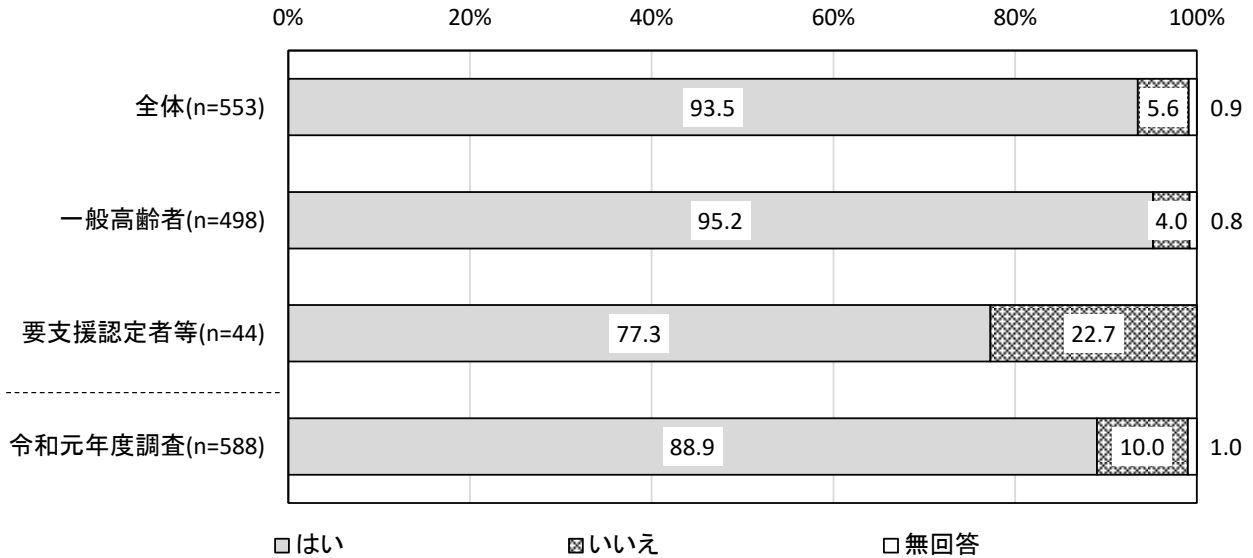


問 33 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が 95.2%、「いいえ」が 4.0%となっています。要支援認定者等では、「はい」が 77.3%、「いいえ」が 22.7%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」が 18.7 ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「はい」の割合が高くなっています。

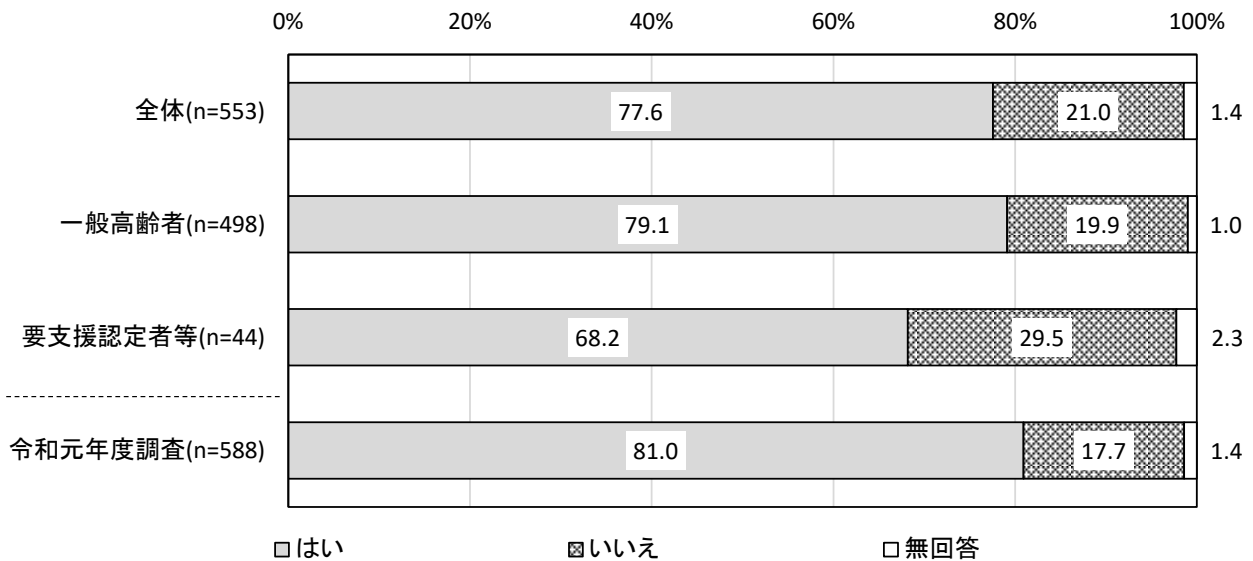


問 34 新聞を読んでいますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が 79.1%、「いいえ」が 19.9%となっています。要支援認定者等では、「はい」が 68.2%、「いいえ」が 29.5%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」が 9.6 ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「いいえ」の割合が高くなっています。

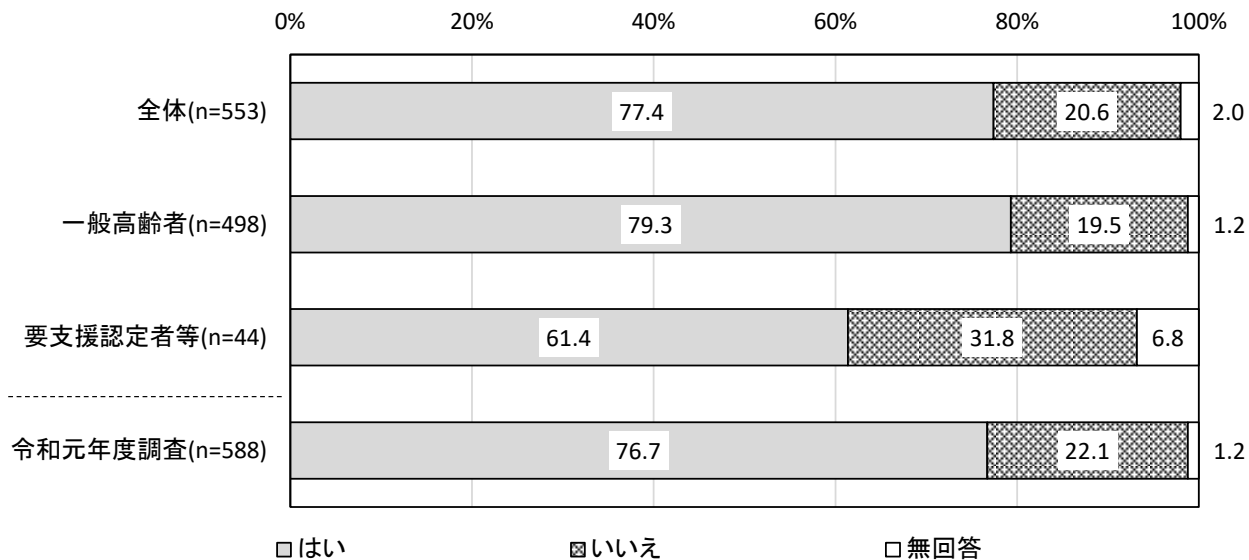


問 35 本や雑誌を読んでいますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が79.3%、「いいえ」が19.5%となっています。要支援認定者等では、「はい」が61.4%、「いいえ」が31.8%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」が12.3ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

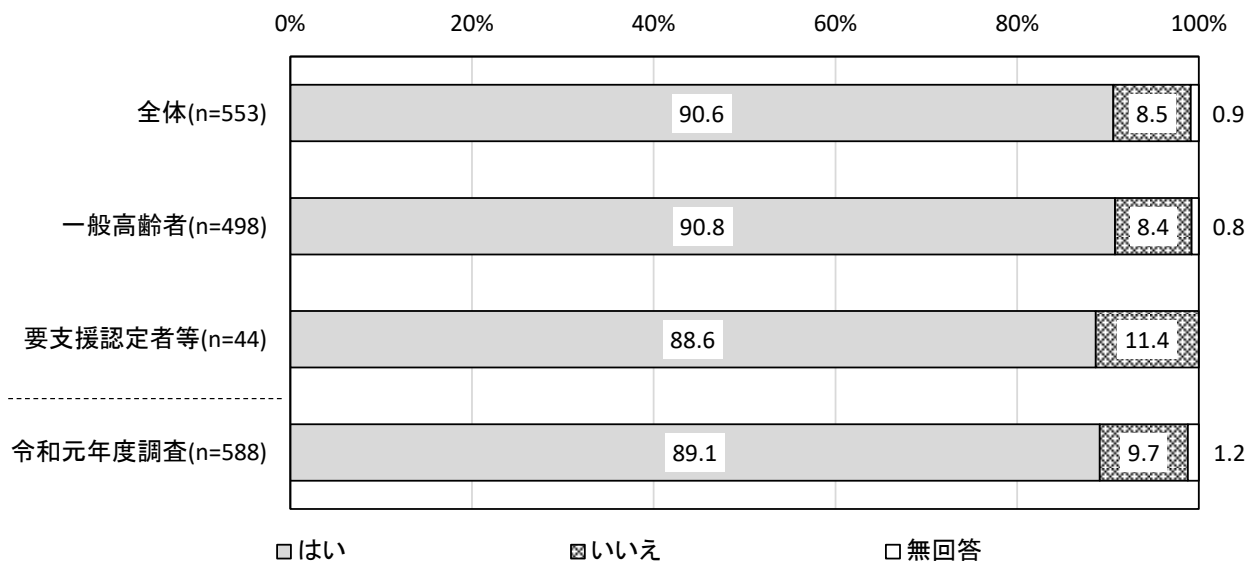


問 36 健康についての記事や番組に関心がありますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が90.8%、「いいえ」が8.4%となっています。要支援認定者等では、「はい」が88.6%、「いいえ」が11.4%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」が3.0ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

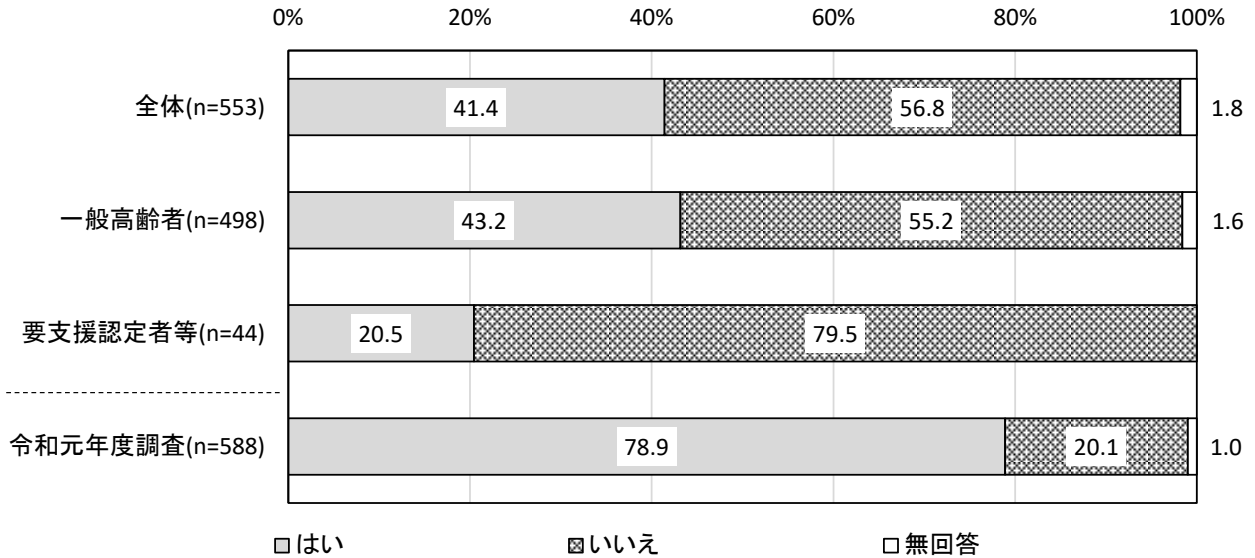


問 37 友人の家を訪ねていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が43.2%、「いいえ」が55.2%となっています。要支援認定者等では、「はい」が20.5%、「いいえ」が79.5%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」が24.3ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「いいえ」の割合が高くなっています。

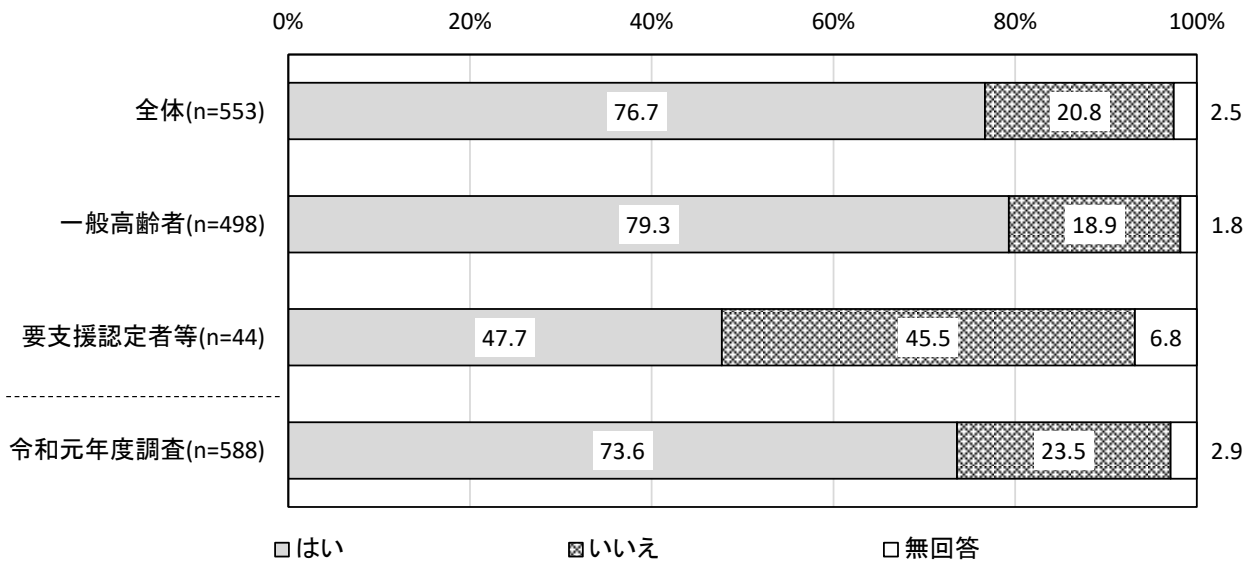


問 38 家族や友人の相談にのっていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が79.3%、「いいえ」が18.9%となっています。要支援認定者等では、「はい」が47.7%、「いいえ」が45.5%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」が26.6ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「はい」の割合が高くなっています。

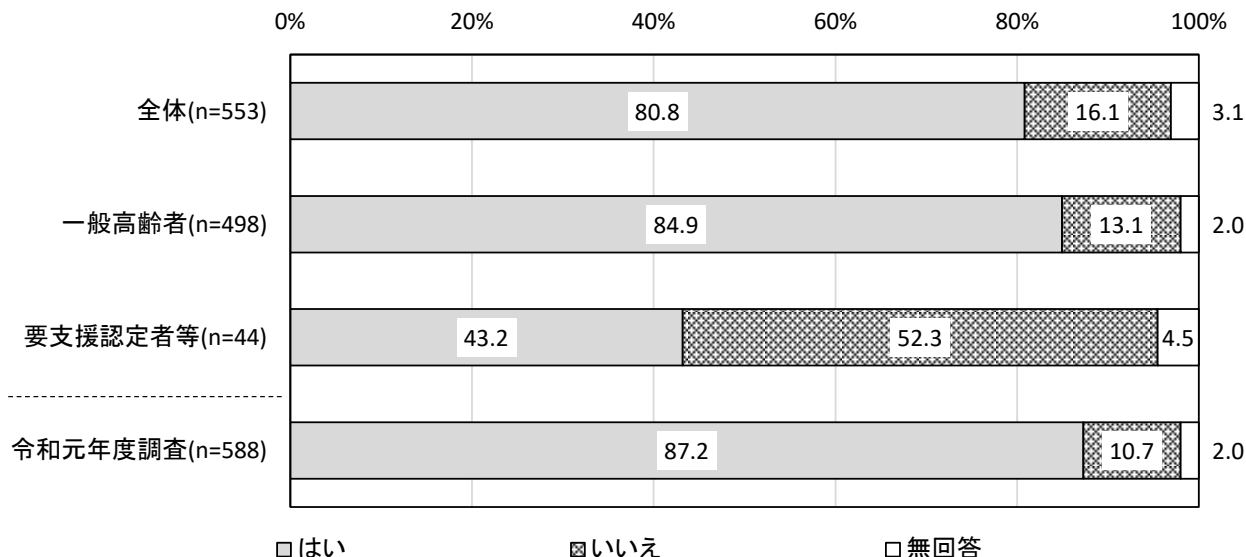


問 39 病人を見舞うことができますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が84.9%、「いいえ」が13.1%となっています。要支援認定者等では、「はい」が43.2%、「いいえ」が52.3%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」が39.2ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「いいえ」の割合が高くなっています。

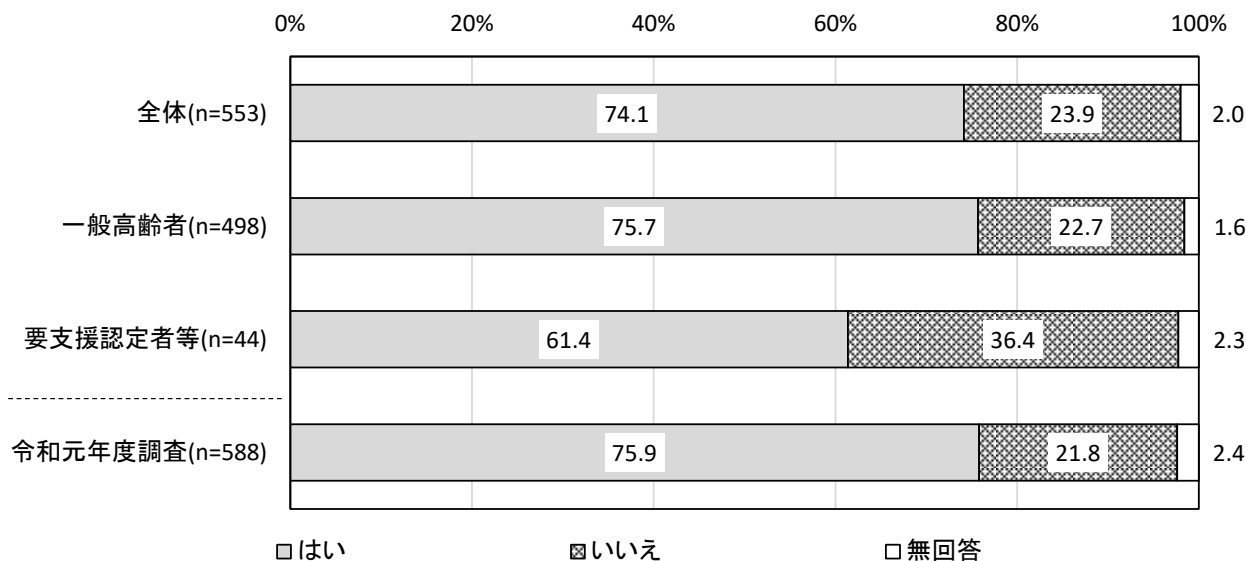


問 40 若い人に自分から話しかけることがありますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が75.7%、「いいえ」が22.7%となっています。要支援認定者等では、「はい」が61.4%、「いいえ」が36.4%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」が13.7ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「いいえ」の割合が高くなっています。

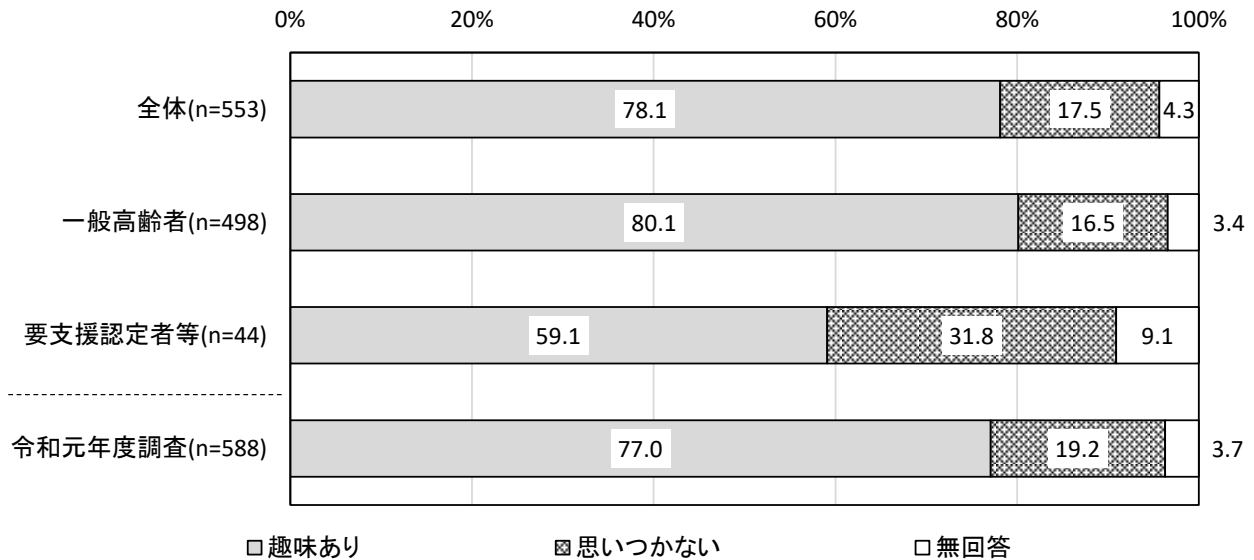


問 41 趣味はありますか（1つを選択）

一般高齢者では、「趣味あり」が80.1%、「思いつかない」が16.5%となっています。要支援認定者等では、「はい」が59.1%、「いいえ」が31.8%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「思いつかない」が15.3ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

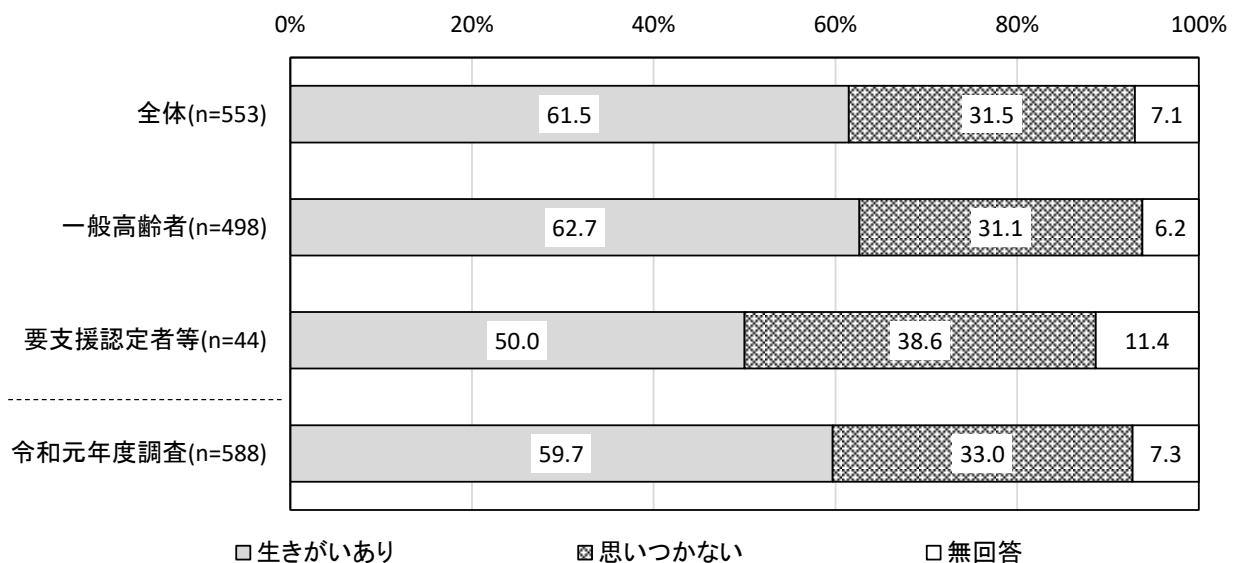


問 42 生きがいがありますか（1つを選択）

一般高齢者では、「生きがいあり」が62.7%、「思いつかない」が31.1%となっています。要支援認定者等では、「はい」が50.0%、「いいえ」が38.6%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「思いつかない」が7.5ポイント高くなっています。

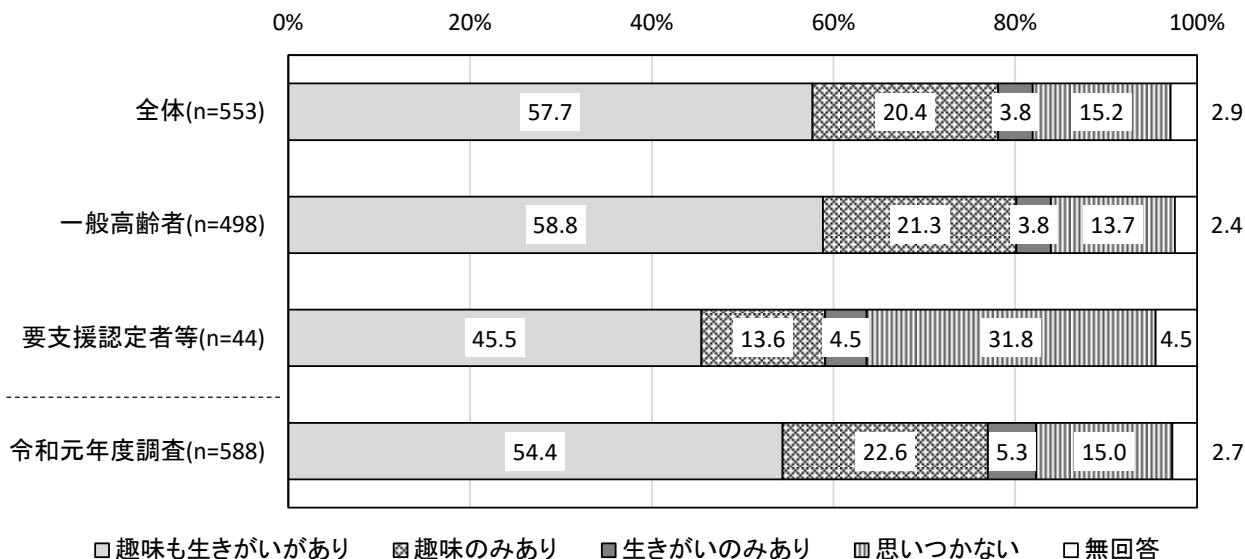
令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。



■趣味と生きがいの有無別

趣味と生きがいの有無について合わせて集計したところ、一般高齢者では、「趣味も生きがいもあり」が58.8%と最も高く、次いで「趣味のみあり」が21.3%、「思いつかない」が13.7%となっています。要支援認定者では、「趣味も生きがいもあり」が45.5%と最も高く、次いで「思いつかない」が31.8%、「趣味のみあり」が13.6%となっています。

「趣味も生きがいもあり」「趣味のみあり」「生きがいのみあり」を合わせた『趣味・生きがいあり』は、一般高齢者では83.9%、要支援認定者では63.6%と20.3ポイントの差があります。



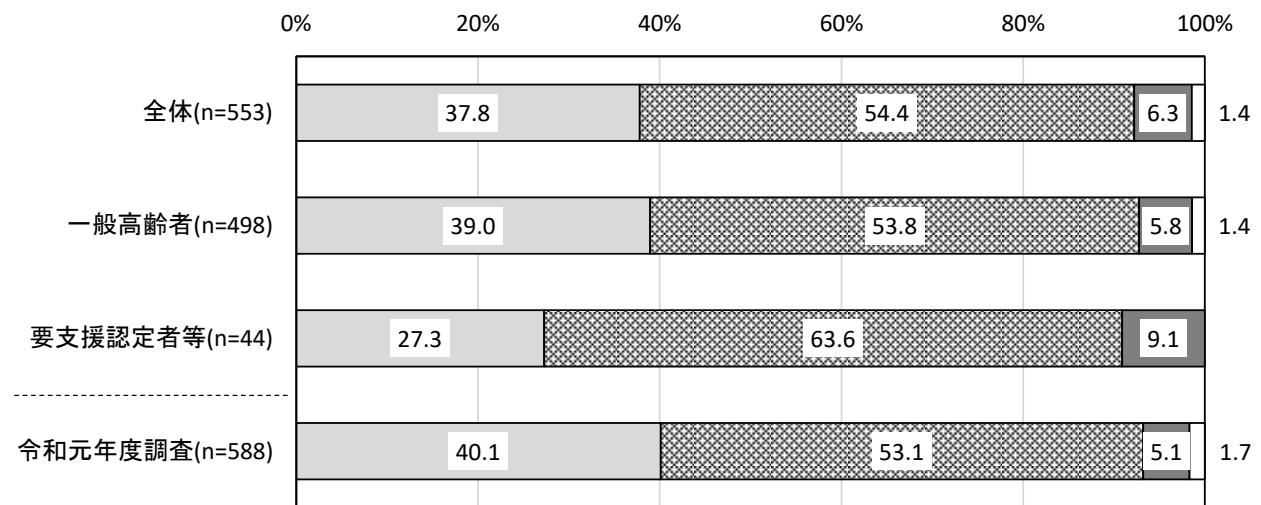
5 地域での活動について

問 43 ご近所や地域の方との付き合いはどのくらいありますか（1つを選択）

一般高齢者では、「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くないほうだ」が 53.8%と最も高く、次いで「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがあるほうだ」が 39.0%となっています。要支援認定者等でも、「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くないほうだ」が 63.6%と最も高く、次いで「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがあるほうだ」が 27.3%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くないほうだ」「ご近所や地域とのつきあいはほとんどない」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがあるほうだ」の割合が低くなっています。



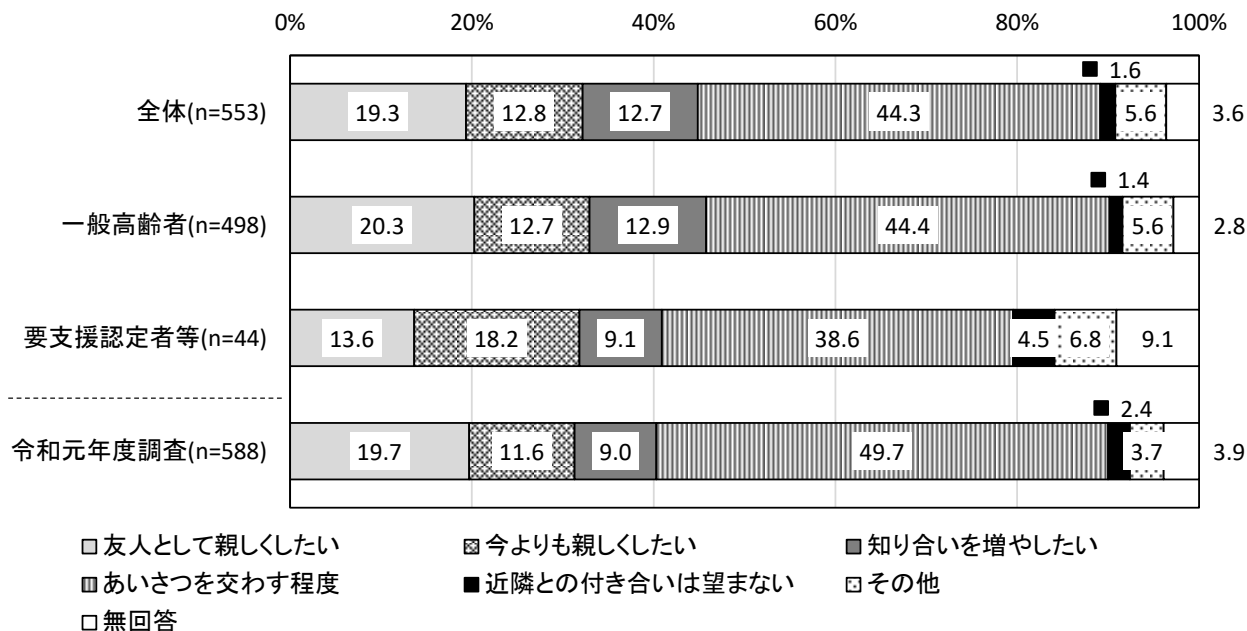
- よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがあるほうだ
- あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くないほうだ
- ご近所や地域との付き合いはほとんどない
- 無回答

問 44 今後、近隣（近所）との関係をどのようにしたいですか（1つを選択）

一般高齢者と要支援認定者等では、「あいさつを交わす程度」がそれぞれ 44.4%、38.6%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「今よりも親しくしたい」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「知り合いを増やしたい」の割合が特に高くなっています。



問 45 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑧それぞれ1つに○

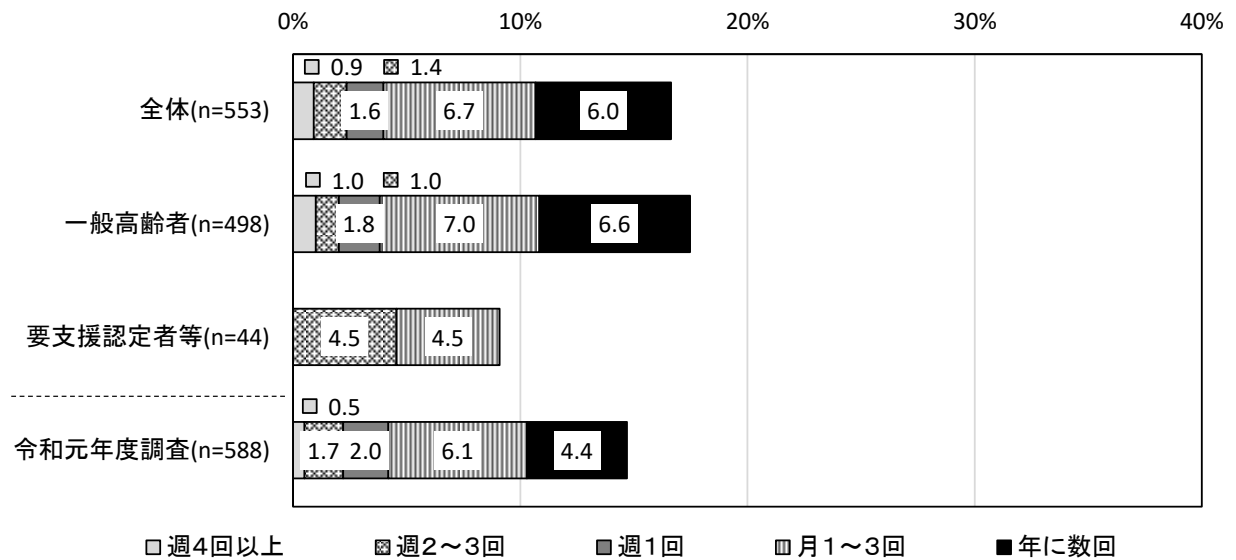
※「参加していない」「無回答」を除く

①ボランティアのグループ

一般高齢者では、「月1～3回」が7.0%と最も高くなっています。要支援認定者等では、「週2～3回」「月1～3回」が4.5%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で参加している割合が低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では参加している割合が高くなっています。

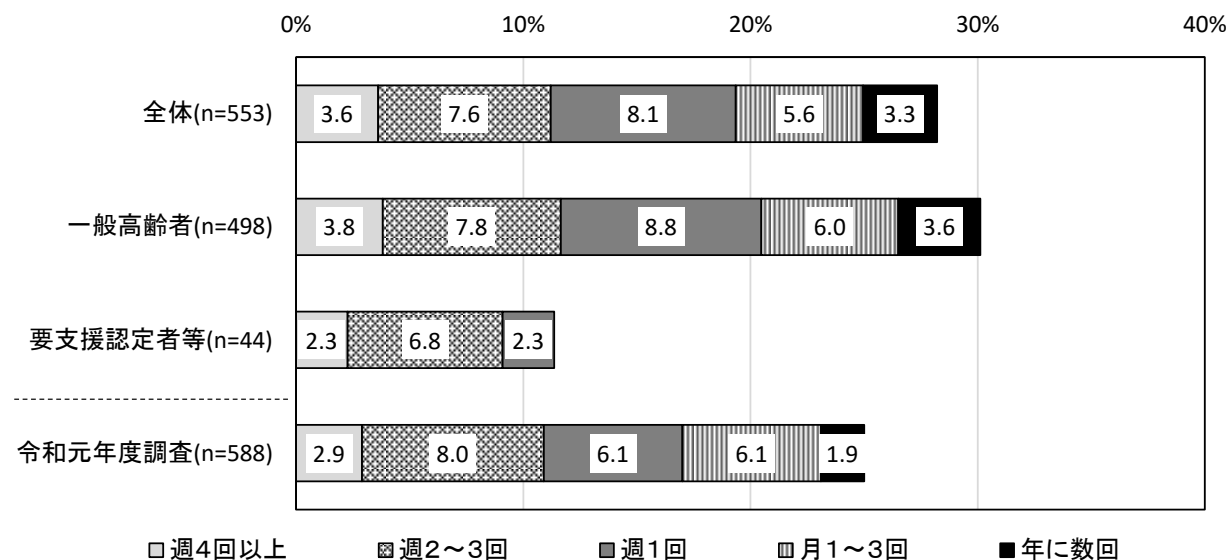


②スポーツ関係のグループやクラブ

一般高齢者では、「週1回」が8.8%と最も高くなっています。要支援認定者等では、「週2～3回」が6.8%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で参加している割合が低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では参加している割合が高くなっています。

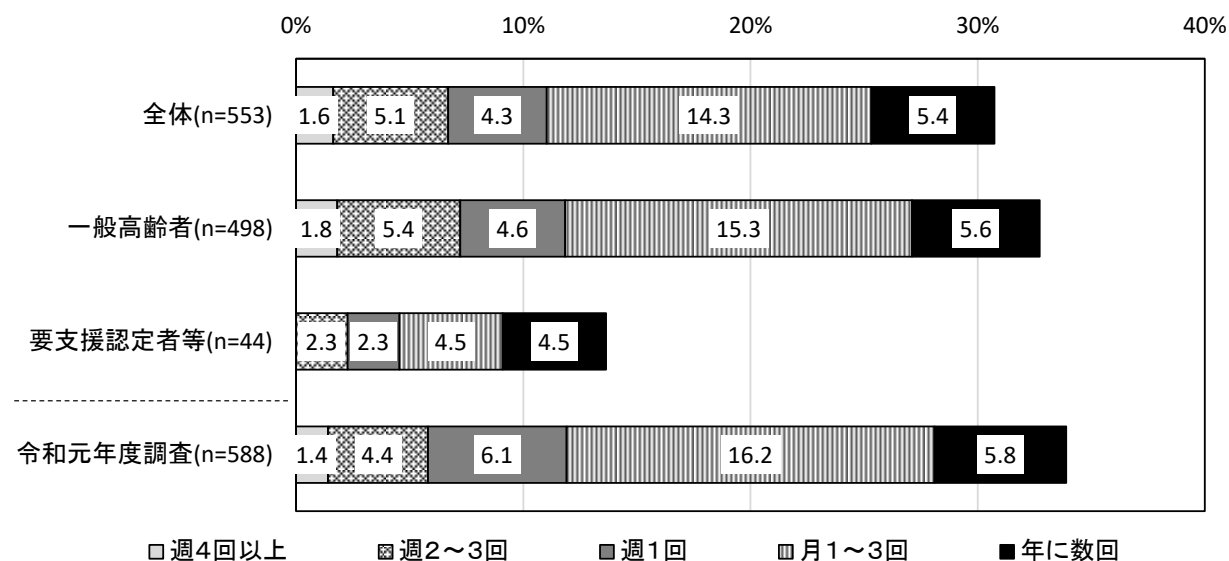


③趣味関係のグループ

一般高齢者では、「月1～3回」が15.3%と最も高くなっています。要支援認定者等では、「月1～3回」「年に数回」が4.5%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で参加している割合が低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では参加している割合が低くなっています。

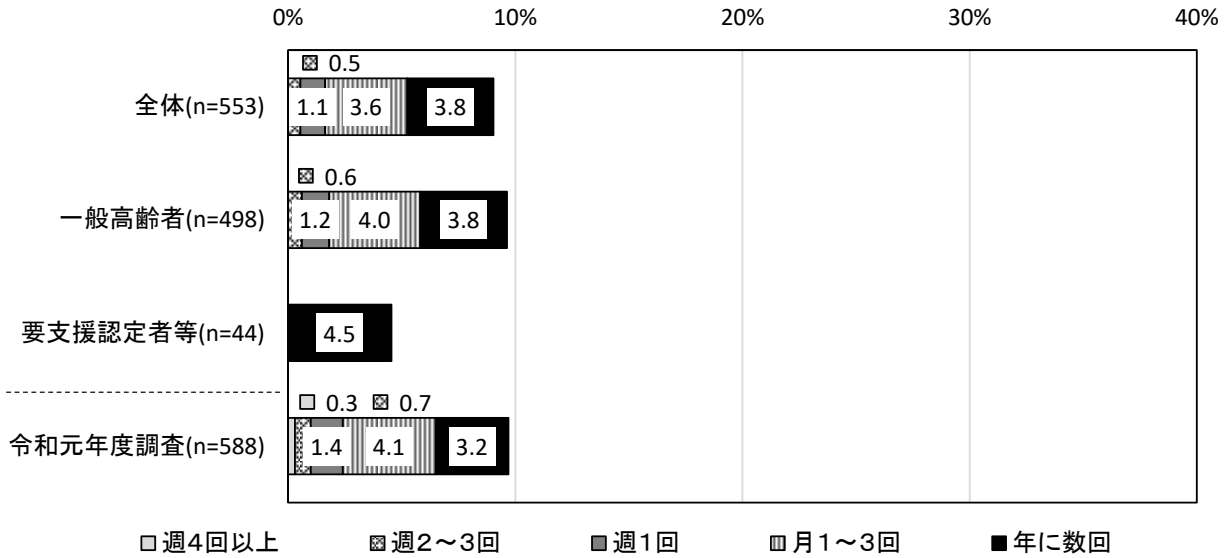


④学習・教養サークル

一般高齢者では、「月1～3回」が4.0%と最も高くなっています。要支援認定者等では、「年に数回」が4.5%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で参加している割合が低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では参加している割合が低くなっています。

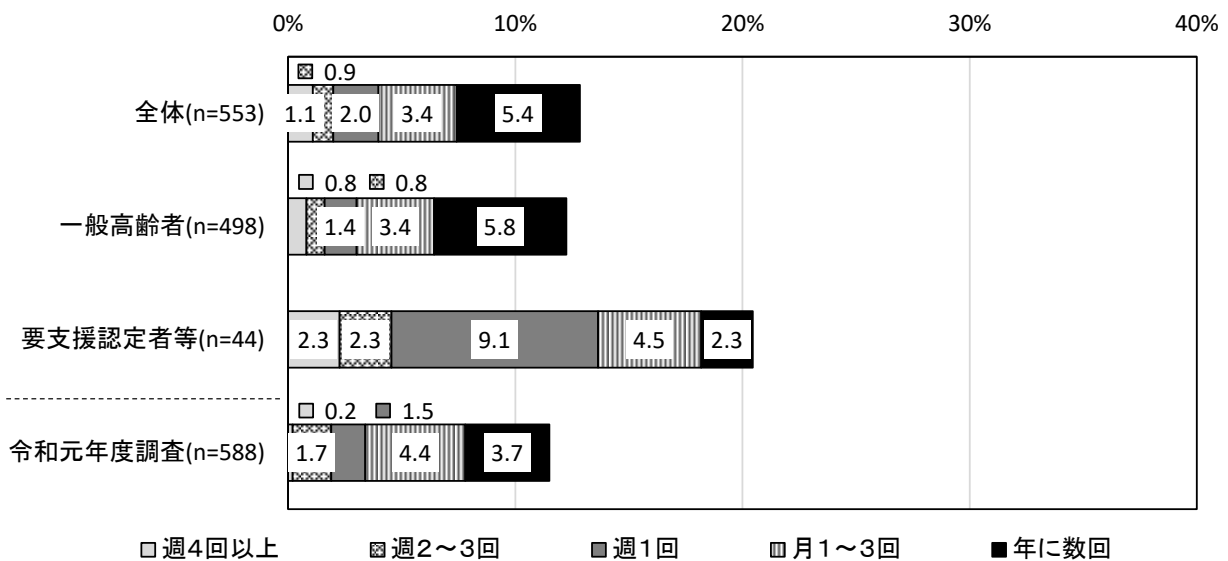


⑤地域の通いの場

一般高齢者では、「年に数回」が5.8%と最も高くなっています。要支援認定者等では、「週1回」が9.1%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で参加している割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では参加している割合が高くなっています。

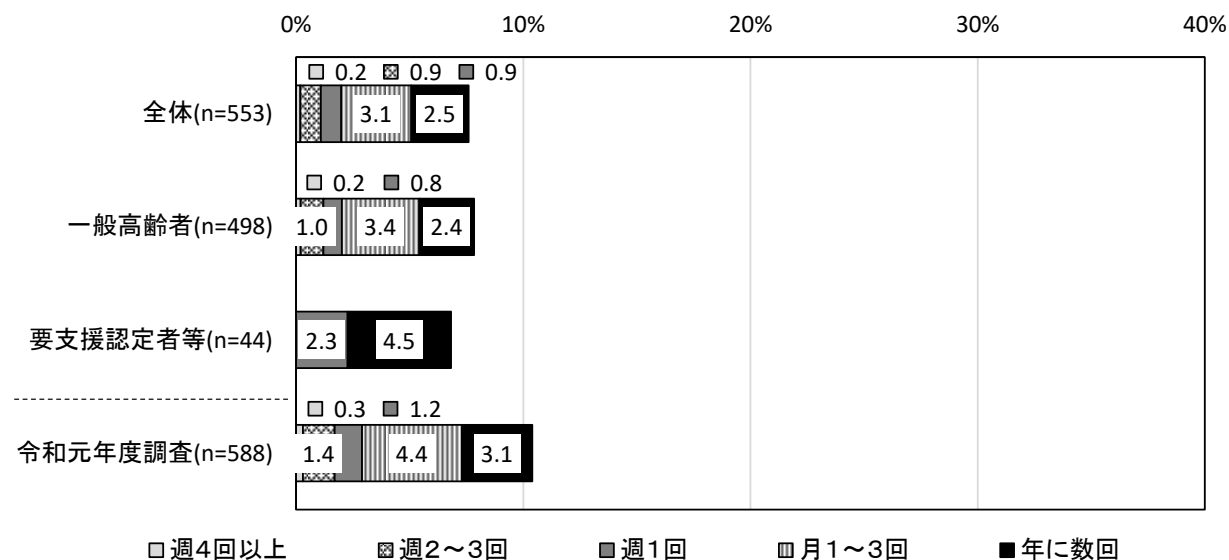


⑥ゆめクラブ

一般高齢者では、「月1～3回」が3.4%と最も高くなっています。要支援認定者等では、「年に数回」が4.5%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で参加している割合が低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では参加している割合が低くなっています。

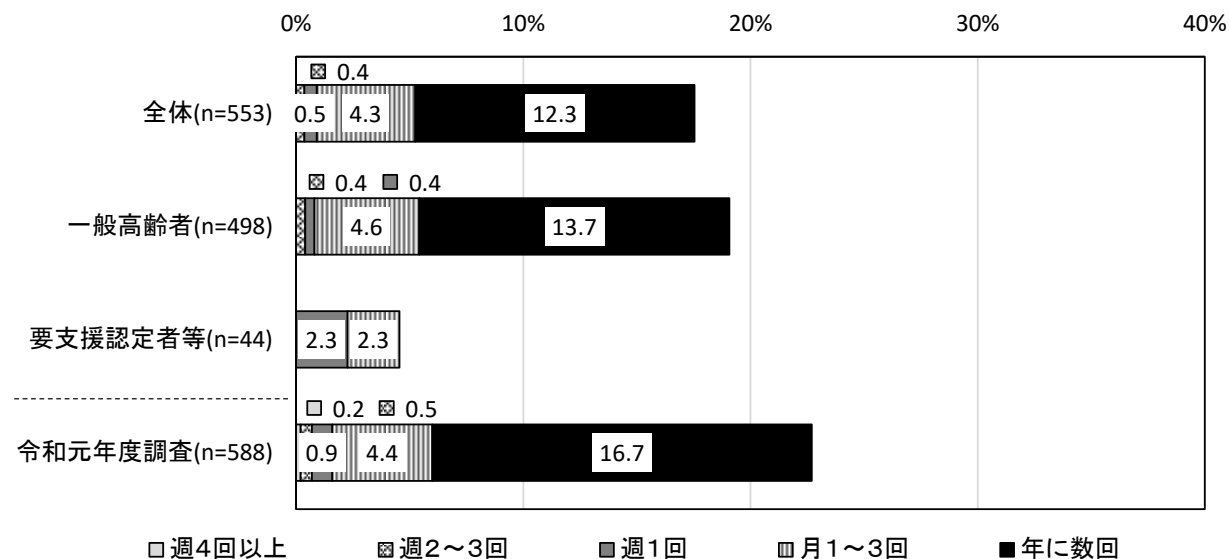


⑦町内会・自治会

一般高齢者では、「年に数回」が13.7%と最も高くなっています。要支援認定者等では、「週1回」「月1～3回」が2.3%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で参加している割合が低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では参加している割合が低くなっています。

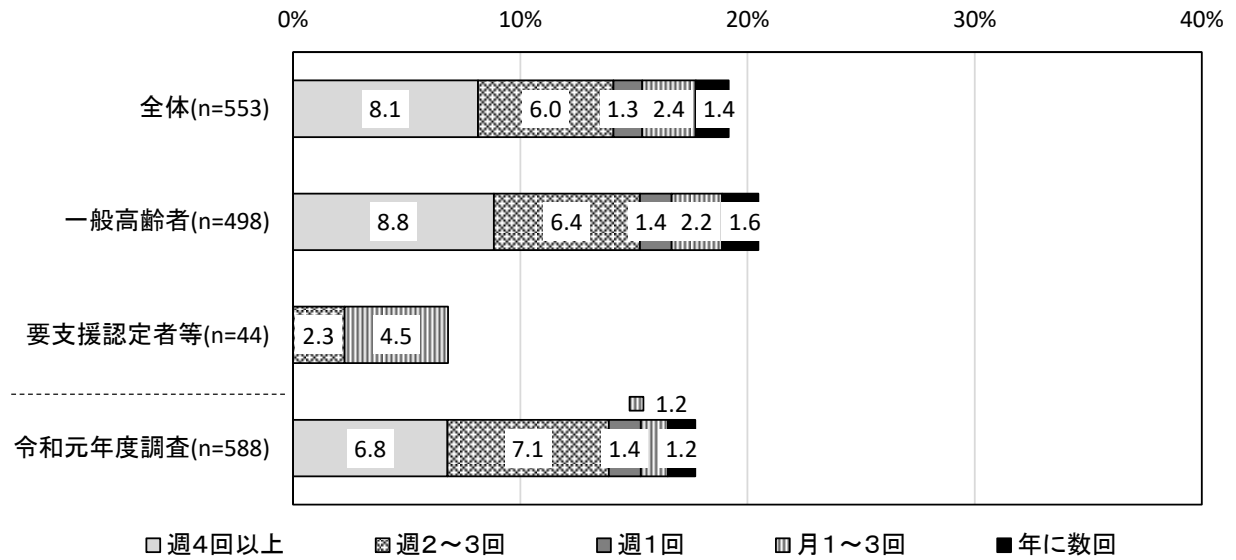


⑧収入のある仕事

一般高齢者では、「週4回以上」が8.8%と最も高くなっています。要支援認定者等では、「月1～3回」が4.5%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で参加している割合が低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では参加している割合が高くなっています。

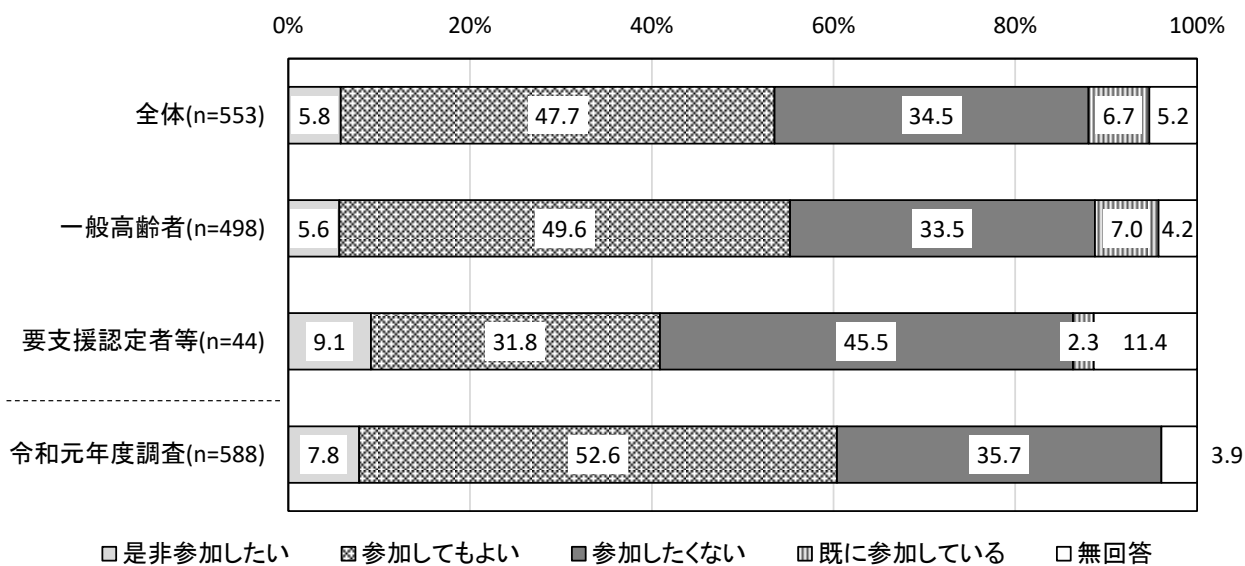


問 46 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つを選択）

一般高齢者では、「参加してもよい」が49.6%と最も高く、次いで「参加したくない」が33.5%となっています。要支援認定者等では、「参加したくない」が45.5%と最も高く、次いで「参加してもよい」が31.8%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「参加したくない」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた『参加意向がある人』が0.2ポイント低くなっています。



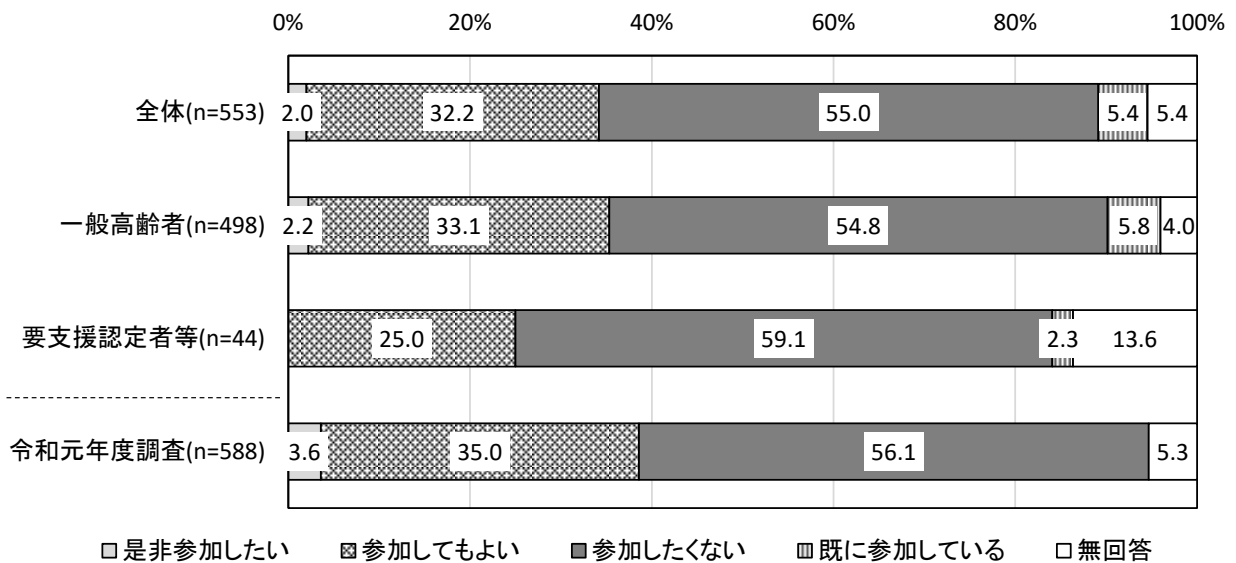
※令和元年度調査では、「既に参加している」という選択肢はなし

問 47 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つを選択）

一般高齢者では、「参加したくない」が54.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」が33.1%となっています。要支援認定者等では、「参加したくない」が59.1%と最も高く、次いで「参加してもよい」が25.0%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「参加したくない」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた『参加意向がある人』が1.0ポイント高くなっています。



※令和元年度調査では、「既に参加している」という選択肢はなし

6 あなたとまわりの人の「助け合い」について

問 48 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（複数選択可）

一般高齢者では、「配偶者」が58.4%と最も高く、次いで「友人」が45.8%、「別居の子ども」が40.4%となっています。要支援認定者等では、「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が31.8%と最も高く、次いで「配偶者」が29.5%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・孫姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	ない その ような 人はい	無回答
(単位: %)										
全体	(n=553)	55.7	18.6	39.6	27.5	8.3	43.6	2.4	3.4	1.4
一般高齢者	(n=498)	58.4	18.1	40.4	27.7	8.8	45.8	1.8	2.6	1.2
要支援認定者等	(n=44)	29.5	22.7	31.8	31.8	2.3	25.0	9.1	11.4	0.0
令和元年度調査	(n=588)	59.2	20.7	37.1	29.3	7.5	42.5	1.7	3.9	2.4

問 49 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（複数選択可）

一般高齢者では、「配偶者」が55.4%と最も高く、次いで「友人」が46.4%、「別居の子ども」が39.0%となっています。要支援認定者等では、「友人」が31.8%と最も高く、次いで「配偶者」が22.7%、「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「そのような人はいない」が20.5%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・孫姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	ない その ような 人はい	無回答
(単位: %)										
全体	(n=553)	52.6	15.7	37.6	28.6	11.4	44.8	1.3	3.8	2.7
一般高齢者	(n=498)	55.4	15.9	39.0	29.5	11.8	46.4	1.0	2.4	2.2
要支援認定者等	(n=44)	22.7	9.1	20.5	20.5	4.5	31.8	2.3	20.5	6.8
令和元年度調査	(n=588)	54.8	18.4	36.6	31.6	12.1	43.0	1.0	6.1	3.1

問 50 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数選択可）

一般高齢者では、「配偶者」が63.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」が33.5%、「同居の子ども」が25.1%となっています。要支援認定者等では、「配偶者」が38.6%と最も高く、次いで「同居の子ども」が29.5%、「別居の子ども」が27.3%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「同居の子ども」「友人」「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・孫・姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	なそのような人はい	無回答
(単位: %)										
全体	(n=553)	61.7	25.5	32.7	11.9	2.4	6.7	2.2	5.1	1.6
一般高齢者	(n=498)	63.9	25.1	33.5	12.2	2.4	6.6	1.6	4.4	1.0
要支援認定者等	(n=44)	38.6	29.5	27.3	9.1	2.3	9.1	9.1	9.1	4.5
令和元年度調査	(n=588)	64.6	26.4	32.3	13.6	3.1	5.1	1.9	4.3	1.7

問 51 反対に、看病や世話をしあげる人（複数選択可）

一般高齢者では、「配偶者」が66.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」が27.3%、「同居の子ども」が20.1%となっています。要支援認定者等では、「配偶者」が34.1%と最も高く、次いで「そのような人はいない」が20.5%、「同居の子ども」が9.1%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「そのような人はいない」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・孫・姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	なそのような人はい	無回答
(単位: %)										
全体	(n=553)	63.7	19.3	25.5	16.3	4.2	8.1	2.4	9.6	4.9
一般高齢者	(n=498)	66.5	20.1	27.3	17.1	4.2	8.4	1.4	8.8	3.0
要支援認定者等	(n=44)	34.1	9.1	6.8	4.5	4.5	2.3	13.6	20.5	18.2
令和元年度調査	(n=588)	64.5	22.6	27.2	19.7	3.1	7.3	1.5	9.4	5.4

問 52 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（複数選択可）

一般高齢者では、「そのような人はいない」が35.1%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」が33.7%、「民生委員」が15.7%となっています。要支援認定者等では、「地域包括支援センター・役場」が45.5%と最も高く、次いで「ケアマネジャー」「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」が29.5%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「ケアマネジャー」「地域包括支援センター・役場」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「民生委員」「地域包括支援センター・役場」の割合が特に高くなっています。

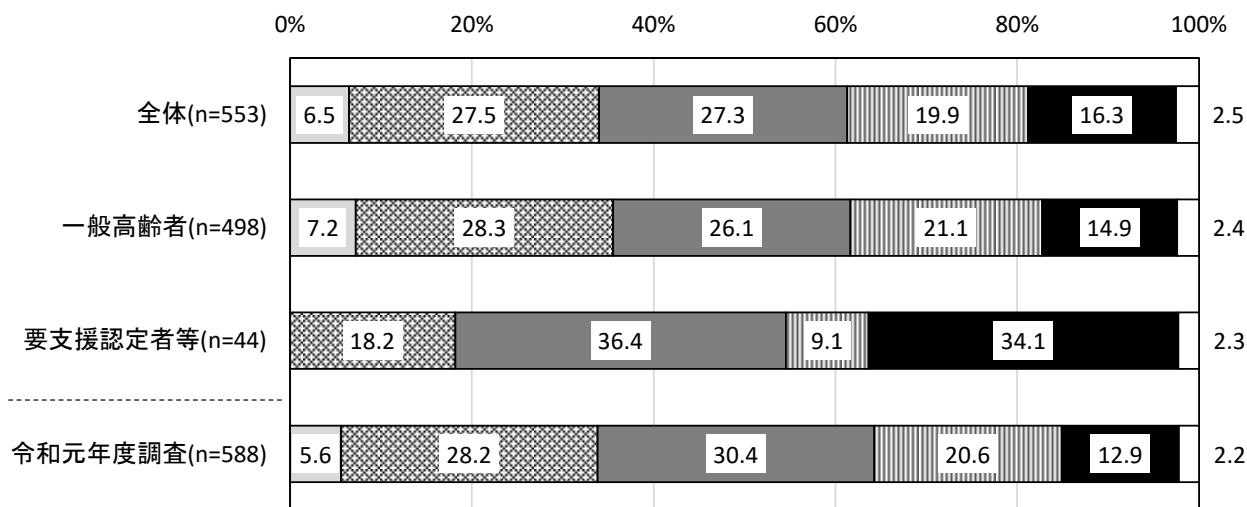
		ゆめ自治会 クラブ・町内会・	民生委員	社会福祉協議会	ケアマネジャー	薬剤師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役場	その他	なような人はいない	無回答
(単位: %)										
全体	(n=553)	5.8	15.9	3.3	6.0	33.6	15.6	8.7	33.1	6.7
一般高齢者	(n=498)	5.6	15.7	3.2	3.6	33.7	12.4	9.0	35.1	6.4
要支援認定者等	(n=44)	4.5	15.9	4.5	29.5	29.5	45.5	4.5	13.6	6.8
令和元年度調査	(n=588)	7.0	12.9	4.1	5.6	33.8	12.4	8.7	32.5	9.0

問 53 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つを選択）

一般高齢者では、「週に何度かある」が28.3%と最も高く、次いで「月に何度かある」が26.1%となっています。要支援認定者等では、「月に何度かある」が36.4%と最も高く、次いで「ほとんどない」が34.1%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「月に何度かある」「ほとんどない」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「ほとんどない」の割合が特に高くなっています。



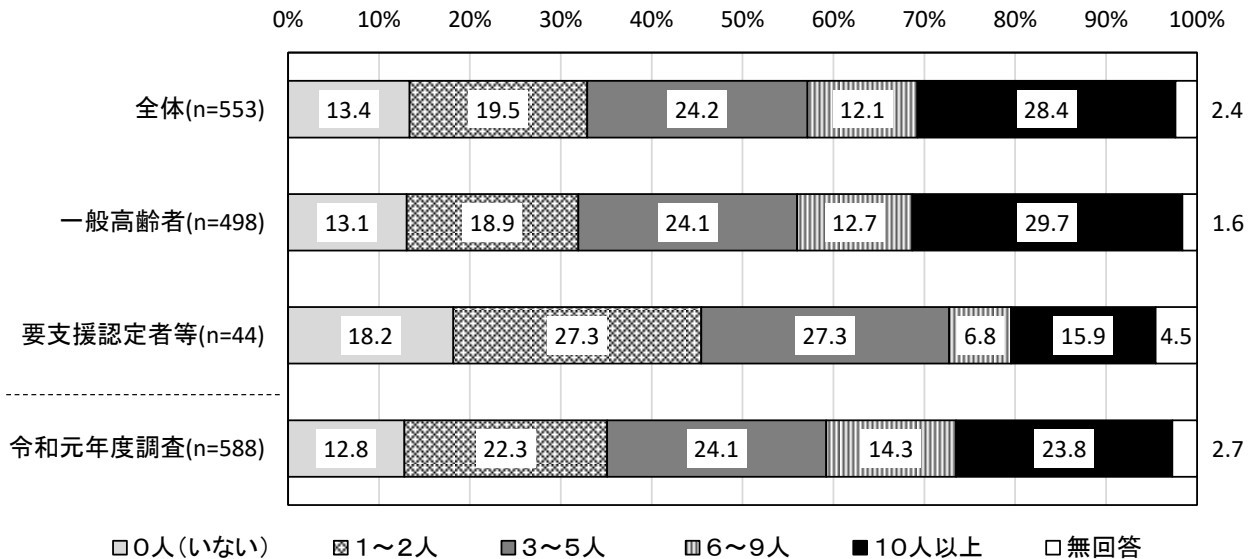
□毎日ある ▣週に何度かある ■月に何度かある ▨年に何度かある ■ほとんどない □無回答

問 54 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします（1つを選択）

一般高齢者では、「10人以上」が29.7%と最も高く、次いで「3～5人」が24.1%、「1～2人」が18.9%となっています。要支援認定者等では、「1～2人」「3～5人」が27.3%と最も高く、次いで「0人（いない）」が18.2%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「0人（いない）」「1～2人」「3～5人」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「10人以上」の割合が特に高くなっています。



問 55 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（複数選択可）

一般高齢者では、「近所・同じ地域の人」が45.4%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が43.4%となっています。要支援認定者等では、「近所・同じ地域の人」が45.5%と最も高く、次いで「いない」が18.2%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いない」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

		人近所・同じ地域の	幼なじみ	学生時代の友人	同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の友人等	その他	いない	無回答
(単位: %)										
全体	(n=553)	45.2	5.8	17.0	25.1	40.3	9.0	9.2	8.9	1.8
一般高齢者	(n=498)	45.4	6.2	17.7	26.7	43.4	9.4	8.4	8.0	1.2
要支援認定者等	(n=44)	45.5	2.3	9.1	9.1	11.4	6.8	15.9	18.2	4.5
令和元年度調査	(n=588)	49.1	7.7	17.3	27.9	41.3	10.4	7.3	8.0	2.9

7 日常生活支援サービスについて

問 56 今後、日常生活に必要となる支援サービスまたは充実が必要と思う支援サービスはどのようなものですか（あてはまるものすべてに○）

一般高齢者では、「特になし」が34.1%と最も高く、次いで「配食」が23.9%、「買い物（配食は含まない）」が23.7%となっています。要支援認定者等では、「掃除」が40.9%と最も高く、次いで「見守り・声掛け」が29.5%、「買い物（配食は含まない）」が27.3%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「特になし」を除くすべての項目で割合が高くなっており、「掃除」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「配食」「見守り・声掛け」の割合が特に高くなっています。

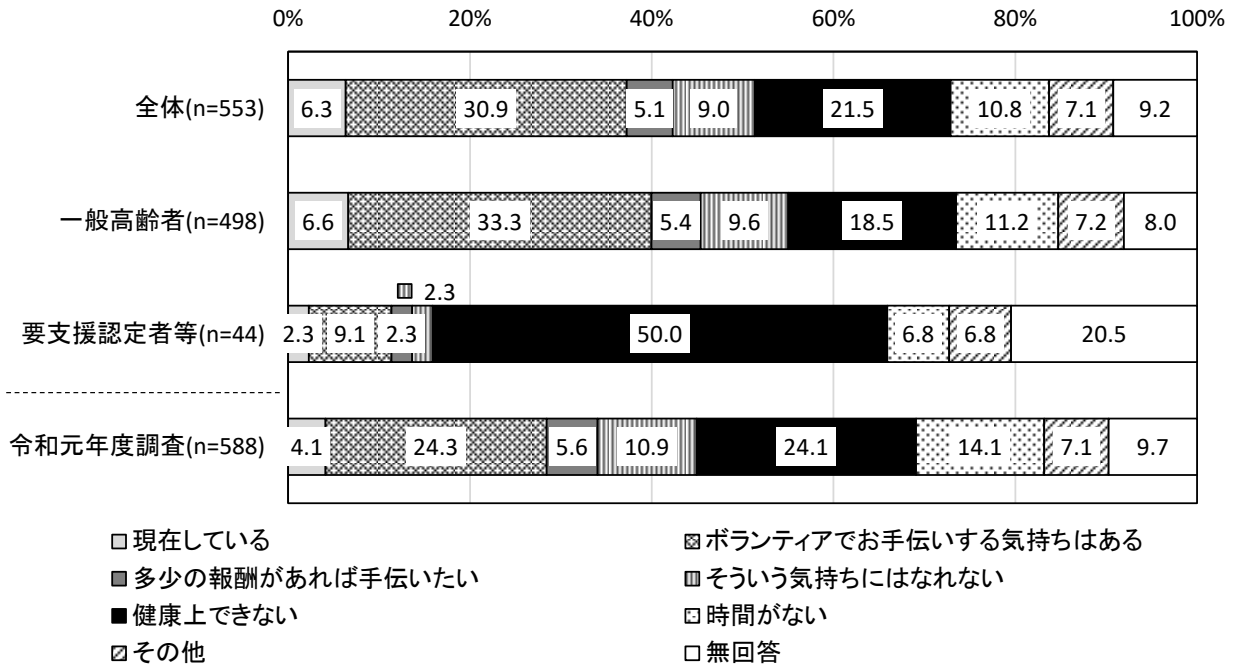
		配食	調理	掃除	洗濯	買 ない 物 （ 配 食 は 含 ）	ゴ ミ 出 し	外 出 同 行	移 送 サ ー ビ ス	見 守 り ・ 声 掛 け	地 域 の 通 い の 場	そ の 他	特 に な し	無 回 答
(単位：%)														
全体	(n=553)	24.1	10.8	19.5	9.2	23.5	16.3	10.1	20.1	23.3	8.0	3.6	32.7	6.7
一般高齢者	(n=498)	23.9	10.6	17.9	8.4	23.7	15.9	9.6	20.1	23.3	7.6	3.0	34.1	6.0
要支援認定者等	(n=44)	25.0	15.9	40.9	18.2	27.3	20.5	18.2	25.0	29.5	13.6	11.4	18.2	6.8
令和元年度調査	(n=588)	21.4	11.4	18.5	9.4	23.5	14.3	9.2	20.7	19.4	7.0	2.7	35.9	7.8

問 57 地域の高齢者の方がお困りのことがあれば、お手伝いすることは可能ですか（現在あるいは将来的にいずれかでも結構です）（1つを選択）

一般高齢者では、「ボランティアでお手伝いする気持ちはある」が33.3%と最も高く、次いで「健康上できない」が18.5%となっています。要支援認定者等では、「健康上できない」が50.0%と最も高く、次いで「ボランティアでお手伝いする気持ちはある」が9.1%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「健康上できない」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「ボランティアでお手伝いする気持ちはある」の割合が特に高くなっています。



問 57 で「現在している」「ボランティアでお手伝いする気持ちはある」「多少の報酬があれば手伝いたい」のいずれかを答えた方にお伺いします。

問 57-1 どのようなことをお手伝いができますか（あてはまるものすべてに○）

一般高齢者では、「見守り、声掛け」が 66.4%と最も高く、次いで「ゴミ出し」が 42.5%、「買い物（配食は含まない）」が 37.6%となっています。要支援認定者等では、「見守り、声掛け」「地域の通い場」が 33.3%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「地域の通い場」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「掃除」「ゴミ出し」の割合が特に高くなっています。

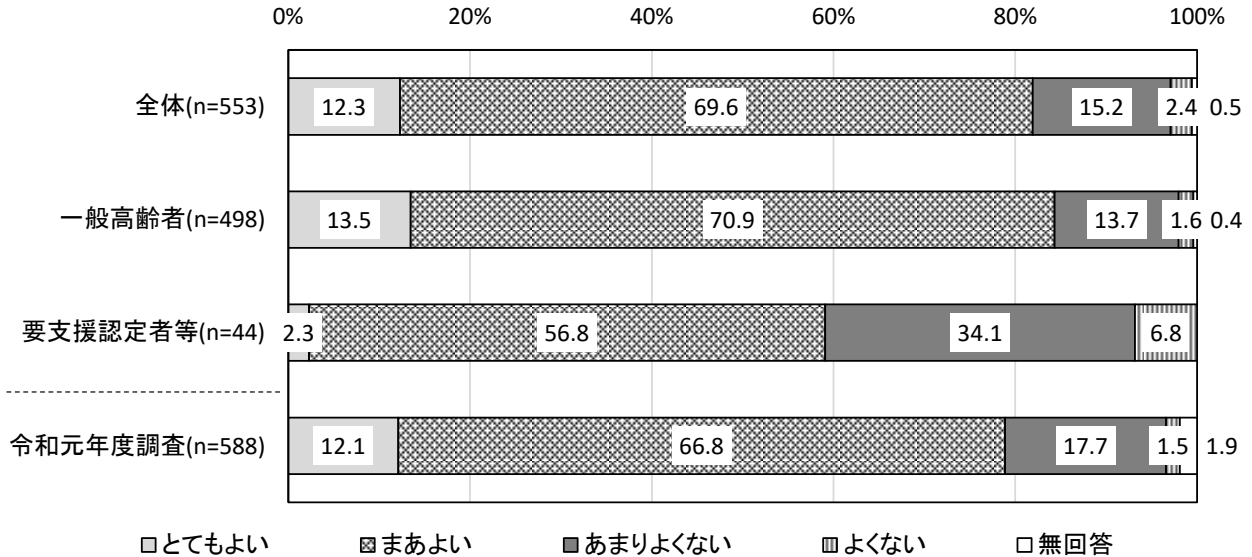
		配食	調理	掃除	洗濯	買ない物 （配食は含 ま	ゴミ 出し	外出 同行	移送 サー ビス	見 守り ・ 声 掛 け	地 域 の 通 い の 場	そ の 他	無 回 答
(単位:%)													
全体	(n=234)	7.7	9.0	22.6	9.8	36.8	41.5	25.6	17.5	65.4	16.7	5.1	3.0
一般高齢者	(n=226)	8.0	9.3	23.0	10.2	37.6	42.5	25.7	18.1	66.4	16.4	4.9	1.8
要支援認定者等	(n=6)	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3	33.3	16.7	33.3
令和元年度調査	(n=200)	6.5	8.0	17.5	7.0	34.5	30.5	24.5	19.0	63.0	14.5	3.0	4.0

8 健康について

問 58 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つを選択）

一般高齢者では、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『健康状態が良くない人』が15.3%、要支援認定者等では40.9%と、25.6ポイントの差となっています。

令和元年度調査と比べると、全体では『健康状態が良くない人』が1.6ポイント低くなっています。



問 59 あなたは、現在どの程度幸せですか

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

一般高齢者では、「8点」が25.9%と最も高く、次いで「7点」が15.7%となっています。要支援認定者等では、「5点」が34.1%と最も高く、次いで「10点」が18.2%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「2点」「5点」「6点」「10点」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

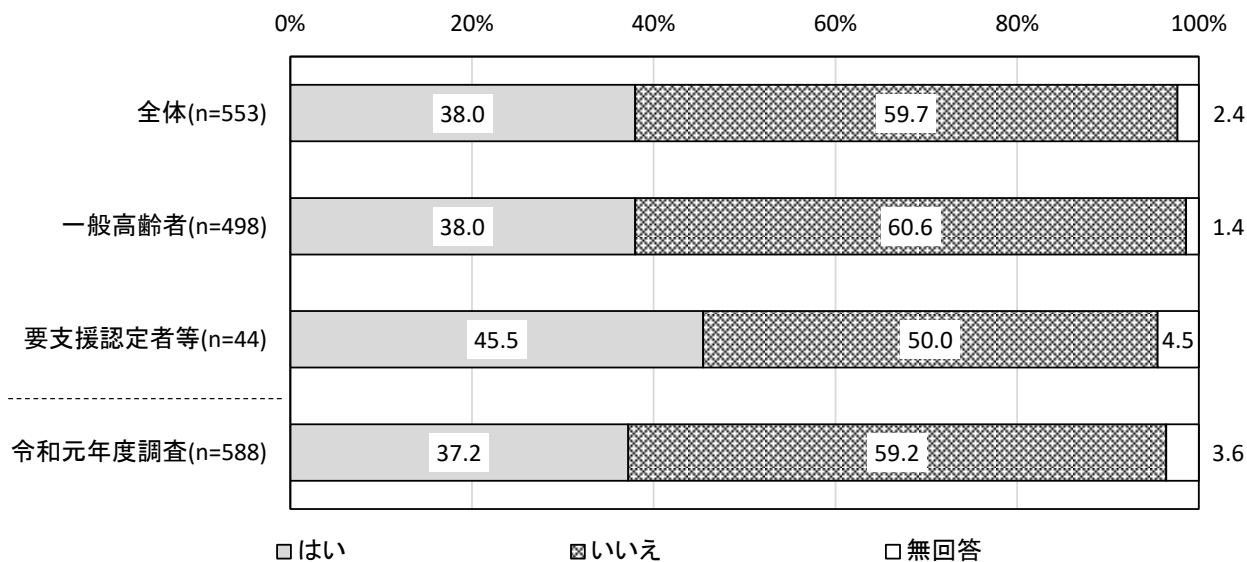
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
(単位: %)													
全体	(n=553)	0.4	0.2	0.7	1.1	2.5	16.6	7.4	14.6	24.6	13.0	15.6	3.3
一般高齢者	(n=498)	0.2	0.2	0.4	1.2	2.6	14.9	7.2	15.7	25.9	13.9	15.3	2.6
要支援認定者等	(n=44)	0.0	0.0	4.5	0.0	2.3	34.1	11.4	6.8	11.4	4.5	18.2	6.8
令和元年度調査	(n=588)	0.0	0.0	0.7	1.9	2.2	16.0	7.8	13.6	26.5	11.4	16.3	3.6

問 60 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が38.0%、「いいえ」が60.6%となっています。要支援認定者等では、「はい」が45.5%、「いいえ」が50.0%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」が7.5ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

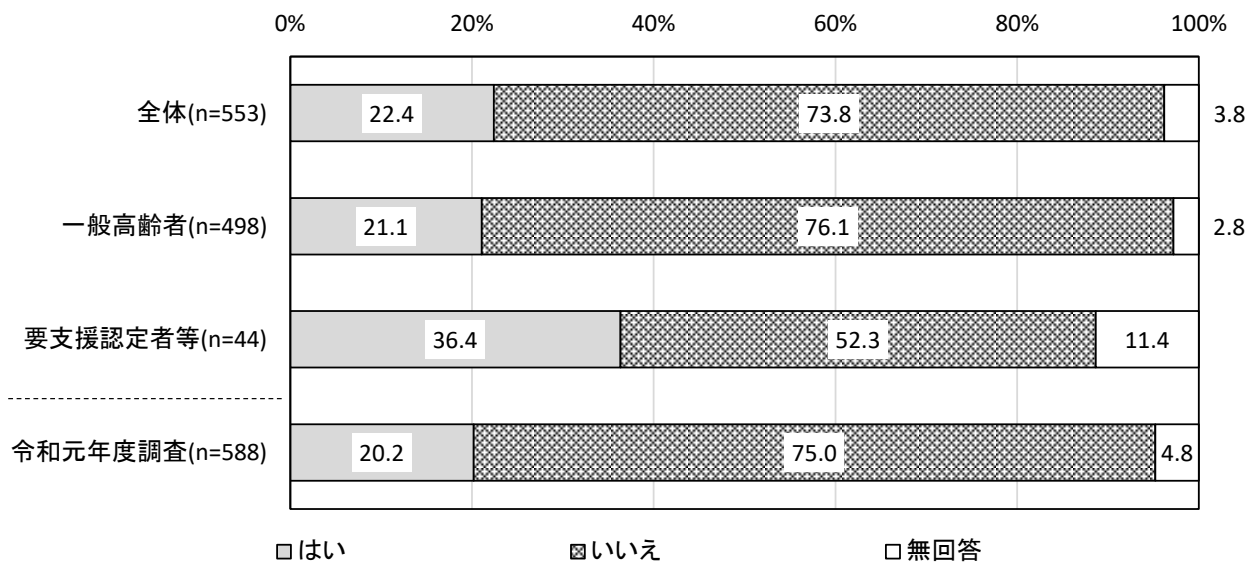


問 61 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が21.1%、「いいえ」が76.1%となっています。要支援認定者等では、「はい」が36.4%、「いいえ」が52.3%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」が15.3ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「はい」の割合が高くなっています。

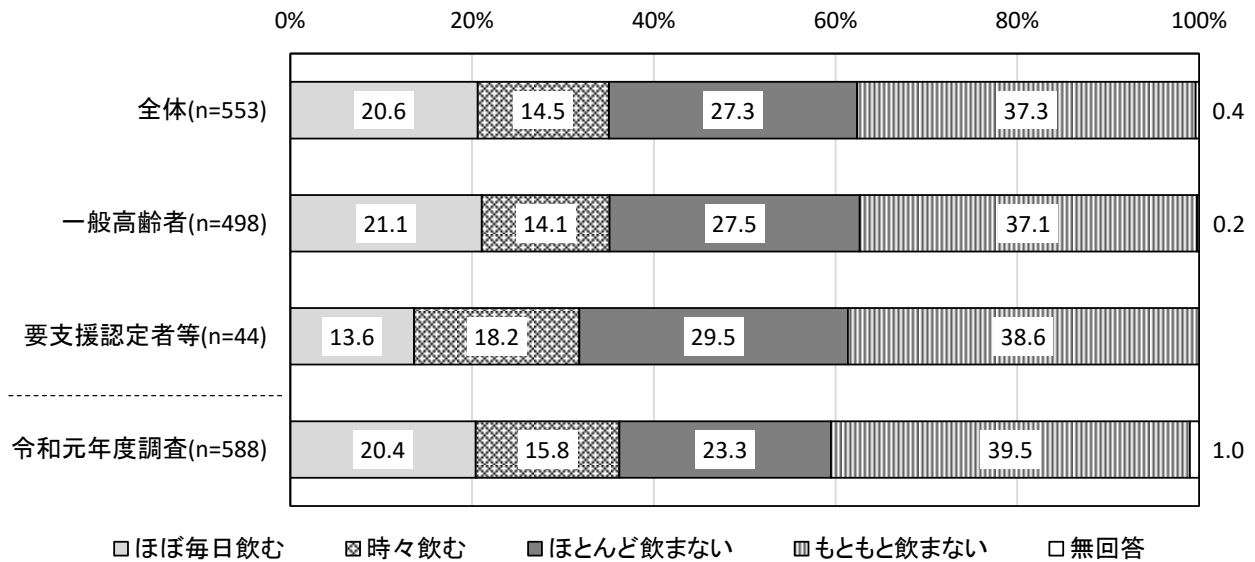


問 62 お酒は飲みますか（1つを選択）

一般高齢者では、「もともと飲まない」が37.1%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が27.5%となっています。要支援認定者等でも、「もともと飲まない」が38.6%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が29.5%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「ほぼ毎日飲む」が7.5ポイント低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「ほとんど飲まない」の割合が特に高くなっています。

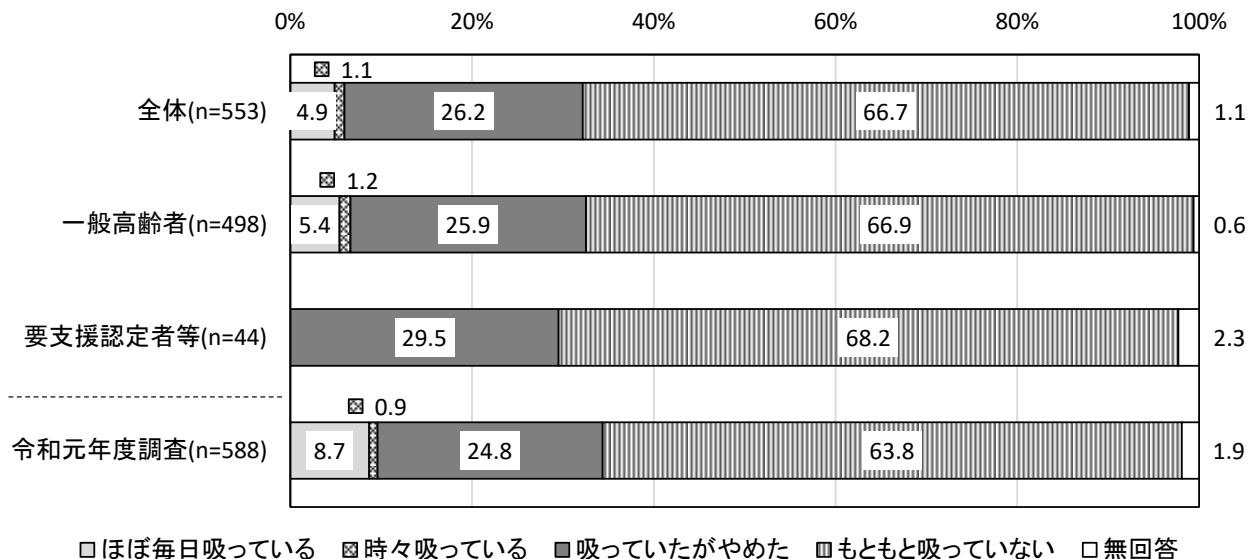


問 63 タバコは吸っていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「もともと吸っていない」が66.9%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が25.9%となっています。要支援認定者等では、「もともと吸っていない」が68.2%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が29.5%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者では、「ほぼ毎日吸っている」が5.4%なのに対し、要支援認定者等では0.0%となっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「もともと吸っていない」の割合が特に高くなっています。



問 64 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（複数選択可）

一般高齢者では、「高血圧」が43.4%と最も高く、次いで「目の病気」が20.3%、「ない」が15.1%となっています。要支援認定者等では、「高血圧」が40.9%と最も高く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が25.0%、「心臓病」「糖尿病」「目の病気」が18.2%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で多くの項目の割合が高くなっており、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「高血圧」の割合が特に高くなっています。

		ない	高血圧	脳脳 梗卒 塞中 等（ 脳出 血・	心臓 病	糖 尿 病	常高 脂血 症（ 脂質 異	炎呼 や吸 気器 管の 病 支 炎 等（ 肺	う胃 腸の 病・ 肝 臓・ 胆 の	気腎 臓・ 前 立 腺 の 病	症粗 等し （よ ）骨 格の 病 気 （骨
(単位：%)											
全体	(n=553)	13.7	43.2	2.9	12.5	13.6	13.7	5.1	6.1	7.2	14.6
一般高齢者	(n=498)	15.1	43.4	1.8	12.2	13.3	13.9	4.6	6.2	7.2	13.5
要支援認定者等	(n=44)	2.3	40.9	15.9	18.2	18.2	11.4	9.1	4.5	9.1	25.0
令和元年度調査	(n=588)	17.5	38.1	4.1	12.1	13.4	13.4	6.3	7.0	7.7	13.4
		等外 傷 （ 転 倒 ・ 骨 折	物が ん （ 悪 性 新 生	血 液 ・ 免 疫 の 病 気	う つ 病	イ認 マ知 ー症 病 等（ アル ツハ	パ ー キ ン ソ ン 病	目 の 病 気	耳 の 病 気	そ の 他	無 回 答
(単位：%)											
全体	(n=553)	3.4	3.6	1.3	0.9	0.4	0.4	20.6	5.8	9.2	3.4
一般高齢者	(n=498)	2.8	3.6	1.0	0.8	0.4	0.4	20.3	5.6	8.8	2.8
要支援認定者等	(n=44)	6.8	4.5	4.5	2.3	0.0	0.0	18.2	9.1	13.6	6.8
令和元年度調査	(n=588)	2.9	3.7	1.2	1.5	0.9	0.7	21.4	5.3	8.8	3.2

9 認知症高齢者支援について

問 65 認知症についてどのようなことを不安に感じますか（3つまで選択可）

一般高齢者では、「認知症の症状の進行」が41.2%と最も高く、次いで「介護者の身体的負担」が34.1%、「介護者の精神的ストレス」が33.5%となっています。要支援認定者等では、「認知症の症状の進行」「介護者の身体的負担」「不安に感じていることはない」が25.0%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「近所の人などの無理解や偏見」「不安に感じていることはない」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「認知症の相談先・受診先」「認知症の症状の進行」の割合が特に高くなっています。

(単位: %)		受 診 先 の 相 談 先 ・	行 知 症 の 症 状 の 進	担 介 護 者 の 身 体 的 負	ト 介 護 者 の 精 神 的 ス	担 介 護 者 の 経 済 的 負	家 庭 内 の 人 間 関 係	理 近 所 の 人 な ど の 無	財 産 管 理	そ の 他	こ と は な い に 感 じ て い る	無 回 答
全体	(n=553)	31.5	39.2	32.7	32.0	18.1	9.4	3.4	8.9	1.8	15.6	8.9
一般高齢者	(n=498)	32.7	41.2	34.1	33.5	19.1	9.8	3.0	9.0	2.0	14.5	7.2
要支援認定者等	(n=44)	22.7	25.0	25.0	20.5	11.4	4.5	6.8	9.1	0.0	25.0	20.5
令和元年度調査	(n=588)	26.4	36.7	36.7	34.0	20.4	8.8	3.6	7.1	1.4	20.6	9.2

■年齢階級別

年齢階級別でみると、85～89歳では「介護者の身体的負担」が最も高くなっており、他の年齢階級では「認知症の症状の進行」が最も高くなっています。また、70～74歳では「介護者の身体的負担」が39.3%、「介護者の精神的ストレス」が41.5%と他の年齢階級と比べて特に高くなっています。

(単位: %)		受 診 先 の 相 談 先 ・	行 知 症 の 症 状 の 進	担 介 護 者 の 身 体 的 負	ト 介 護 者 の 精 神 的 ス	担 介 護 者 の 経 済 的 負	家 庭 内 の 人 間 関 係	理 近 所 の 人 な ど の 無	財 産 管 理	そ の 他	こ と は な い に 感 じ て い る	無 回 答
全体	(n=553)	31.5	39.2	32.7	32.0	18.1	9.4	3.4	8.9	1.8	15.6	8.9
65～69歳	(n=95)	30.5	45.3	33.7	37.9	20.0	13.7	5.3	9.5	0.0	17.9	5.3
70～74歳	(n=135)	34.8	43.0	39.3	41.5	17.0	11.1	3.7	11.9	0.0	15.6	4.4
75～79歳	(n=136)	31.6	36.0	30.9	30.1	19.9	8.8	0.7	7.4	2.9	15.4	8.1
80～84歳	(n=90)	32.2	43.3	30.0	27.8	18.9	7.8	4.4	6.7	3.3	15.6	7.8
85～89歳	(n=65)	29.2	29.2	33.8	18.5	15.4	7.7	3.1	9.2	3.1	9.2	16.9
90歳以上	(n=27)	18.5	29.6	14.8	18.5	11.1	0.0	7.4	3.7	3.7	18.5	33.3

**問 66 認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと考えますか
(5つまで選択可)**

一般高齢者では、「認知症初期集中支援チーム」の関わり」が45.2%と最も高く、次いで認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が41.4%、「家族向け研修会の開催（認知症の介護・コミュニケーション方法など）」が35.5%となっています。要支援認定者等では、「認知症初期集中支援チーム」の関わり」が36.4%と最も高く、次いで「家族の交流会や家族相談会などの支援（認知症カフェ）」「認知症を見守るボランティアの養成（認知症サポーターなど）」「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が25.0%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「家族の交流会や家族相談会などの支援（認知症カフェ）」「認知症の人と直接かかわり、本人の体験や本人が必要としていることを聞く」「若年性認知症に対する支援」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「認知症初期集中支援チーム」の関わり」「家族の交流会や家族相談会などの支援（認知症カフェ）」「家族向け研修会の開催（認知症の介護・コミュニケーション方法など）」の割合が特に高くなっています。

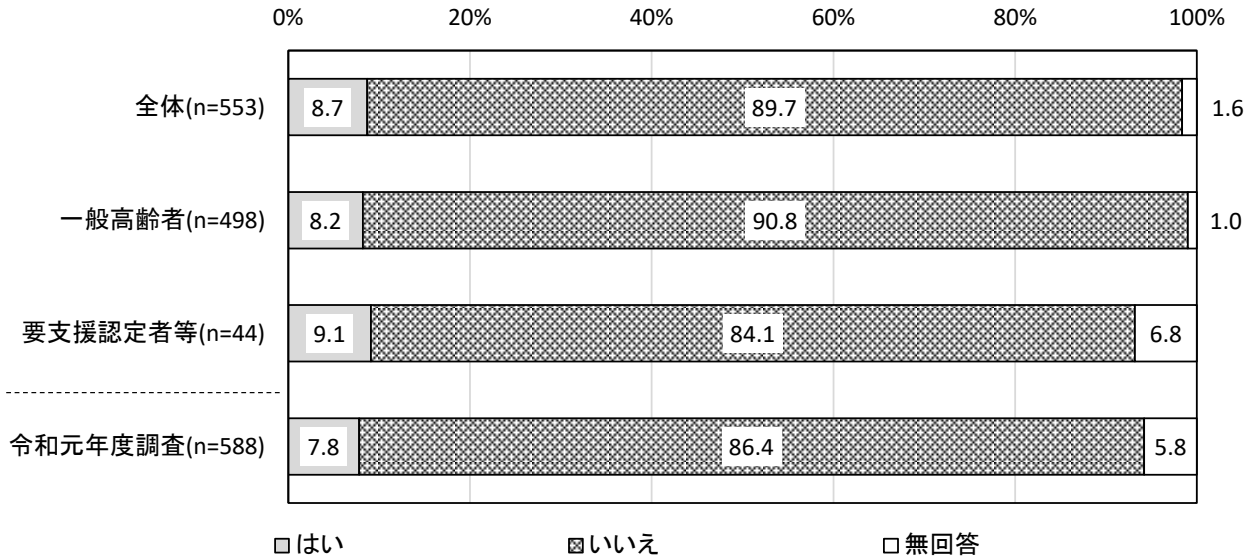
(単位: %)		ム 「認知症初期集中支援チ ーム」の関わり	予 防教室や講演会などの支援	ど 家族の交流会や家族相談会な る支援（認知症カフェ）	て 本人の体験や本人が必要とし ることを聞く	認 知症の人と直接かかわりし ることを聞く	症 家族向け研修会の開催（認 知症の介護・コミュニケーション 方法など）	ス （ネットワーキングの充 実など）	行 方不明の対応の充実 （探知など）	ど の養成（見守るボ ランティア）
全体	(n=553)	44.1	25.9	22.4	18.8	33.6	19.7	24.2		
一般高齢者	(n=498)	45.2	26.3	22.5	18.5	35.5	20.5	24.5		
要支援認定者等	(n=44)	36.4	22.7	25.0	22.7	18.2	6.8	25.0		
令和元年度調査	(n=588)	39.3	23.0	16.3	16.7	29.8	25.0	26.0		
(単位: %)		啓 学校教育や地域行 事での住民	制 成年後見制度や 虐待防止など	に 介護従事者（ヘル パーなど）	備 養 認 知 症 老 人 グ ル ー プ ホ ー ム な ど の 施 設 特 別	若 年 性 認 知 症 に 対 す る 支 援	そ の 他	無 回 答		
全体	(n=553)	6.1	10.5	17.4	40.0	8.3	3.6	13.7		
一般高齢者	(n=498)	6.2	11.2	17.7	41.4	8.2	3.4	12.0		
要支援認定者等	(n=44)	4.5	4.5	15.9	25.0	11.4	6.8	29.5		
令和元年度調査	(n=588)	6.3	9.9	18.7	41.7	7.5	3.7	17.2		

問 67 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が 8.2%、「いいえ」が 90.8%となっています。要支援認定者等では、「はい」が 9.1%、「いいえ」が 84.1%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」が 0.9 ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

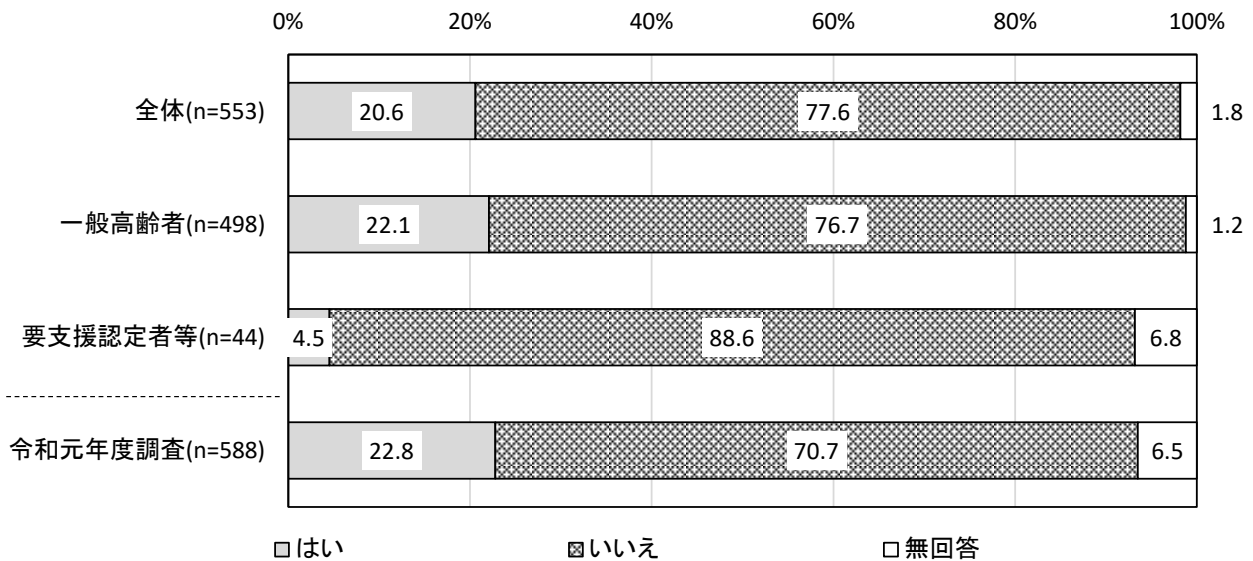


問 68 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が 22.1%、「いいえ」が 76.7%となっています。要支援認定者等では、「はい」が 4.5%、「いいえ」が 88.6%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」が 11.9 ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「いいえ」の割合が高くなっています。



問 68 で「はい」と答えた方にお伺いします。

問 68-1 知っている「認知症に関する相談窓口」を教えてください（複数選択可）

一般高齢者では、「町役場」が 66.4%と最も高く、次いで「地域包括支援センターなのはな」が 62.7%となっています。要支援認定者等では、「地域包括支援センターなのはな」が 100.0%と最も高く、次いで「町役場」が 50.0%となっています。

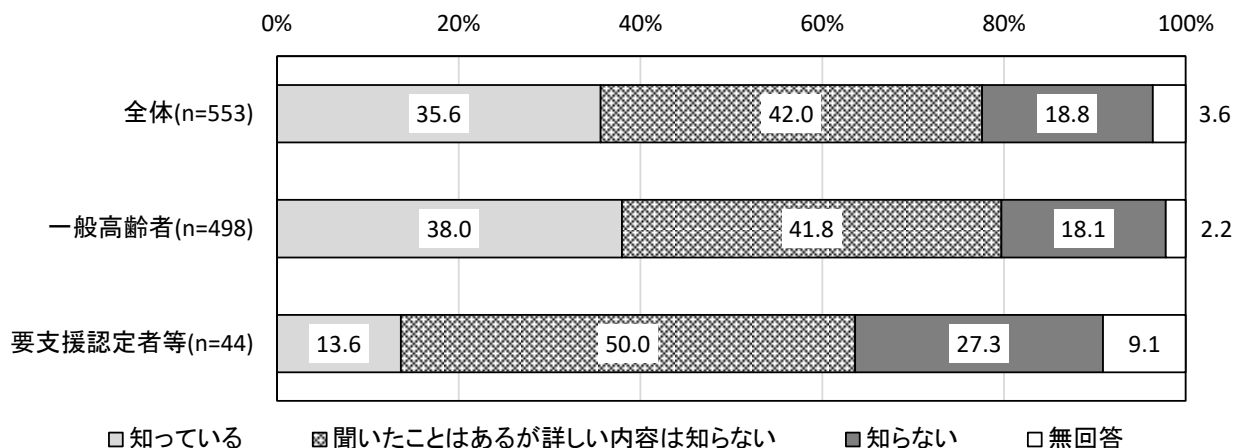
令和元年度調査と比べると、全体では「平塚保健福祉事務所」「町役場」の割合が特に高くなっています。

(単位: %)		地域包括支援センターなのはな	平塚保健福祉事務所	町役場	神奈川県認知症コールセンター	病院などの医療機関	若年性認知症コールセンター	その他	無回答
全体	(n=114)	62.3	14.9	64.9	4.4	37.7	0.9	2.6	3.5
一般高齢者	(n=110)	62.7	15.5	66.4	4.5	38.2	0.9	2.7	2.7
要支援認定者等	(n=2)	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
令和元年度調査	(n=134)	61.2	11.9	62.7	6.0	43.3	0.0	1.5	0.7

問 69 「成年後見制度」を知っていますか（1つを選択）

一般高齢者では、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」が 41.8%と最も高く、次いで「知っている」が 38.0%となっています。要支援認定者等では、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」が 50.0%と最も高く、次いで「知らない」が 27.3%となっています。

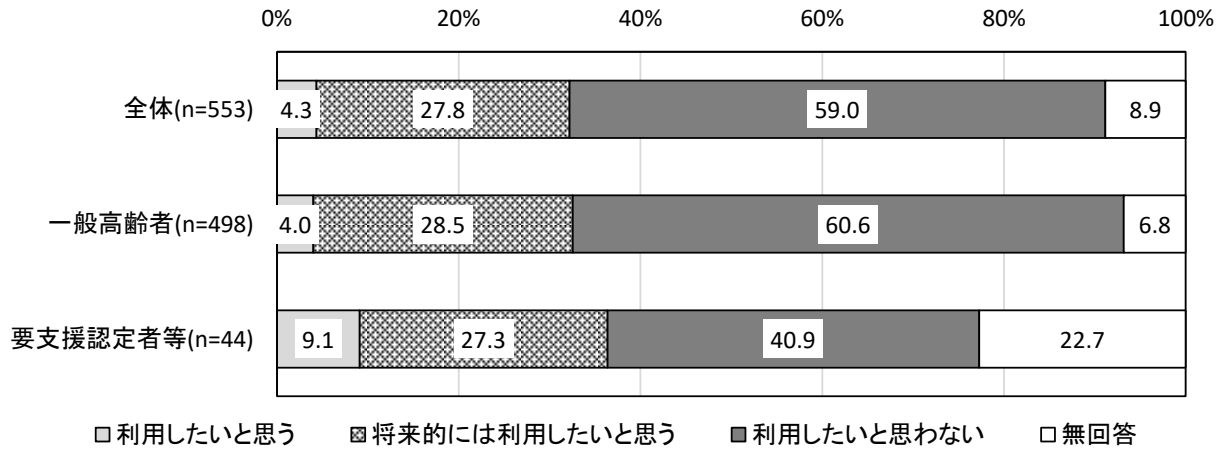
要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「知らない」の割合が特に高く、差は 9.2 ポイントとなっています。



問 70 「成年後見制度」のような制度を利用したいと思うことがありますか（1つを選択）

一般高齢者と要支援認定者等では、「利用したいと思わない」がそれぞれ 60.6%、40.9%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「利用したいと思う」の割合が高くなっています。



問 70 で「利用したいと思う」または「将来的には利用したいと思う」と回答した方にお伺いします。

問 70-1 「成年後見制度」は、どのようなことで必要だと思いますか（複数選択可）

一般高齢者では、「預貯金などの管理・解約」が 62.3%と最も高く、次いで「福祉サービスの契約（ホームヘルパーや施設通所等のため）」が 56.8%、「相続手続き」が 36.4%となっています。要支援認定者等では、「福祉サービスの契約（ホームヘルパーや施設通所等のため）」が 62.5%と最も高く、次いで「相続手続き」が 50.0%、「預貯金などの管理・解約」が 43.8%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「福祉サービスの契約（ホームヘルパーや施設通所等のため）」「相続手続き」の割合が特に高くなっています。

		理預・貯 ・貯 金 約 約 な ど の 管	約福 祉 サ ー ビ ス の 契	買 い 物 等	不 動 産 の 処 分	相 続 手 続 き	保 険 金 の 受 け 取 り	訴 訟 手 続 き 等	そ の 他	無 回 答
(単位: %)										
全体	(n=178)	60.7	57.3	23.0	30.9	37.6	25.8	8.4	1.7	5.1
一般高齢者	(n=162)	62.3	56.8	22.8	30.9	36.4	25.9	8.6	1.9	4.9
要支援認定者等	(n=16)	43.8	62.5	25.0	31.3	50.0	25.0	6.3	0.0	6.3

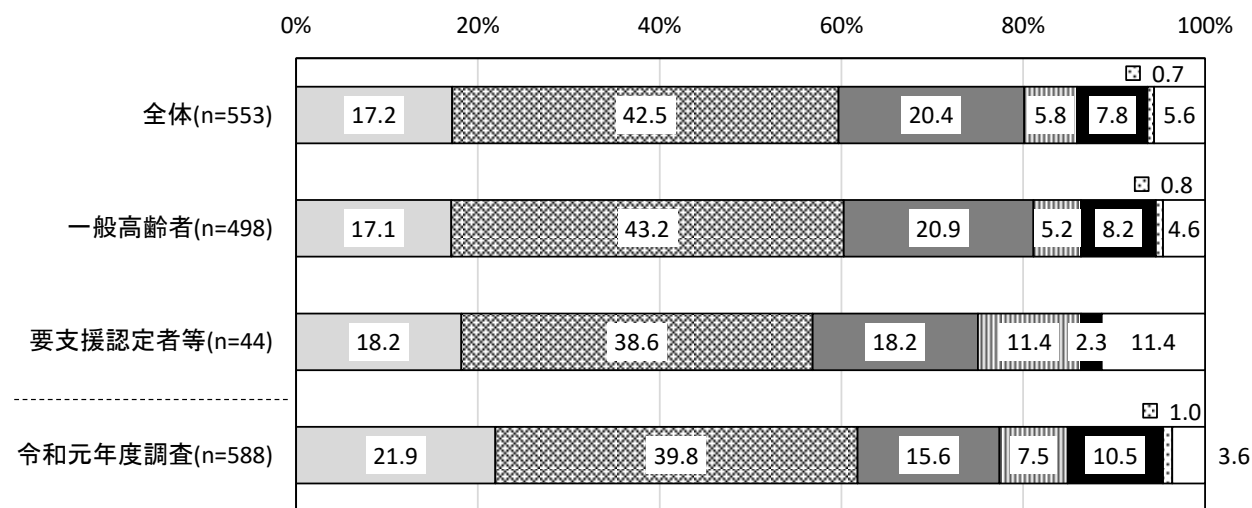
10 在宅医療と介護、看取りについて

問 71 あなたに介護と医療が必要な場合、どこでどのように暮らしたいと思いますか（1つを選択）

一般高齢者では、「必要な医療や介護サービス、福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が43.2%と最も高く、次いで「老人ホームやサービス付高齢者向け住宅などの施設に移って、医療や介護サービスを受けたい」が20.9%、「できれば自宅で、家族、親族のみの介護をうけながら必要な医療を受けて暮らしたい」が17.1%となっています。要支援認定者等では、「必要な医療や介護サービス、福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が38.6%と最も高く、次いで「できれば自宅で、家族、親族のみの介護をうけながら必要な医療を受けて暮らしたい」「老人ホームやサービス付高齢者向け住宅などの施設に移って、医療や介護サービスを受けたい」が18.2%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「病院で治療を受けたい」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「必要な医療や介護サービス、福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」「老人ホームやサービス付高齢者向け住宅などの施設に移って、医療や介護サービスを受けたい」の割合が高くなっています。



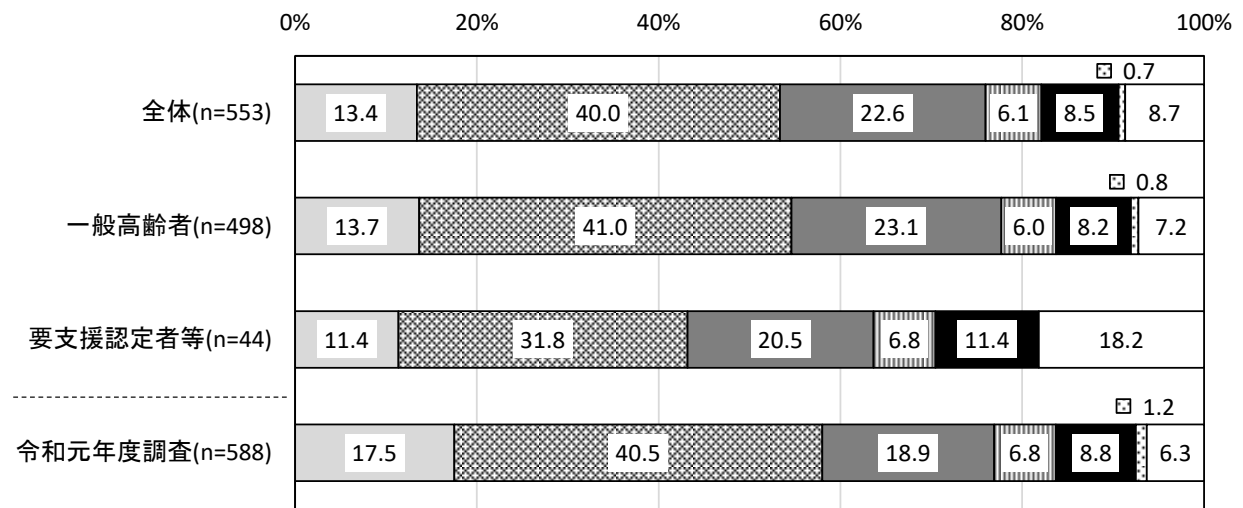
- できれば自宅で、家族、親族のみの介護をうけながら必要な医療を受けて暮らしたい
- ▨ 必要な医療や介護サービス、福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい
- 老人ホームやサービス付高齢者向け住宅などの施設に移って、医療や介護サービスを受けたい
- ▩ 病院で治療を受けたい
- わからない
- その他
- 無回答

問 72 ご親族に介護と医療が必要な場合、どこでどのように暮らしてほしいと思いますか（1つを選択）

一般高齢者では、「必要な医療や介護サービス、福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしてほしい」が41.0%と最も高く、次いで「老人ホームやサービス付高齢者向け住宅などの施設に移って、医療や介護サービスを受けながら暮らしてほしい」が23.1%、「できれば自宅で、家族、親族のみの介護をうけながら必要な医療を受けて暮らしてほしい」が13.7%となっています。要支援認定者等では、「必要な医療や介護サービス、福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしてほしい」が31.8%と最も高く、次いで「老人ホームやサービス付高齢者向け住宅などの施設に移って、医療や介護サービスを受けながら暮らしてほしい」が20.5%、「できれば自宅で、家族、親族のみの介護をうけながら必要な医療を受けて暮らしてほしい」「わからない」が11.4%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「わからない」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「老人ホームやサービス付高齢者向け住宅などの施設に移って、医療や介護サービスを受けながら暮らしてほしい」の割合が高くなっています。



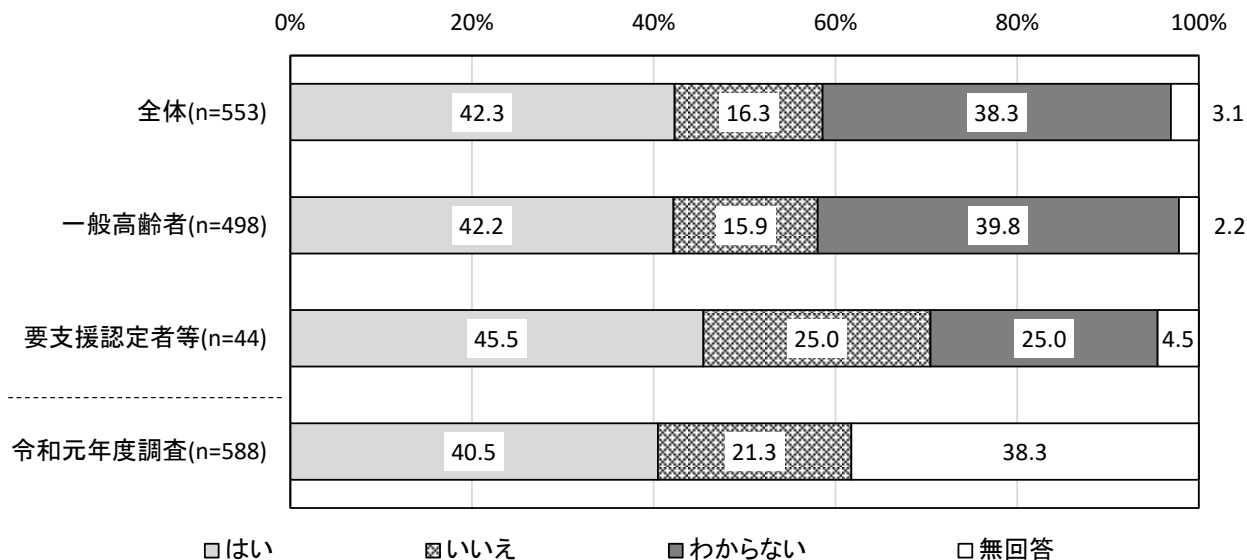
- できれば自宅で、家族、親族のみの介護をうけながら必要な医療を受けて暮らしてほしい
- ▨ 必要な医療や介護サービス、福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしてほしい
- 老人ホームやサービス付高齢者向け住宅などの施設に移って、医療や介護サービスを受けながら暮らしてほしい
- ▤ 病院で治療を受けてほしい
- わからない
- その他
- 無回答

問 73 あなたは自宅で最期を迎えたいと思いますか（1つを選択）

一般高齢者では、「はい」が42.2%と最も高く、次いで「わからない」が39.8%、「いいえ」が15.9%となっています。要支援認定者等では、「はい」が45.5%と最も高く、次いで「いいえ」「わからない」が25.0%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「はい」の割合が高くなっています。



※令和元年度調査では、「わからない」という選択肢はなし

問73で「いいえ」と回答した方にお伺いします。

問73-1 その理由は何ですか（複数選択可）

一般高齢者では、「介護してくれる家族に負担をかけたくない」が81.0%と最も高く、次いで「病状が急変したときが不安」が21.5%、「介護をしてくれる家族がいない・少ない」が19.0%となっています。要支援認定者等では、「介護してくれる家族に負担をかけたくない」が63.6%と最も高く、次いで「介護をしてくれる家族がいない・少ない」「病状が急変したときが不安」が36.4%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「介護してくれる家族に負担をかけたくない」を除くすべての項目の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「介護してくれる家族に負担をかけたくない」の割合が特に高くなっています。

(単位: %)		い居 な住 い環 境が 整っ て	く族 なに い護 い負 し担 てを けれ ける た家	な家 い族 がを いし なて いく ・れ 少る	あ家 る族 関係 に問 題が	師往 が診 いし なて いく れる 医	いサ な 問 いビ ス看 が・ 整介 っ護 ての	ろの がっ なて なく い相 れ談 とに こ	き病 が状 不安 が急 変し たと	そ の 他	無 回 答
全体	(n=90)	13.3	78.9	21.1	3.3	6.7	3.3	5.6	23.3	2.2	2.2
一般高齢者	(n=79)	11.4	81.0	19.0	2.5	5.1	1.3	2.5	21.5	2.5	2.5
要支援認定者等	(n=11)	27.3	63.6	36.4	9.1	18.2	18.2	27.3	36.4	0.0	0.0
令和元年度調査	(n=125)	16.8	75.2	26.4	3.2	20.8	7.2	8.0	41.6	4.0	0.0

問 74 介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して生活を続けるための在宅医療や在宅介護が課題となっていますがどのような整備が必要と思いますか（3つまで選択可）

一般高齢者では、「定期的に訪問診療や訪問看護が受けられる体制」が 60.0%と最も高く、次いで「在宅介護や在宅医療の相談窓口の充実」が 49.8%、「24 時間対応の在宅医療体制」が 45.0%となっています。要支援認定者等では、「定期的に訪問診療や訪問看護が受けられる体制」が 61.4%と最も高く、次いで「在宅介護や在宅医療の相談窓口の充実」が 52.3%、「容態急変時や必要時の入院体制」が 40.9%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「在宅介護や在宅医療の相談窓口の充実」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「在宅介護や在宅医療の相談窓口の充実」「定期的に訪問診療や訪問看護が受けられる体制」「24 時間対応の在宅医療体制」「医療・介護関係機関の連携強化」の割合が高くなっています。

(単位：%)		実 療在 の宅 相介 談護 窓や 口在 の宅 充医	ら や訪 れ期 る問 体看 制に が問 受診 け療	宅 2 医 4 療時 体間 制対 応の 在	時 容 の態 入急 院変 体時 制や 必要	関医 の療 連・ 携介 強護 化関 係機	相 看 談取 窓 口に つ い て の	そ の 他	無 回 答
全体	(n=553)	49.7	59.7	43.0	43.0	29.5	4.9	1.1	8.0
一般高齢者	(n=498)	49.8	60.0	45.0	43.6	30.5	5.0	1.2	6.8
要支援認定者等	(n=44)	52.3	61.4	29.5	40.9	22.7	2.3	0.0	13.6
令和元年度調査	(n=588)	41.7	56.1	39.5	44.2	24.3	7.0	1.7	11.2

11 消費者被害等について

問 75 あなたは、過去5年以内に商品購入やサービスの質、契約上のトラブルなどがありましたか
(3つまで選択可)

一般高齢者と要支援認定者等では、「消費トラブルにあったことはない」がそれぞれ 80.9%、65.9%と最も高くなっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「訪問販売でトラブルにあったことがある」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

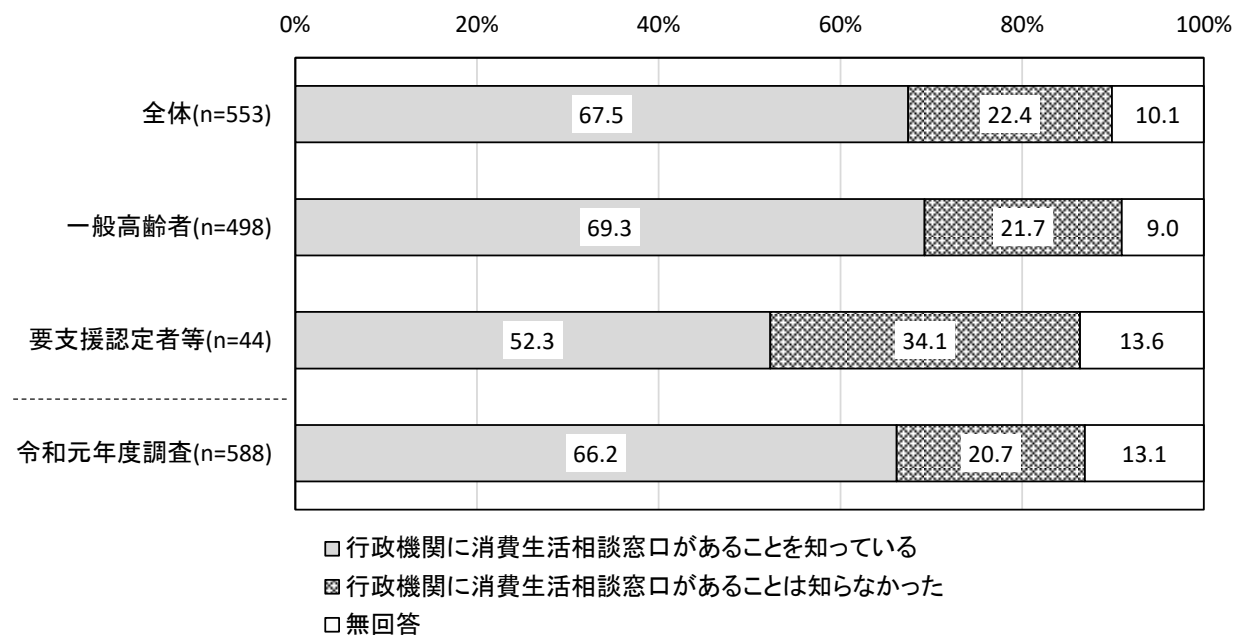
		訪問販売でトラブルにあった	通信販売（インターネット・通販）によるトラブル	購入した商品の質でトラブルに	投資関係でトラブルにあった	住宅リフォーム（改装、改築）でトラブルにあった	その他トラブル	消費トラブルにあったことはない	無回答
(単位：%)									
全体	(n=553)	1.3	1.3	2.0	0.7	2.0	1.1	79.0	13.9
一般高齢者	(n=498)	0.8	1.2	2.2	0.8	2.0	1.0	80.9	12.2
要支援認定者等	(n=44)	6.8	2.3	0.0	0.0	2.3	2.3	65.9	22.7
令和元年度調査	(n=588)	1.0	1.4	1.0	0.9	1.2	0.7	78.6	16.3

問 76 あなたは、商品購入やサービスの質、契約上のトラブルがあった場合の相談先として、消費生活相談窓口があることをご存知ですか（1つを選択）

一般高齢者では、「行政機関に消費生活相談窓口があることを知っている」が69.3%、「行政機関に消費生活相談窓口があることは知らなかった」が21.7%となっています。要支援認定者等では、「行政機関に消費生活相談窓口があることを知っている」が52.3%、「行政機関に消費生活相談窓口があることは知らなかった」が34.1%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「行政機関に消費生活相談窓口があることは知らなかった」が12.4ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。



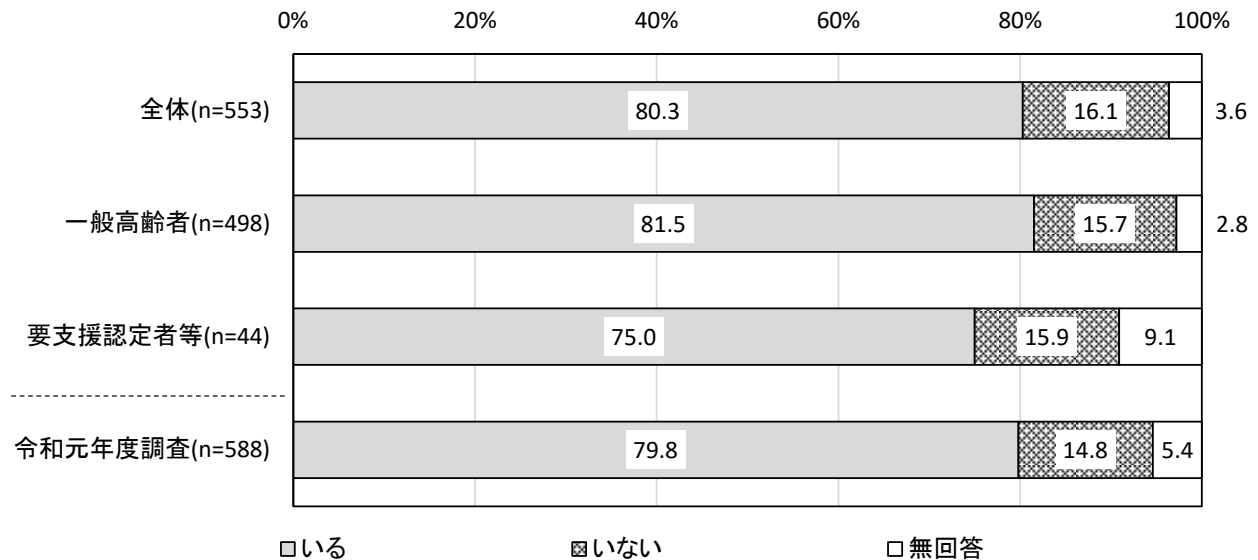
12 災害時等の支援について

問 77 あなたには、災害時や緊急時に身近で手助けをしてくれる人がいますか（1つを選択）

一般高齢者では、「いる」が81.5%、「いない」が15.7%となっています。要支援認定者等では、「いる」が75.0%、「いない」が15.9%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いる」が6.5ポイント低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。



問 77 で「いる」と答えた方にお伺いします。

問 77-1 その人はどなたですか（複数選択可）

一般高齢者では、「配偶者」が65.0%と最も高く、次いで「別居の家族・親族」が46.6%、「同居の家族・親族」が33.5%となっています。要支援認定者等でも、「配偶者」が45.5%と最も高く、次いで「別居の家族・親族」が39.4%、「同居の家族・親族」が33.3%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「民生委員」の割合が高くなっています。また、「配偶者」の割合が特に低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「配偶者」「近所の人」の割合が特に低くなっています。

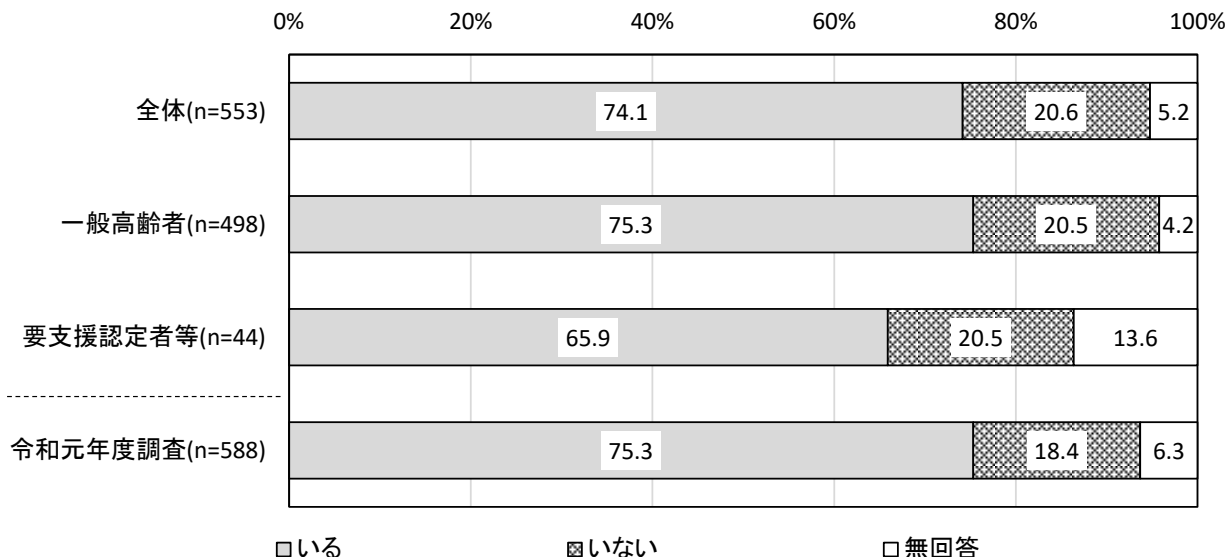
	配偶者	同居の家族・親族	別居の家族・親族	近所の人	民生委員	友人	その他	無回答
(単位: %)								
全体 (n=444)	63.5	33.8	46.4	18.5	3.8	10.6	0.2	0.0
一般高齢者 (n=406)	65.0	33.5	46.6	18.5	3.4	10.8	0.2	0.0
要支援認定者等 (n=33)	45.5	33.3	39.4	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0
令和元年度調査 (n=469)	68.7	34.8	45.4	25.6	4.3	10.9	0.9	0.0

問 78 あなたには、災害時や緊急時に身近で手助けをする人がいますか（1つを選択）

一般高齢者では、「いる」が75.3%、「いない」が20.5%となっています。要支援認定者等では、「いる」が65.9%、「いない」が20.5%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いる」が9.4ポイント低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「いない」の割合が高くなっています。



問 78 で「いる」と答えた方にお伺いします。

問 78-1 その人はどなたですか（複数選択可）

一般高齢者では、「配偶者」が65.9%と最も高く、次いで「別居の家族・親族」が42.4%、「同居の家族・親族」が28.0%となっています。要支援認定者等でも、「配偶者」が44.8%と最も高く、次いで「別居の家族・親族」が41.4%、「同居の家族・親族」が24.1%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「配偶者」「近所の人」「友人」の割合が特に低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではすべての項目の割合が低くなっています。

	配偶者	同居の家族・親族	別居の家族・親族	近所の人	友人	その他	無回答
(単位: %)							
全体 (n=410)	64.1	28.5	42.2	23.9	9.0	1.5	0.2
一般高齢者 (n=375)	65.9	28.0	42.4	25.3	9.6	1.1	0.3
要支援認定者等 (n=29)	44.8	24.1	41.4	10.3	3.4	6.9	0.0
令和元年度調査 (n=443)	69.8	33.2	45.4	28.4	12.2	1.4	0.2

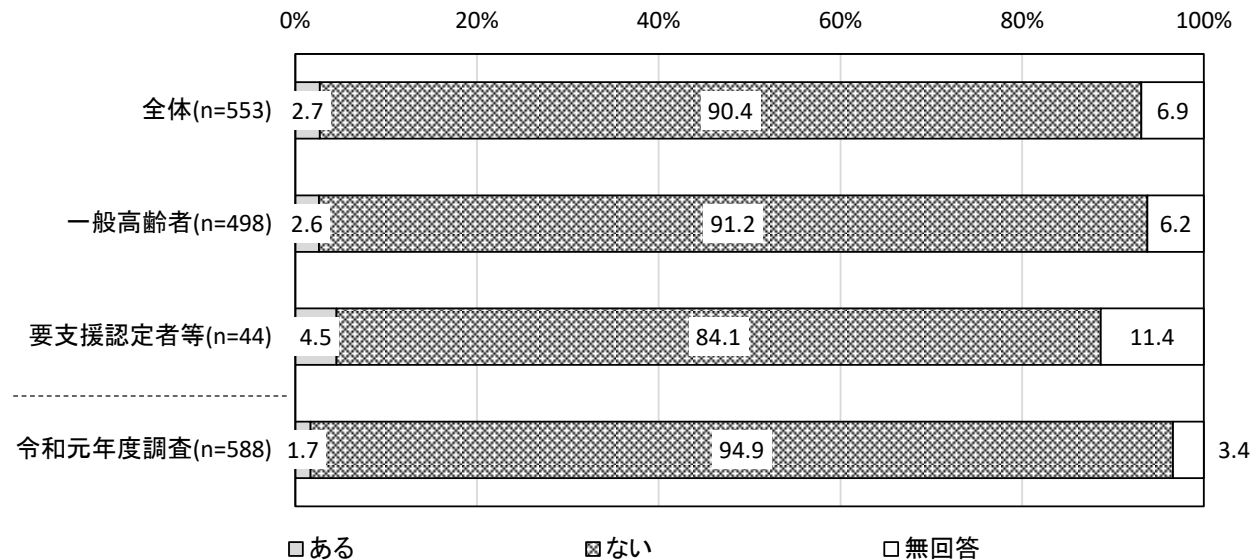
13 虐待について

問 79 あなたご自身が虐待を受けたことがありますか（1つを選択）

一般高齢者では、「ある」が2.6%、「ない」が91.2%となっています。要支援認定者等では、「ある」が4.5%、「ない」が84.1%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「ある」が1.9ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。

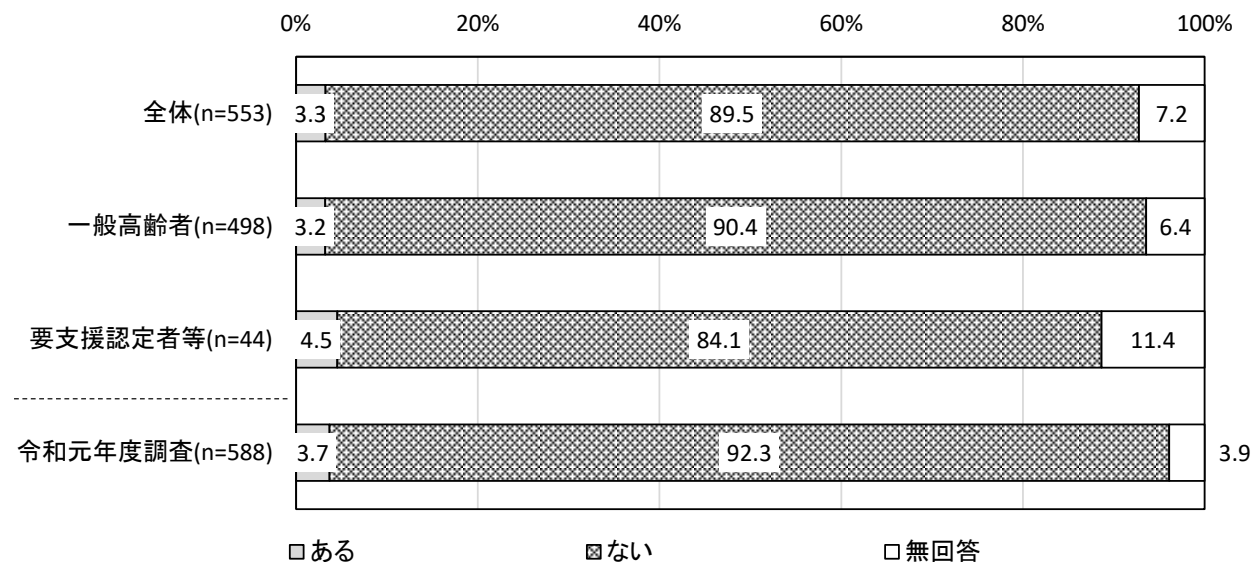


問 80 ご近所など、あなたの身の回りで、高齢者が虐待を受けたということを見たり聞いたりしたことがありますか（1つを選択）

一般高齢者では、「ある」が3.2%、「ない」が90.4%となっています。要支援認定者等では、「ある」が4.5%、「ない」が84.1%となっています。

要支援認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「ある」が1.3ポイント高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。



**問 81 虐待防止対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと考えますか
(5つまで選択可)**

一般高齢者では、「早期発見・早期対応の仕組みづくり」が65.5%と最も高く、次いで「相談窓口の整備（町役場・地域包括支援センターなど）」が43.4%、「介護家族への支援（家族の交流会や家族相談会など）」が39.6%となっています。要支援認定者等では、「早期発見・早期対応の仕組みづくり」が68.2%と最も高く、次いで「地域見守り体制の充実（ネットワーク形成・声かけ運動など）」が36.4%、「相談窓口の整備（町役場・地域包括支援センターなど）」が34.1%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「虐待に関する住民啓発（講演会・広報・地域行事など）」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「介護家族への支援（家族の交流会や家族相談会など）」「家族向け研修会の開催（介護・コミュニケーション方法など）」の割合が特に高くなっています。

		組 早 み づ 発 見 り ・ 早 期 対 応 の 仕 組 み	事 （ 虐 待 に 関 する 住 民 啓 発 行 事 ）	ど の 交 流 会 や 家 族 支 援 会 な ど	シ ョ ン 方 法 な ど ）	家 族 向 け 研 修 会 の 開 催	か け 運 動 な ど ）	地 域 見 守 り 体 制 の 充 実 ・ 声 か け 運 動 な ど	テ ィ サ ポ ー ト を 防 止 す る 相 談 ボ ラ ン ト	の 高 齢 者 虐 待 防 止 の ボ ラ ン ト	の 成 年 後 見 制 度 な ど の 制 度	ど 介 護 に 従 事 す る （ ヘル パー な ど ）	場 所 ・ 地 域 包 括 支 援 （ 町 役 場 ）	相 談 窓 口 の 整 備 （ 町 役 場 ）	そ の 他	無 回 答	
(単位：%)																	
全体	(n=553)	65.3	21.0	38.5	17.0	36.9	16.5	6.7	21.2	42.7	1.8	16.5					
一般高齢者	(n=498)	65.5	20.5	39.6	17.1	37.1	16.5	6.6	21.9	43.4	2.0	15.3					
要支援認定者等	(n=44)	68.2	29.5	31.8	18.2	36.4	18.2	9.1	15.9	34.1	0.0	25.0					
令和元年度調査	(n=588)	66.0	21.8	34.2	13.8	40.3	18.4	7.1	20.4	45.6	2.9	13.1					

■年齢階級別

年齢階級別で見ると、すべての年齢階級で「早期発見・早期対応の仕組みづくり」が最も高くなっています。また、65～69歳では「介護家族への支援（家族の交流会や家族相談会など）」が48.4%、「地域見守り体制の充実（ネットワーク形成・声かけ運動など）」が52.6%、80～84歳では「相談窓口の整備（町役場・地域包括支援センターなど）」が54.4%と他の年齢階級と比べて高くなっています。

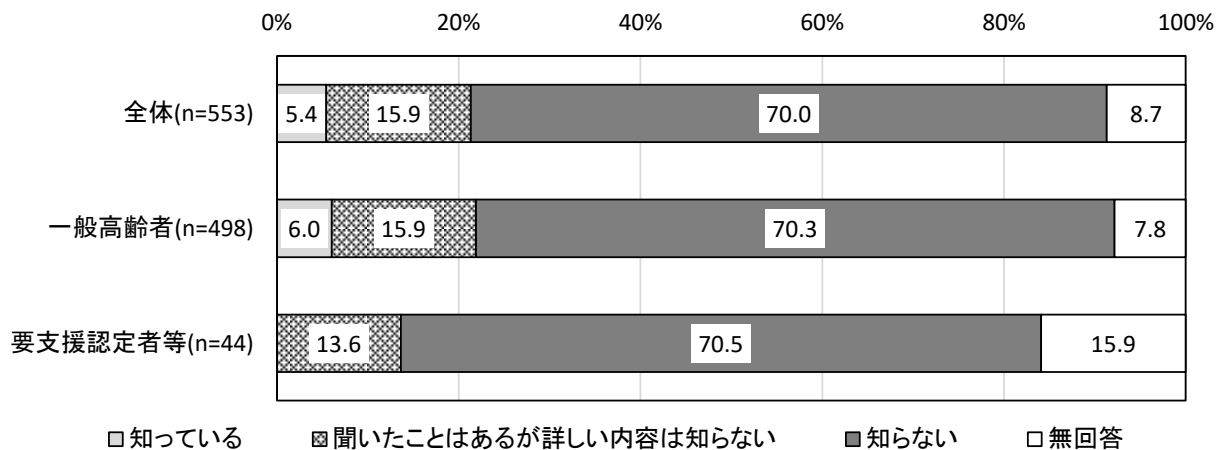
		組 み 早 期 発 見 ・ 早 期 対 応 の 仕 組 み	事 （ 虐 待 に 関 す る 住 民 啓 発 行 事 ）	ど の 交 流 会 や 家 族 相 談 会 な ど	介 護 家 族 へ の 支 援 （ 家 族 シ ョ ン 方 法 な ど ）	家 族 向 け 研 修 会 の 開 催 （ シ ョ ン 方 法 な ど ）	か け 運 動 な ど ）	地 域 見 守 り 体 制 の 充 実 ・ 声 か け 運 動 な ど ）	テ ィ ア の 養 成 （ サ ポ ー ト を 防 止 す る 相 談 ラ ン ド ）	高 齢 者 虐 待 を 防 止 す る 相 談 ラ ン ド ）	の 成 年 後 見 制 度 な ど の 制 度 の 充 実	ど の 介 護 従 事 者 へ の 研 修 （ パ ー ナ ー ）	場 所 ・ 地 域 包 括 支 援 （ 町 役 場 ）	相 談 窓 口 の 整 備 （ 町 役 場 ）	そ の 他	無 回 答	
(単位：%)																	
全体	(n=553)	65.3	21.0	38.5	17.0	36.9	16.5	6.7	21.2	42.7	1.8	16.5					
65～69歳	(n=95)	69.5	26.3	48.4	20.0	52.6	22.1	7.4	24.2	38.9	3.2	8.4					
70～74歳	(n=135)	67.4	20.7	43.7	14.8	36.3	17.0	8.1	26.7	43.0	0.7	9.6					
75～79歳	(n=136)	68.4	22.1	38.2	16.9	39.0	10.3	5.9	19.9	43.4	1.5	15.4					
80～84歳	(n=90)	63.3	17.8	38.9	22.2	28.9	21.1	5.6	17.8	54.4	3.3	17.8					
85～89歳	(n=65)	55.4	18.5	20.0	7.7	24.6	12.3	6.2	13.8	36.9	0.0	35.4					
90歳以上	(n=27)	55.6	11.1	25.9	22.2	33.3	18.5	7.4	14.8	29.6	3.7	33.3					

14 高齢者福祉政策全般について

問 82 「ことわらない相談窓口」を知っていますか。(1つを選択)

一般高齢者では、「知らない」が 70.3%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」が 15.9%となっています。要支援認定者等では、「知らない」が 70.5%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」が 13.6%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者では、「知っている」が 6.0%なのに対し、要支援認定者等では 0.0%となっています。



問 83 町が取り組むべき高齢者の施策として、今後、特に充実させてほしいことは何ですか
(複数選択可)

一般高齢者では、「在宅の高齢者を支える福祉サービスの充実」が51.8%と最も高く、次いで「高齢者を介護している家族等への支援」が43.4%、「声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援」が39.6%となっています。要支援認定者等では、「在宅の高齢者を支える福祉サービスの充実」が54.5%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設の整備」「高齢者を介護している家族等への支援」が45.5%となっています。

要支援認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「特別養護老人ホームや老人保健施設の整備」「介護予防対策の充実」「認知症高齢者への支援」の割合が特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「在宅の高齢者を支える福祉サービスの充実」「認知症高齢者への支援」「高齢者を介護している家族等への支援」の割合が特に高くなっています。

		支地生 援域き 活が 動い 参 加 く へ の ・	就 労 支 援	のえ在 充る宅 実福の サ ー ジ ー ス 支	のム特 整や別 備老養 人 保 健 人 施 ホ 設 ー	診医 療療 所施 設 の 整 備 院 、	く健 り康 へ の 管 理 ・ 支 援 健 康 づ	者ど声 へ一か の 支 暮 ら し 見 守 り 高 齢 な	実介 護 予 防 対 策 の 充	支認 援知 症 高 齢 者 へ の	策高 齢 者 虐 待 防 止 対
(単位: %)											
全体	(n=553)	21.7	11.6	51.4	36.5	36.2	18.4	39.4	10.8	27.1	5.8
一般高齢者	(n=498)	22.3	12.7	51.8	35.5	36.5	18.5	39.6	10.6	26.3	6.0
要支援認定者等	(n=44)	18.2	2.3	54.5	45.5	31.8	20.5	36.4	13.6	31.8	4.5
令和元年度調査	(n=588)	20.7	11.6	45.9	34.4	35.2	17.9	39.6	12.1	21.8	6.0
		援い高 る 家 族 を 等 介 護 の し 支 て	援ア地 活域 動の ・ボ ラ 組 織 の テ 支 イ	窓産高 口な の 充 を の 守 人 権 相 ・ 談 財	や外 施出 設し の や 整 備 道 路	整高 備 者 向 け 住 宅 の	災 害 対 策	法防 対犯 策 対 策 ・ 悪 質 商	そ の 他	特 に な い	無 回 答
(単位: %)											
全体	(n=553)	43.2	10.1	9.2	24.4	13.6	17.2	13.7	1.1	1.3	11.0
一般高齢者	(n=498)	43.4	9.6	8.6	24.5	13.7	17.3	14.3	1.0	1.4	9.8
要支援認定者等	(n=44)	45.5	11.4	11.4	27.3	11.4	18.2	9.1	2.3	0.0	18.2
令和元年度調査	(n=588)	39.3	9.4	9.7	28.4	14.6	19.6	17.5	2.0	3.9	8.5

■年齢階級別

年齢階級別でみると、すべての年齢階級で「在宅の高齢者を支える福祉サービスの充実」が最も高くなっています。また、65～69歳では「就労支援」が31.6%、「災害対策」が26.3%、70～74歳では「認知症高齢者への支援」が34.8%と他の年齢階級と比べて高くなっています。

(単位: %)		支援	地域生活活動参加への	就労支援	在宅の高齢者への福祉サービスの充実	高齢者の健康維持・介護施設整備	特別養老ホーム・老人保健施設	診療所・病院の整備	健康・医療管理への支援	高齢者への支援	声かけや見守りなど	介護予防対策の充実	認知症高齢者への支援	高齢者虐待防止対策
全体	(n=553)	21.7	11.6	11.6	51.4	36.5	36.2	18.4	39.4	10.8	27.1	27.1	5.8	
65～69歳	(n=95)	29.5	31.6	31.6	49.5	32.6	41.1	22.1	38.9	5.3	18.9	18.9	6.3	
70～74歳	(n=135)	25.9	8.1	8.1	63.0	37.0	35.6	21.5	43.0	12.6	34.8	34.8	8.9	
75～79歳	(n=136)	22.1	11.8	11.8	53.7	39.7	40.4	16.9	37.5	14.7	27.2	27.2	5.1	
80～84歳	(n=90)	17.8	5.6	5.6	48.9	37.8	37.8	12.2	44.4	7.8	28.9	28.9	4.4	
85～89歳	(n=65)	9.2	1.5	1.5	38.5	35.4	26.2	18.5	36.9	13.8	21.5	21.5	4.6	
90歳以上	(n=27)	14.8	3.7	3.7	37.0	29.6	22.2	14.8	25.9	7.4	22.2	22.2	0.0	
(単位: %)		高齢者家族等への支援	地域活動の促進	高齢者の権利・利益の擁護	高齢者の安全確保	外出のしやすさの確保	高齢者向け住宅の整備	災害対策	法犯対策・悪質商	その他	特にな	無回答		
全体	(n=553)	43.2	10.1	9.2	24.4	13.6	17.2	13.7	1.1	1.3	11.0			
65～69歳	(n=95)	49.5	14.7	4.2	29.5	13.7	26.3	17.9	0.0	1.1	2.1			
70～74歳	(n=135)	51.9	13.3	11.1	19.3	14.1	17.8	13.3	0.7	0.7	6.7			
75～79歳	(n=136)	46.3	9.6	11.0	31.6	15.4	17.6	12.5	1.5	0.7	11.8			
80～84歳	(n=90)	40.0	8.9	8.9	17.8	10.0	10.0	12.2	2.2	0.0	14.4			
85～89歳	(n=65)	23.1	3.1	10.8	24.6	13.8	18.5	15.4	1.5	3.1	23.1			
90歳以上	(n=27)	22.2	0.0	7.4	18.5	14.8	3.7	11.1	0.0	3.7	18.5			

Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

1 要介護状態になるリスクの発生状況

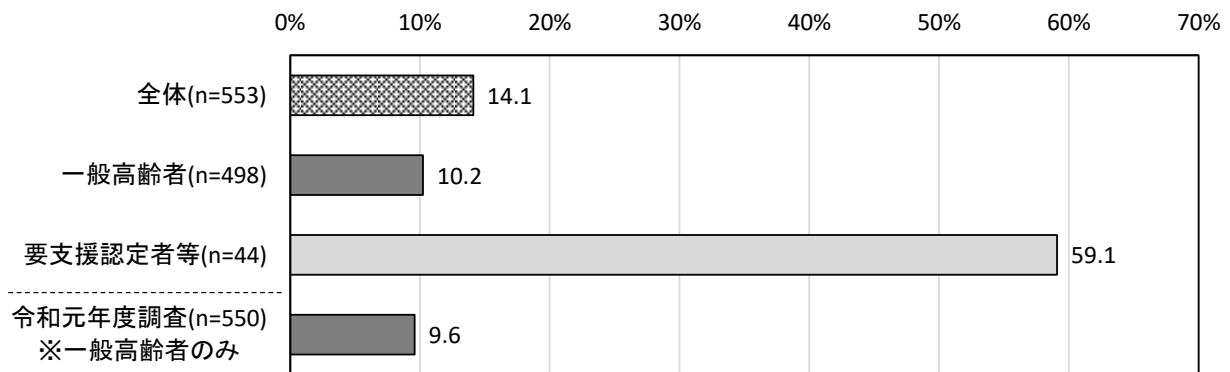
(1) 運動機能の低下

調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

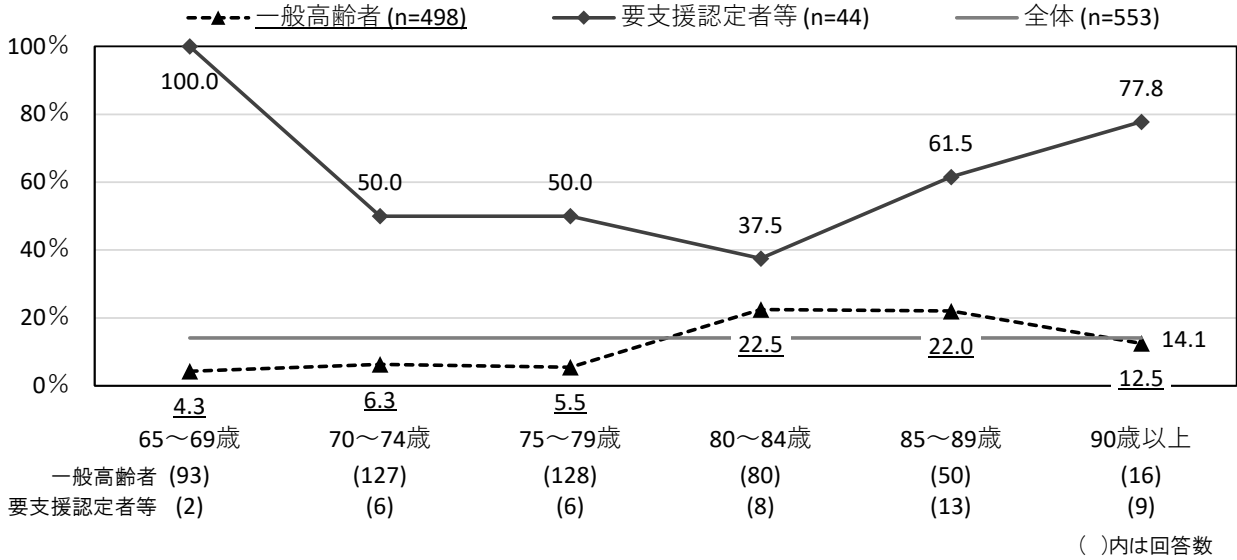
問番号	設問	該当する選択肢
問8	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問10	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問11	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問12	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

運動機能の評価結果をみると、全体で14.1%、一般高齢者で10.2%、要支援認定者で59.1%が該当者となっています。令和元年度調査と比べると一般高齢者では0.6ポイント高くなっています。



■年齢階級別

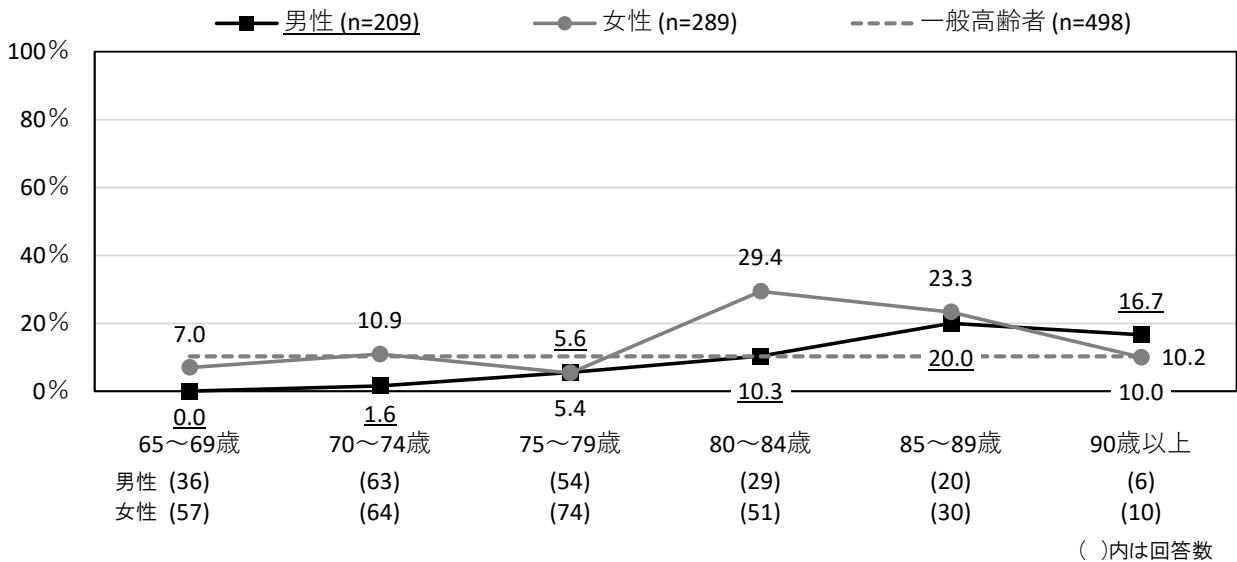
年齢階級別でみると、一般高齢者では、80歳台で割合が高くなっており、2割を超えています。要支援認定者等では、85歳以上で割合が増加し、90歳以上では77.8%となっています。



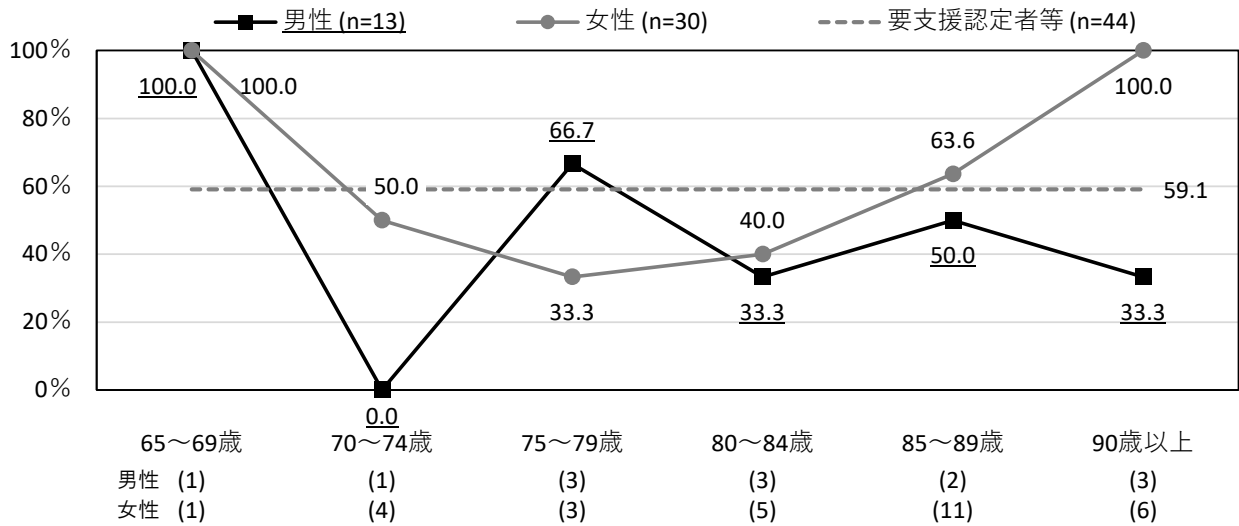
■性別・年齢階級別

性別・年齢階級別でみると、一般高齢者では、男性は80～84歳から全体の割合を上回っています。女性では、70～74歳と80歳台で全体の割合を上回っており、80～84歳で29.4%と最も高くなっています。要支援認定者等では、男性は65～69歳、75～79歳で全体の割合を上回っており、女性では、65～69歳、85～89歳以上で全体の割合を上回っています。

【一般高齢者】



【要支援認定者等】



()内は回答数

※サンプル数が少ないため、参考値として掲載

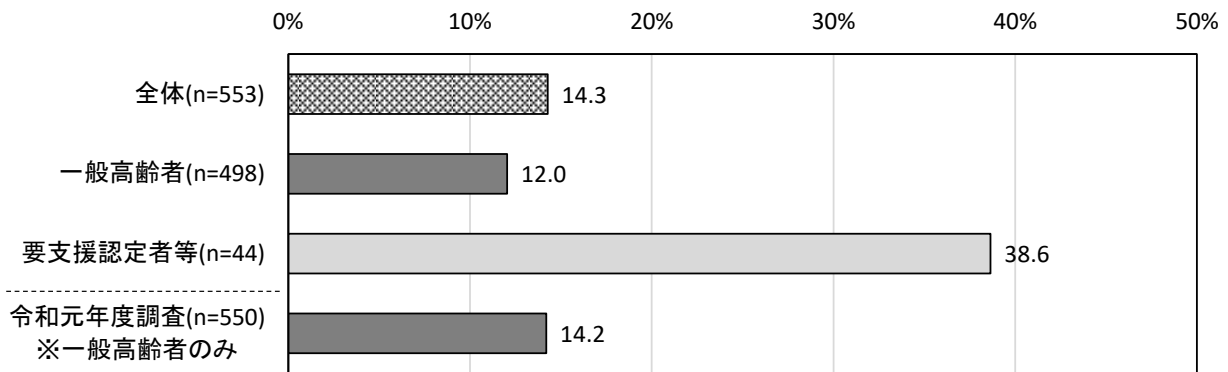
(2) 閉じこもり

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

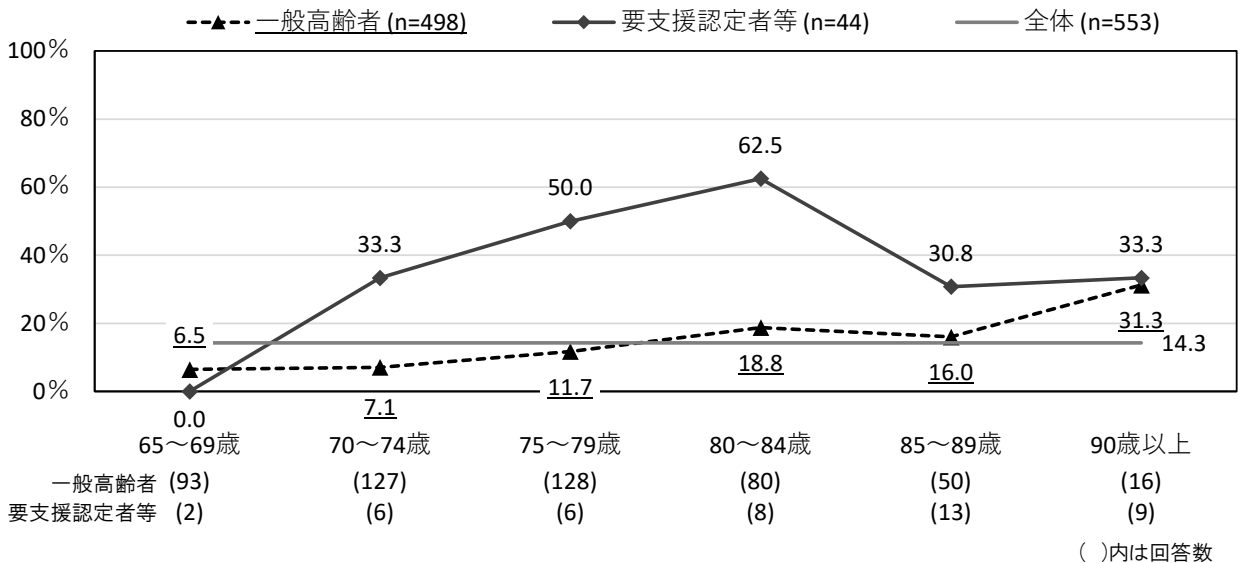
問番号	設問	該当する選択肢
問 13	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

閉じこもりの評価結果をみると、全体で14.3%、一般高齢者で12.0%、要支援認定者で38.6%が該当者となっています。令和元年度調査と比べると一般高齢者では2.2ポイント低くなっています。



■年齢階級別

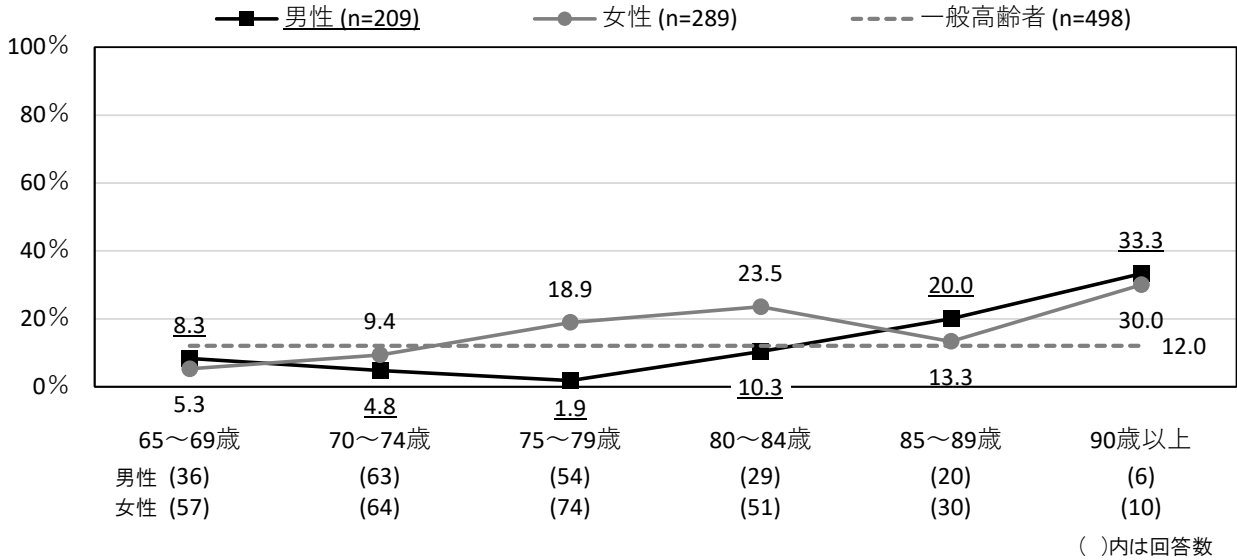
年齢階級別でみると、一般高齢者では、年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向にあり、90歳以上で31.3%となっています。要支援認定者等では、80～84歳までは年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向にあり、80～84歳で62.5%となっています。



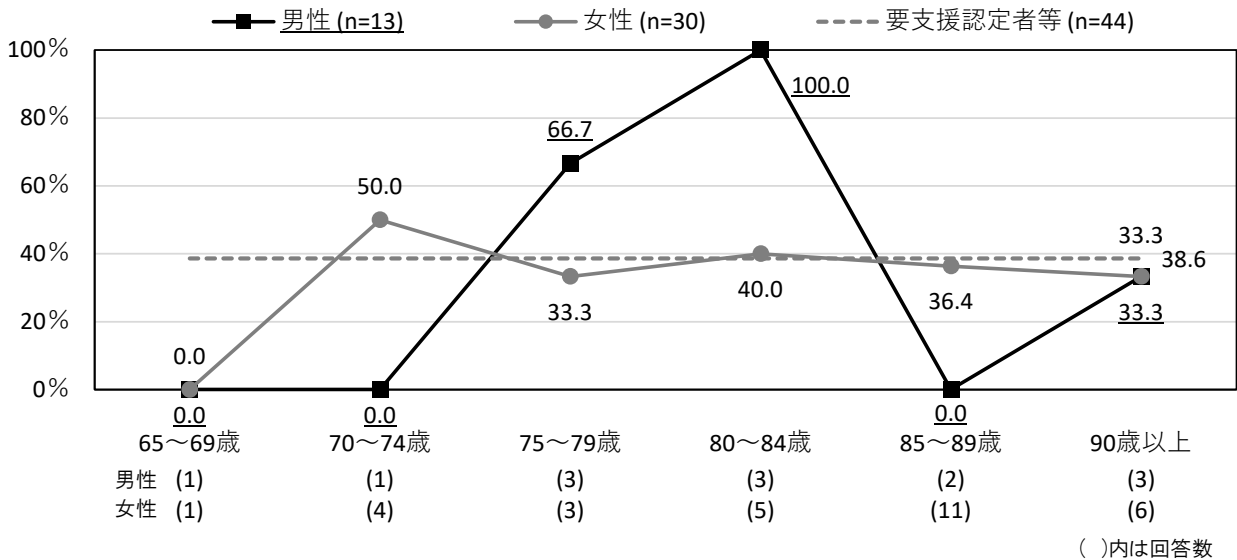
■性別・年齢階級別

性別・年齢階級別で見ると、一般高齢者では、男性は85～89歳から、女性は75～79歳から全体の割合を上回っています。男女ともに、90歳以上で割合が最も高くなっており、それぞれ33.3%、30.0%となっています。要支援認定者等では、男性は75～79歳、80～84歳で全体の割合を上回っており、女性では、70～74歳、80～84歳で全体の割合を上回っています。

【一般高齢者】



【要支援認定者等】



※サンプル数が少ないため、参考値として掲載

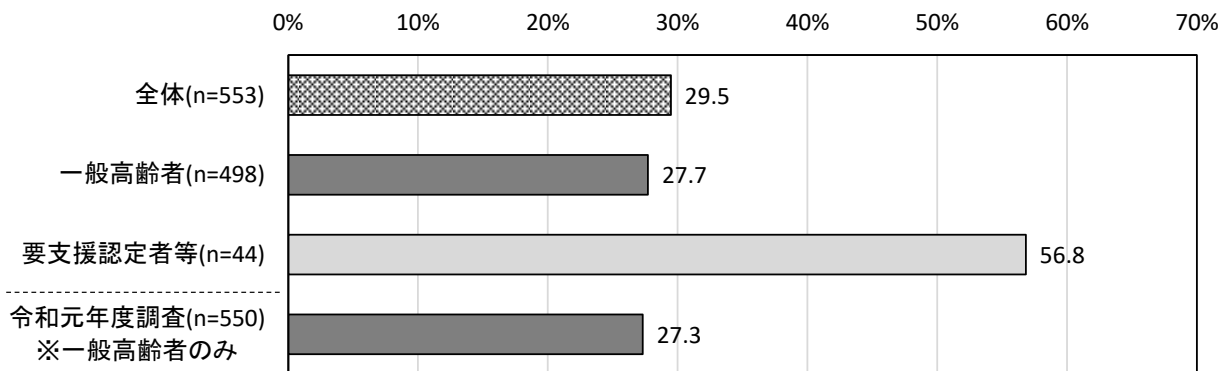
(3) 転倒

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

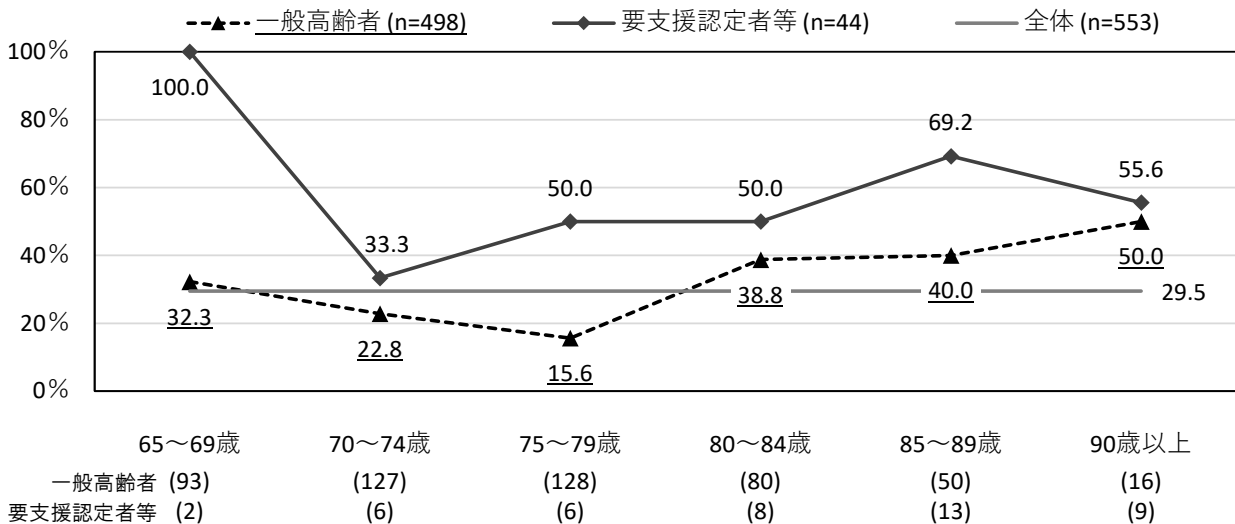
問番号	設問	該当する選択肢
問 11	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

転倒の評価結果をみると、全体で 29.5%、一般高齢者で 27.7%、要支援認定者で 56.8%が該当者となっています。令和元年度調査と比べると一般高齢者では 0.4 ポイント高くなっています。



■年齢階級別

年齢階級別でみると、一般高齢者では 80～84 歳以上、要支援認定者等では 75～79 歳以上は年齢が高くなるにつれて、割合が増加する傾向にあります。一般高齢者では 90 歳以上で 50.0%、要支援認定者等では 85～89 歳で 69.2%と最も高くなっています。



一般高齢者 (93)
要支援認定者等 (2)

(127)
(6)

(128)
(6)

(80)
(8)

(50)
(13)

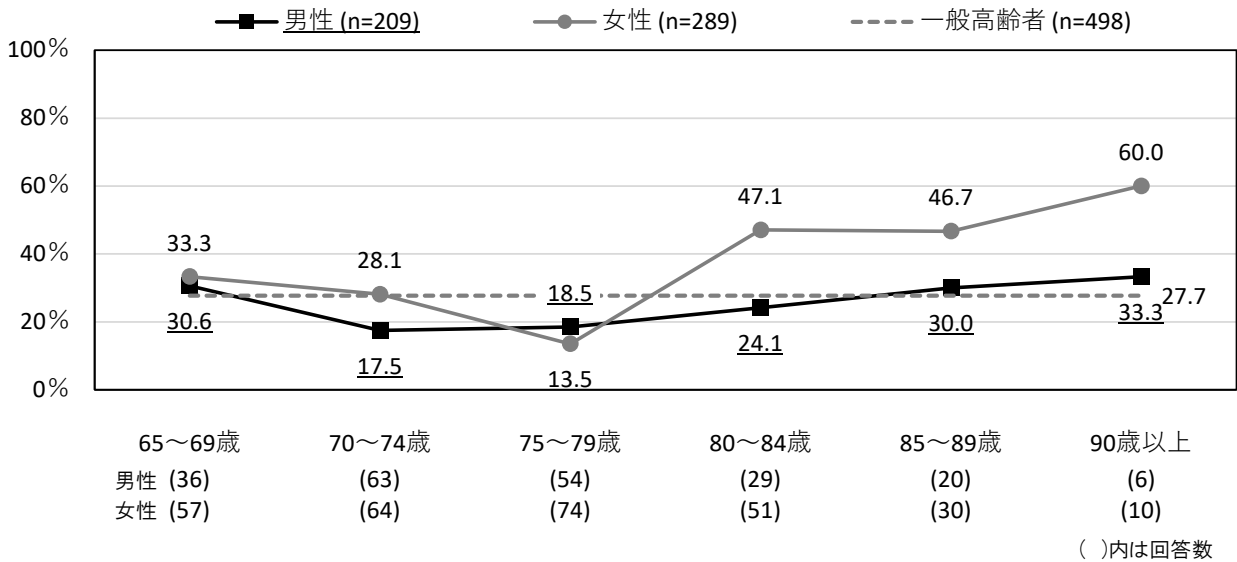
(16)
(9)

()内は回答数

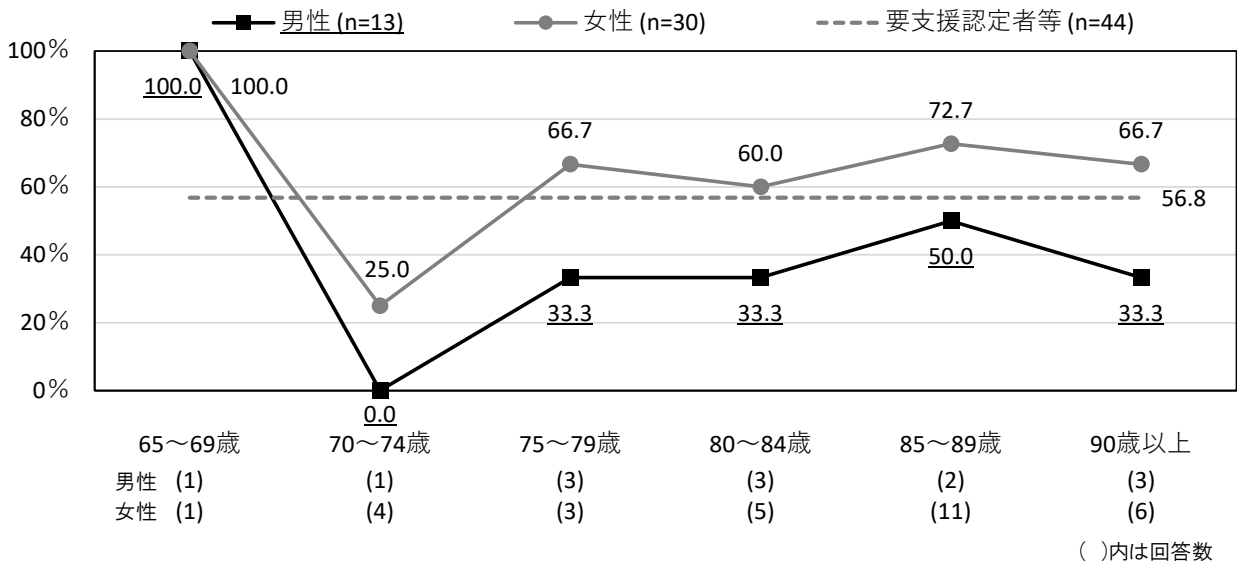
■性別・年齢階級別

性別・年齢階級別でみると、一般高齢者では、男性は75～79歳以上で年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向にあり、90歳以上で33.3%となっています。女性は75～79歳を除くすべての年齢階級で全体の割合を上回っており、90歳以上で60.0%と最も高くなっています。要支援認定者等では、男性は65～69歳を除くすべての年齢階級で全体の割合下回っており、女性では、70～74歳を除くすべての年齢階級で全体の割合を上回っています。

【一般高齢者】



【要支援認定者等】



※サンプル数が少ないため、参考値として掲載

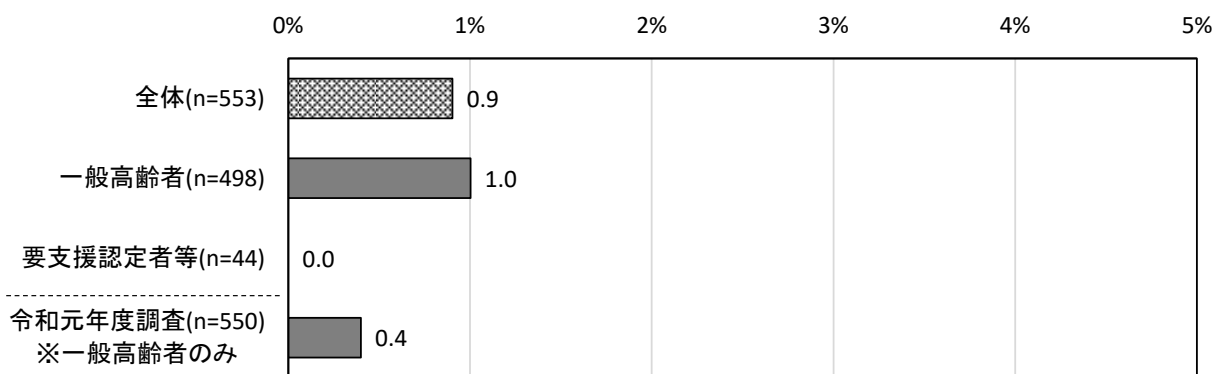
(4) 栄養

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

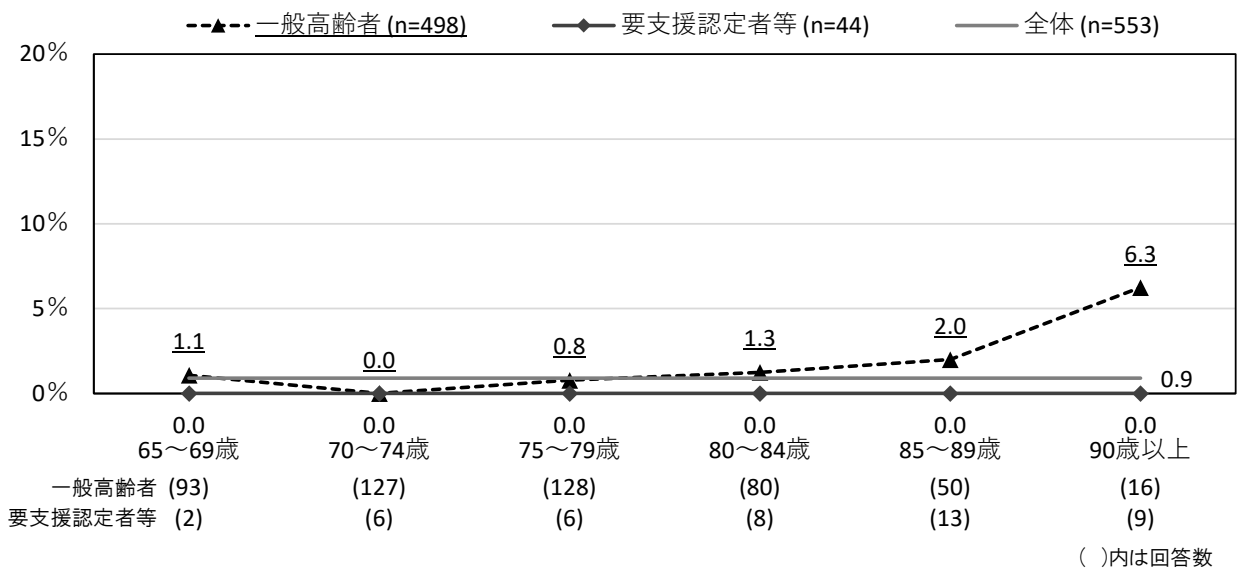
問番号	設問	該当する選択肢
問 17	身長・体重をご記入ください	BMI 18.5 未満
問 23	6 か月間で 2 ～ 3 k g 以上の体重減少がありましたか	1. はい

栄養の評価結果をみると、全体で 0.9%、一般高齢者で 1.0%、要支援認定者で 0.0%が該当者となっています。令和元年度調査と比べると一般高齢者では 0.6 ポイント高くなっています。



■年齢階級別

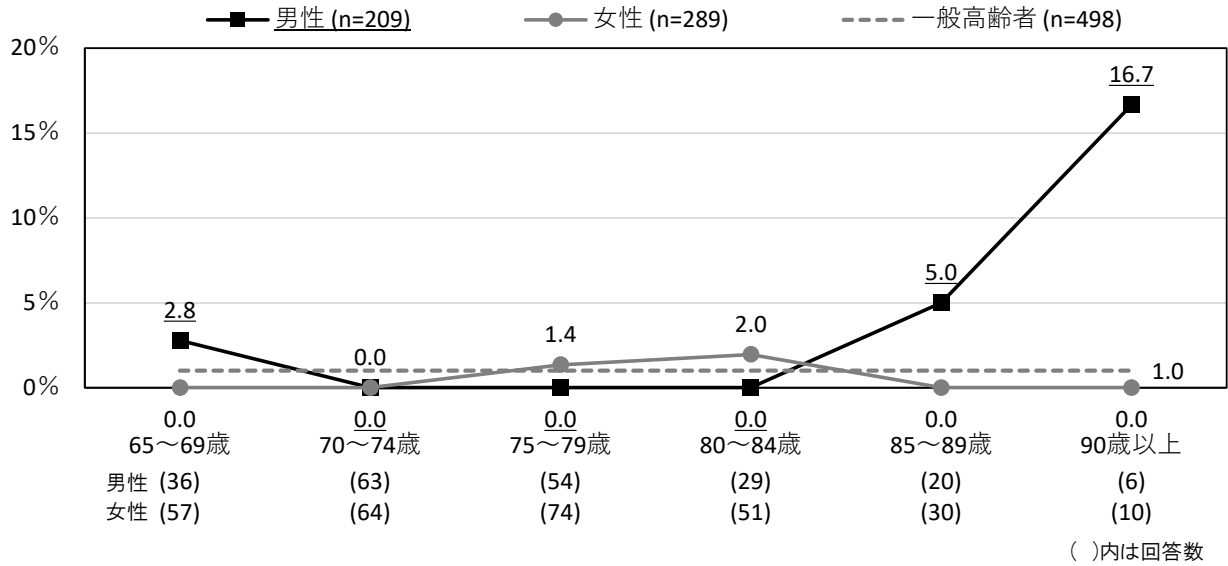
年齢階級別でみると、一般高齢者では、すべての年齢階級で 1 割未満と低くなっており、割合が最も高い 90 歳以上でも 6.3%となっています。なお、要支援認定者等では、すべての年齢階級で該当者はいませんでした。



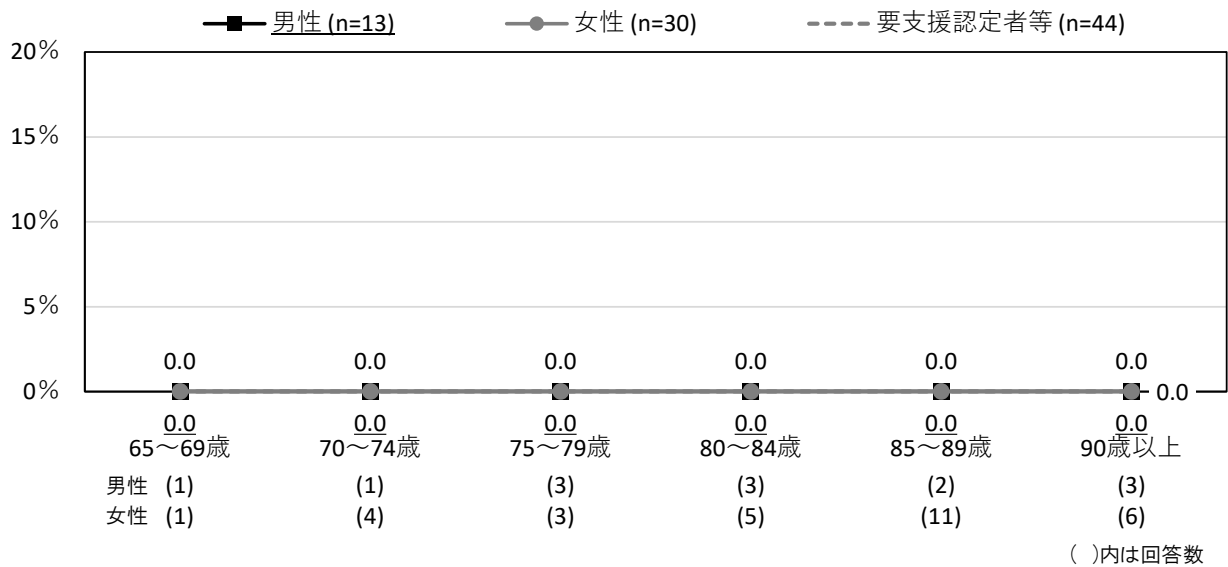
■性別・年齢階級別

性別・年齢階級別で見ると、一般高齢者では、男性は90歳以上で割合が大きく増加し、16.7%となっています。女性は割合が最も高い80～84歳でも2.0%となっています。要支援認定者等では、すべての年齢階級で該当者はいませんでした。

【一般高齢者】



【要支援認定者等】



※サンプル数が少ないため、参考値として掲載

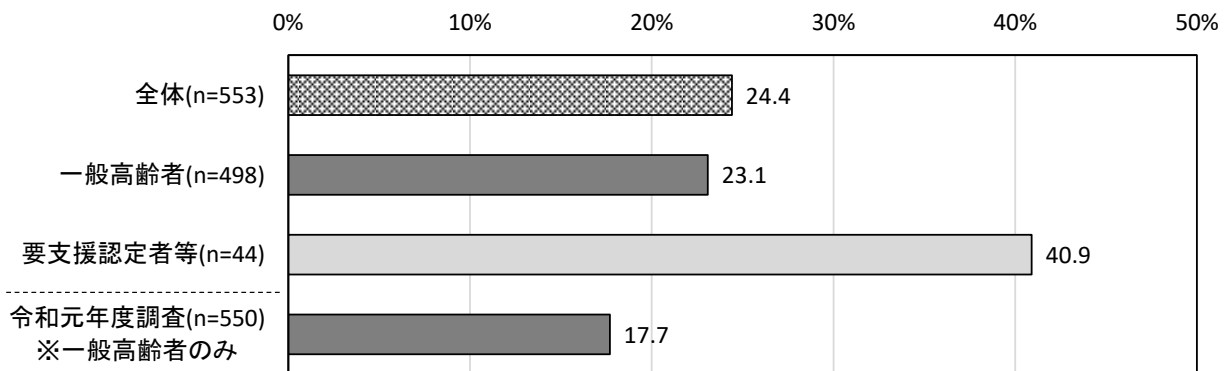
(5) 口腔機能

調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔機能のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

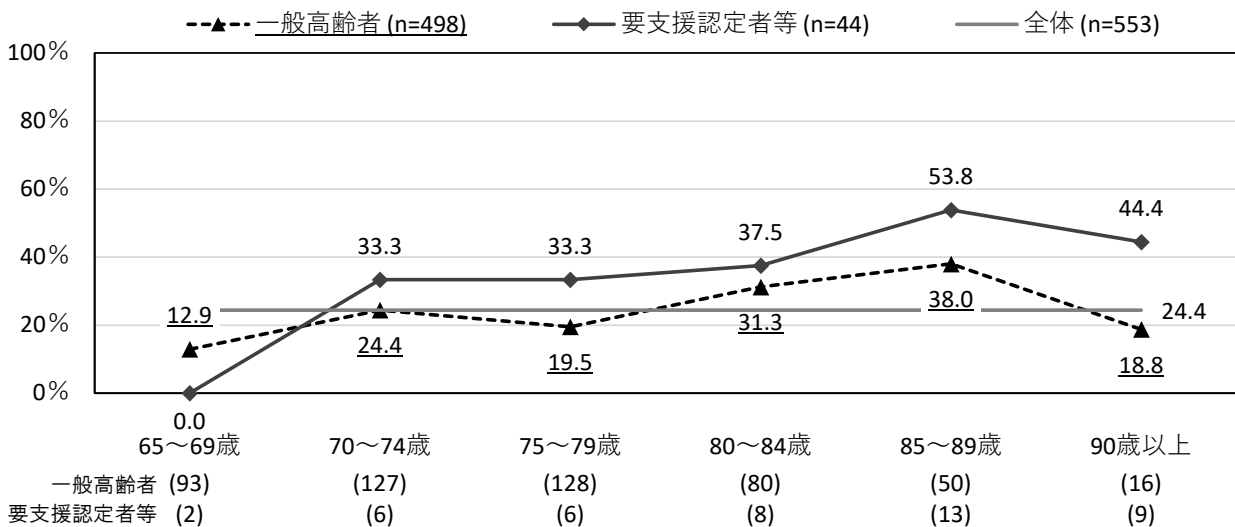
問番号	設問	該当する選択肢
問 18	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問 19	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問 20	口の渇きが気になりますか	1. はい

口腔機能の評価結果をみると、全体で 24.4%、一般高齢者で 23.1%、要支援認定者で 40.9% が該当者となっています。令和元年度調査と比べると一般高齢者では 5.4 ポイント高くなっています。



■年齢階級別

年齢階級別でみると、一般高齢者、要支援認定者等ともに、90歳以上では割合が減少するものの、85～89歳までは年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向にあり、85～89歳でそれぞれ 38.0%、53.8%となっています。



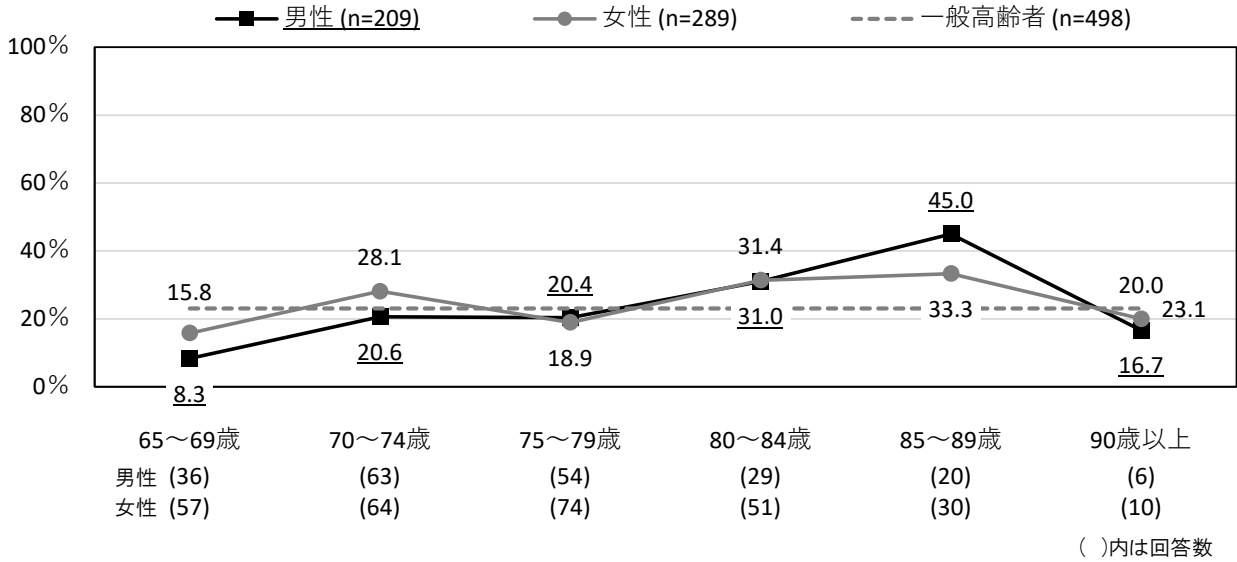
一般高齢者 (93) (127) (128) (80) (50) (16)
 要支援認定者等 (2) (6) (6) (8) (13) (9)

()内は回答数

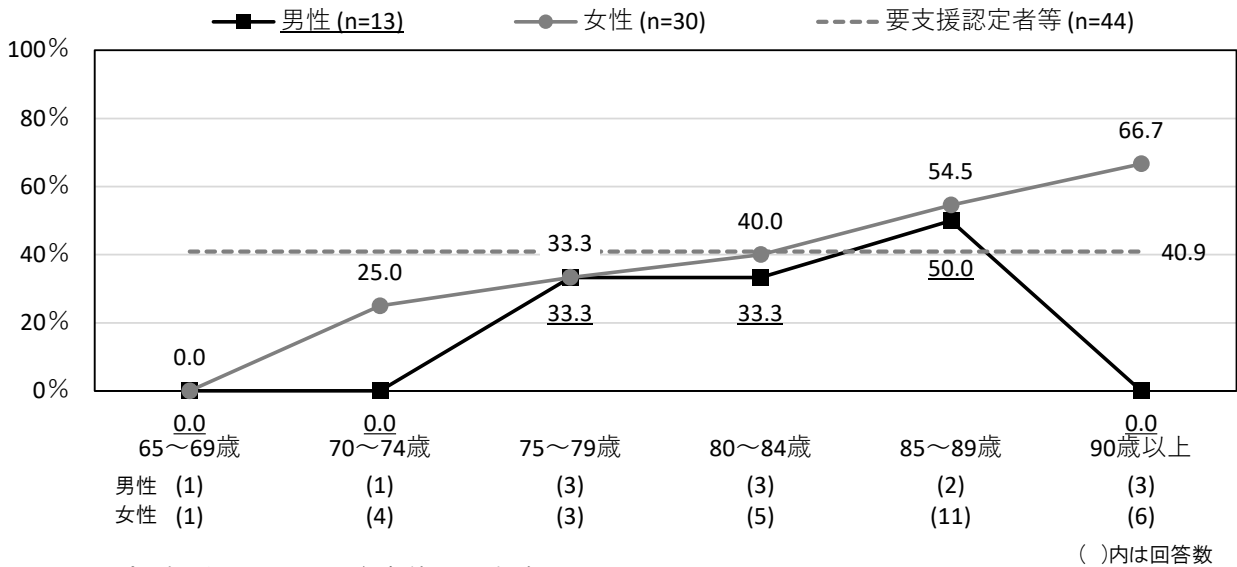
■性別・年齢階級別

性別・年齢階級別で見ると、一般高齢者では、男女ともに、90歳以上では割合が減少するものの、85～89歳までは年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向にあり、85～89歳でそれぞれ45.0%、33.3%となっています。要支援認定者等では、男性は85～89歳で全体の割合を上回っており、女性では、85～89歳以上で全体の割合を上回っています。

【一般高齢者】



【要支援認定者等】



※サンプル数が少ないため、参考値として掲載

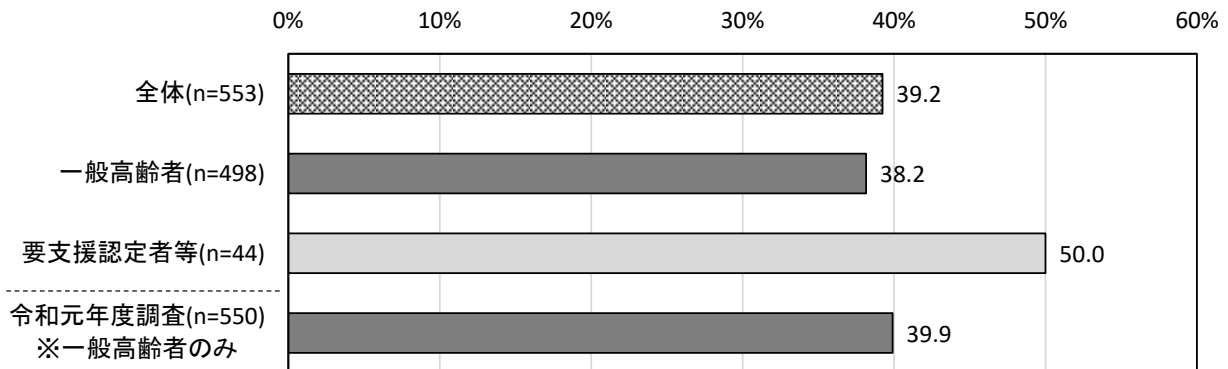
(6) 認知機能

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を認知機能のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

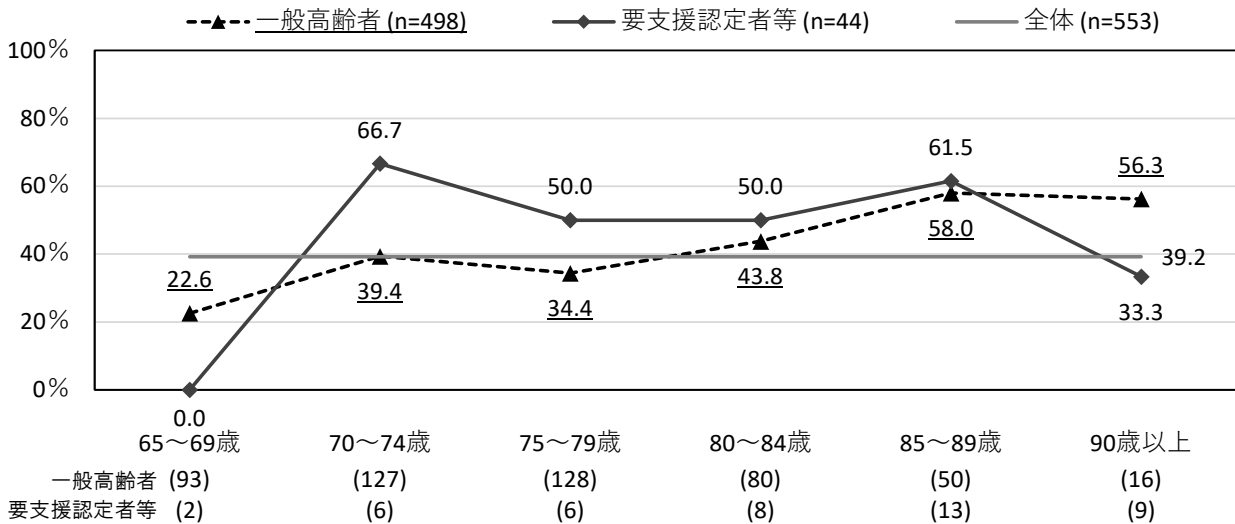
問番号	設問	該当する選択肢
問 25	物忘れが多いと感じますか	1. はい

認知機能の評価結果をみると、全体で 39.2%、一般高齢者で 38.2%、要支援認定者で 50.0% が該当者となっています。令和元年度調査と比べると一般高齢者では 1.7 ポイント低くなっています。



■年齢階級別

年齢階級別でみると、一般高齢者では、年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向にあり、85～89歳で 58.0% と最も高くなっています。要支援認定者等では、70歳台、80歳台で割合が高くなっており、70～74歳、85～89歳では6割を超えています。

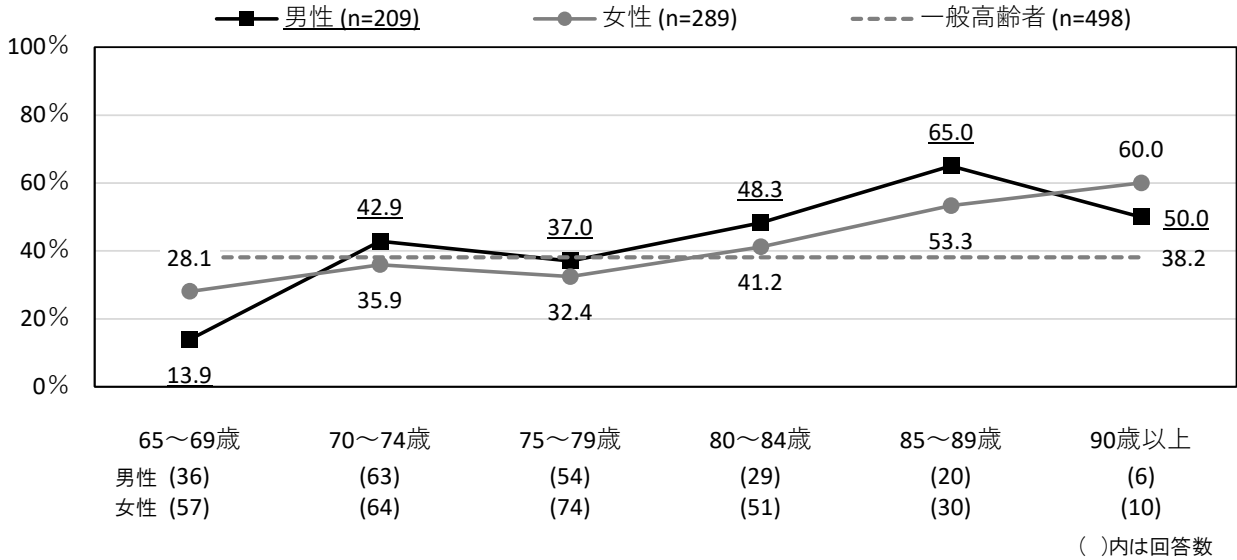


一般高齢者 (93) (127) (128) (80) (50) (16)
 要支援認定者等 (2) (6) (6) (8) (13) (9)
 ()内は回答数

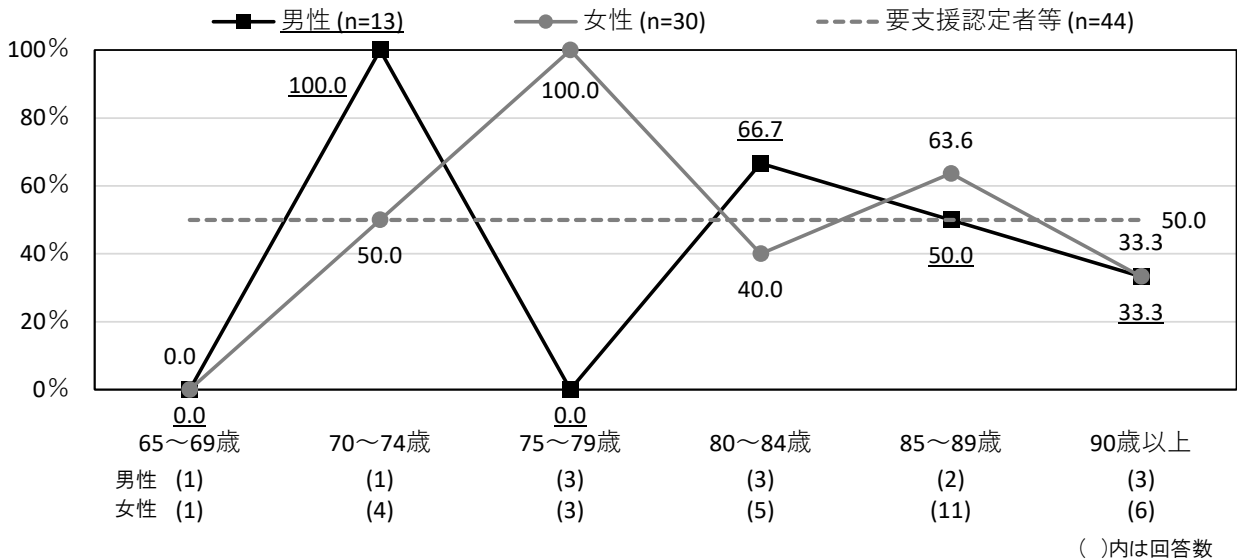
■性別・年齢階級別

性別・年齢階級別で見ると、一般高齢者では、男女ともに年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向にあり、男性では85～89歳で65.0%、女性では90歳以上で60.0%と最も高くなっています。要支援認定者等では、男性は70～74歳、80～84歳で全体の割合を上回っており、女性では、75～79歳、85～89歳で全体の割合を上回っています。

【一般高齢者】



【要支援認定者等】



※サンプル数が少ないため、参考値として掲載

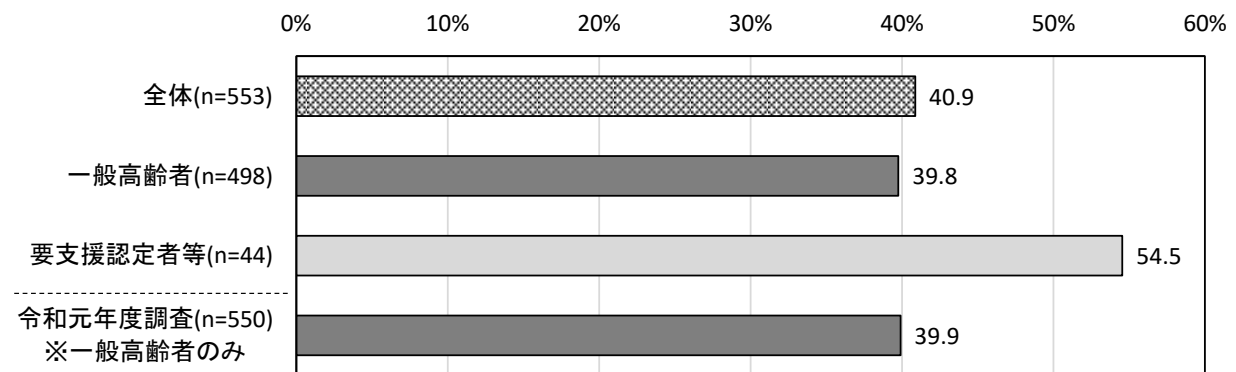
(7) うつ傾向

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

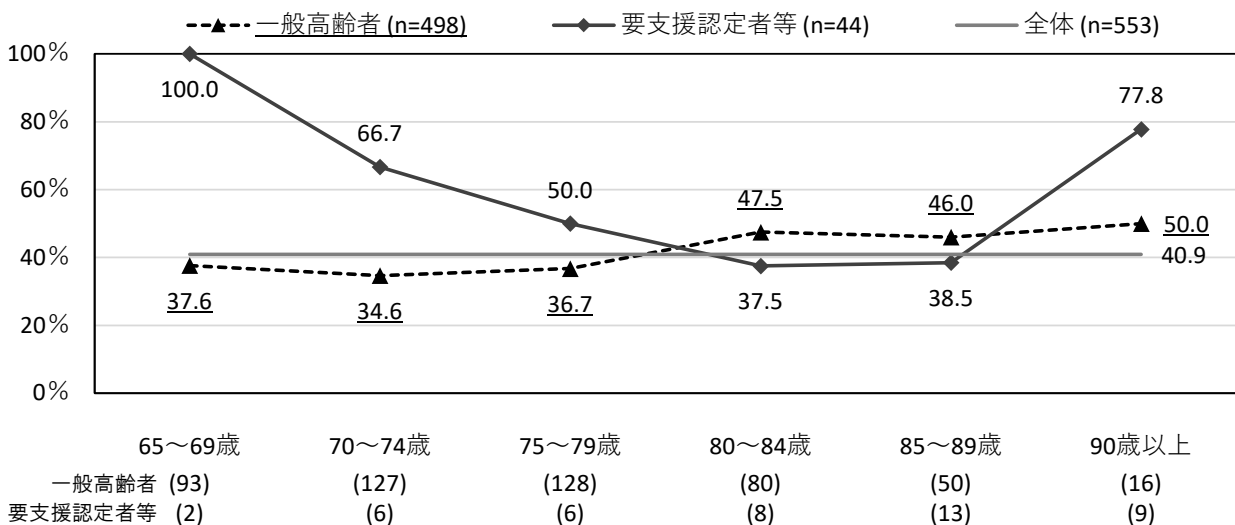
問番号	設問	該当する選択肢
問 60	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問 61	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

うつ傾向の評価結果をみると、全体で 40.9%、一般高齢者で 39.8%、要支援認定者で 54.5% が該当者となっています。令和元年度調査と比べると一般高齢者では 0.1 ポイント低くなっています。



■年齢階級別

年齢階級別でみると、一般高齢者では、80～84 歳以上で全体の割合を上回っており、90 歳以上で 50.0% と最も高くなっています。要支援認定者等では、80 歳台を除く年齢階級で全体の割合を上回っており、80 歳台でも 3 人に 1 人以上が該当となっています。



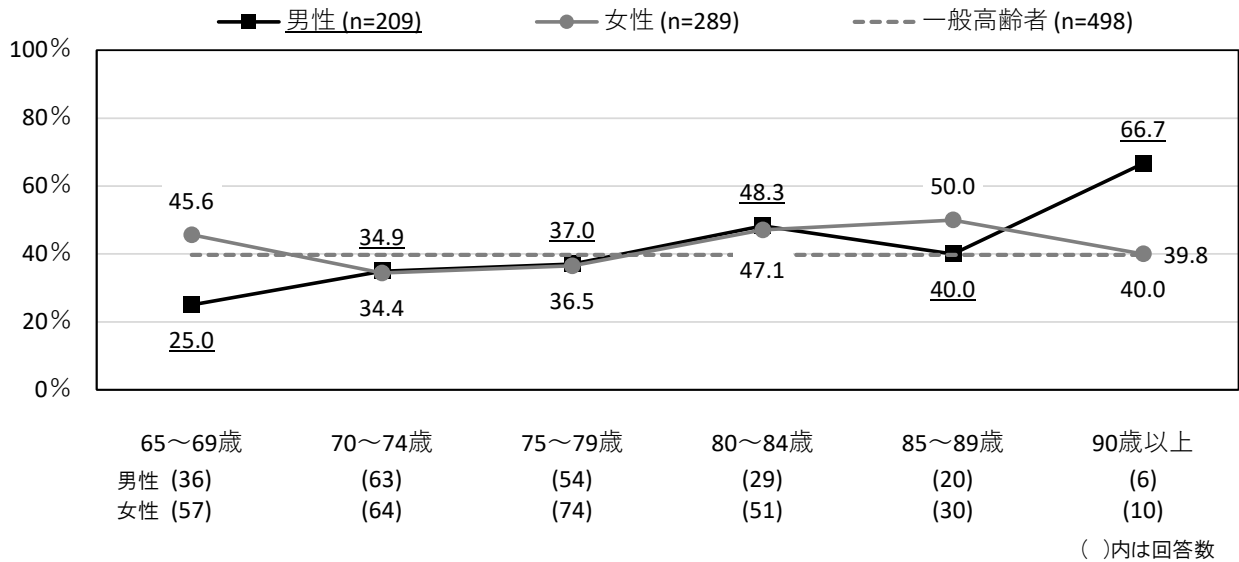
年齢階級	一般高齢者 (n=498)	要支援認定者等 (n=44)	全体 (n=553)
65～69歳	一般高齢者 (93)		
	要支援認定者等 (2)		
70～74歳	(127)	(6)	
75～79歳	(128)	(6)	
80～84歳	(80)	(8)	
85～89歳	(50)	(13)	
90歳以上	(16)	(9)	

()内は回答数

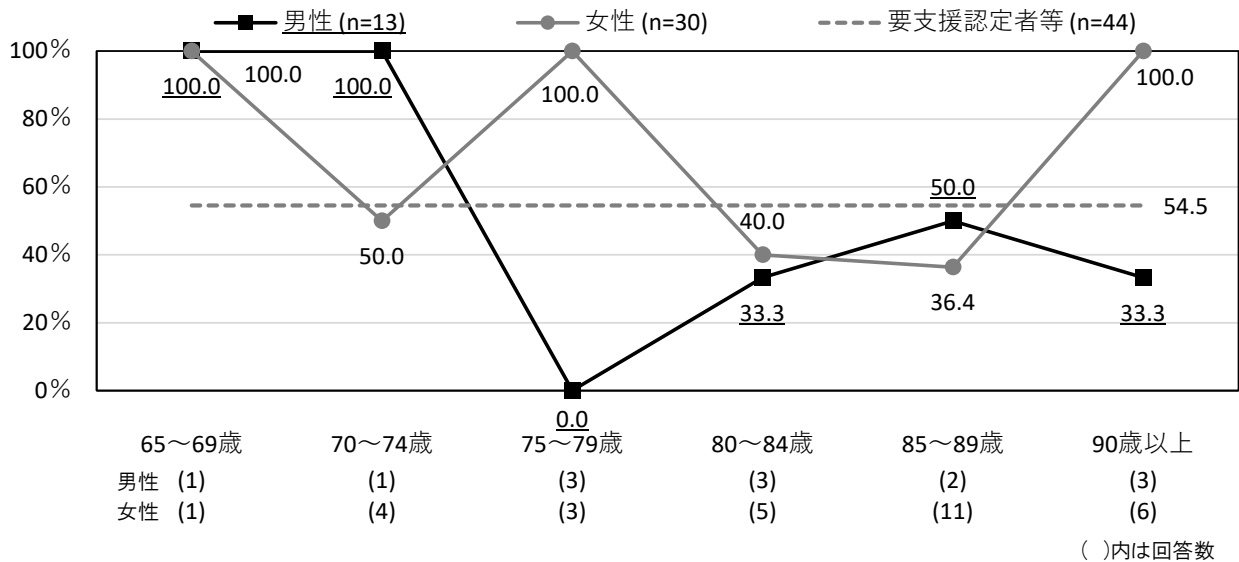
■性別・年齢階級別

性別・年齢階級別で見ると、一般高齢者では、男性は年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向にあり、90歳以上で66.7%となっています。女性では、70歳台を除く年齢階級で全体の割合を上回っており、70歳台でも3人に1人以上が該当となっています。要支援認定者等では、男性は65～69歳、70～74歳で全体の割合を上回っており、女性では、65～69歳、75～79歳、90歳以上で全体の割合を上回っています。

【一般高齢者】



【要支援認定者等】



※サンプル数が少ないため、参考値として掲載

2 日常生活

(1) 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標※には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

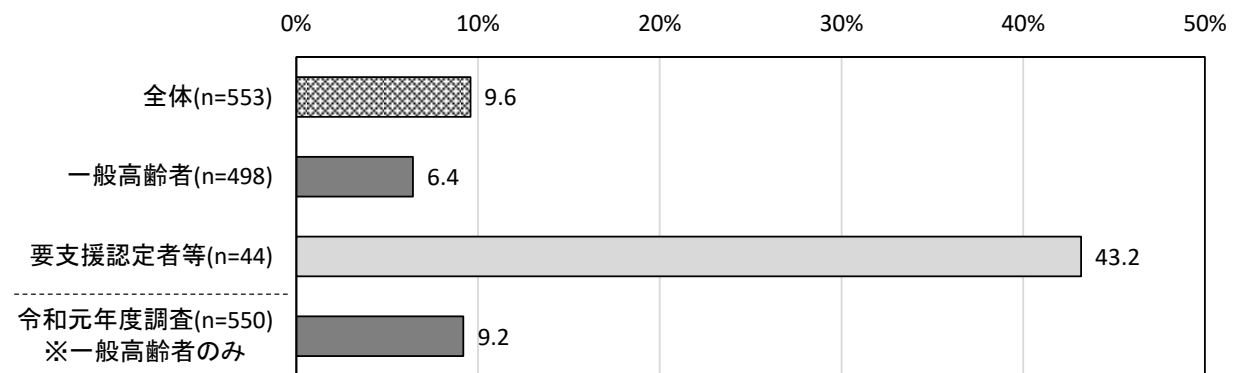
評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

※老研式活動能力指標とは、高齢者の生活機能の評価を行う指標のことを言います。

【判定設問】

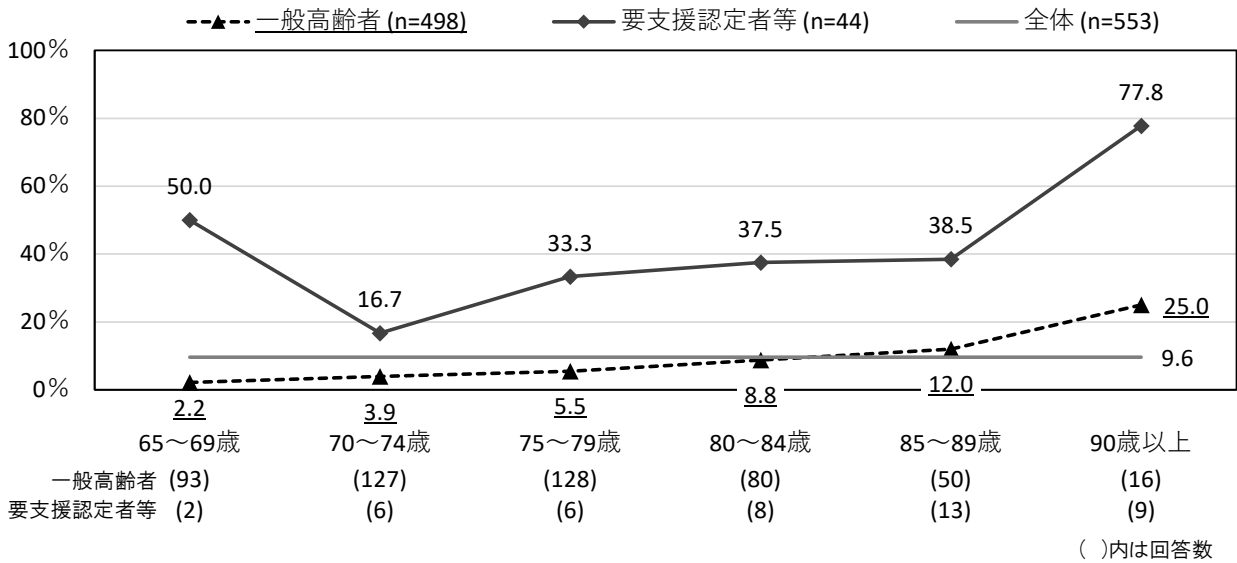
問番号	設問	該当する選択肢
問 28	バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 29	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 30	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 31	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 32	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

手段的自立度の低下者は、全体で9.6%、一般高齢者で6.4%、要支援認定者で43.2%となっています。令和元年度調査と比べると一般高齢者では2.8ポイント低くなっています。



■年齢階級別

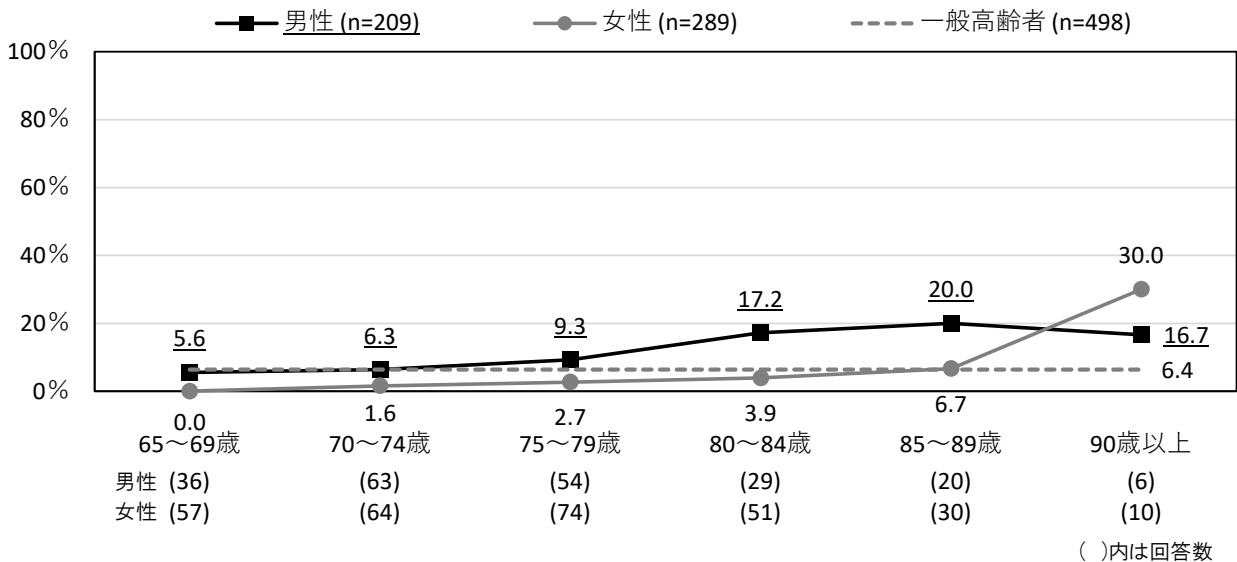
年齢階級別で見ると、一般高齢者では、年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向にあり、90歳以上で25.0%となっています。要支援認定者等では、75～79歳以上で年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向があり、90歳以上で77.8%となっています。



■性別・年齢階級別

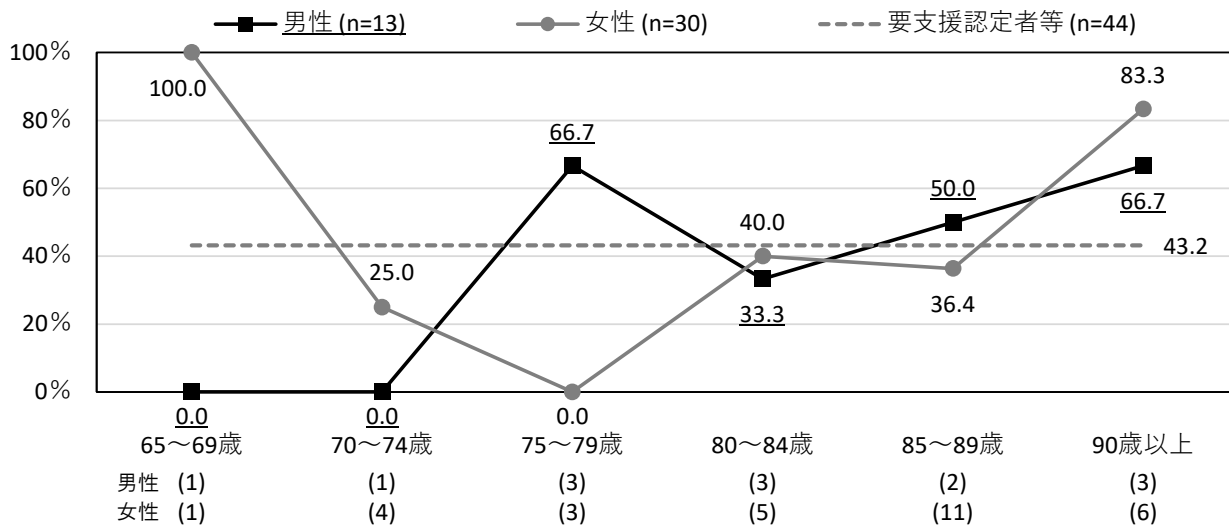
性別・年齢階級別で見ると、一般高齢者では、男女ともに年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向があり、男性では85～89歳で20.0%、女性では90歳以上で30.0%と最も高くなっています。要支援認定者等では、男性は75～79歳、85～89歳以上で全体の割合を上回っており、女性では、65～69歳、90歳以上で全体の割合を上回っています。

【一般高齢者】



Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

【要支援認定者等】



※サンプル数が少ないため、参考値として掲載

()内は回答数

3 社会参加

(1) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

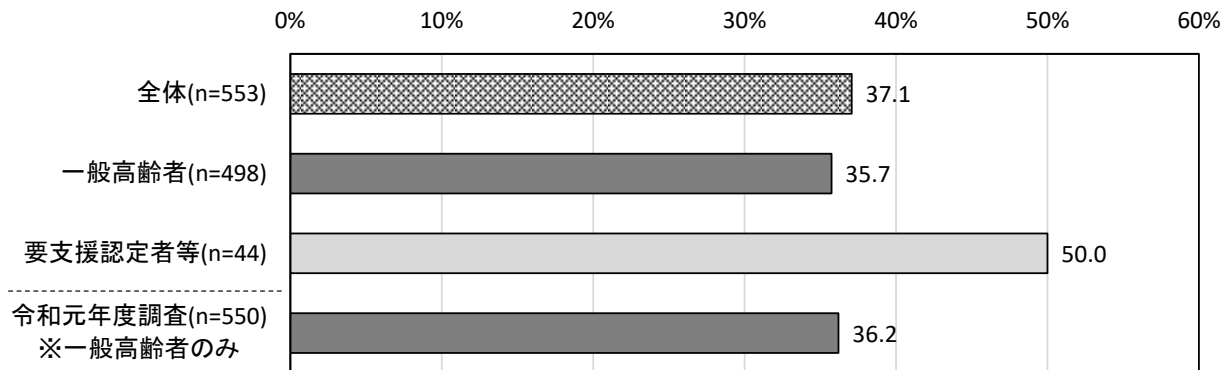
評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

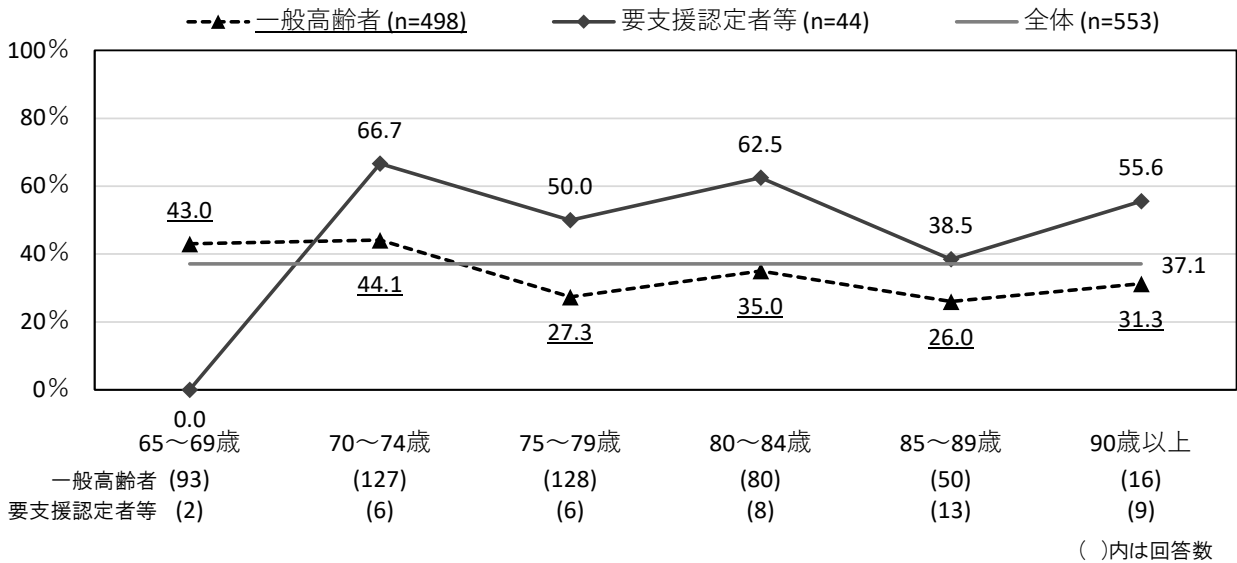
問番号	設問	該当する選択肢
問 33	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい：1点
問 34	新聞を読んでいますか	1. はい：1点
問 35	本や雑誌を読んでいますか	1. はい：1点
問 36	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい：1点

知的能動性の低下者は、全体で 37.1%、一般高齢者で 35.7%、要支援認定者で 50.0%となっています。令和元年度調査と比べると一般高齢者では 0.5 ポイント低くなっています。



■年齢階級別

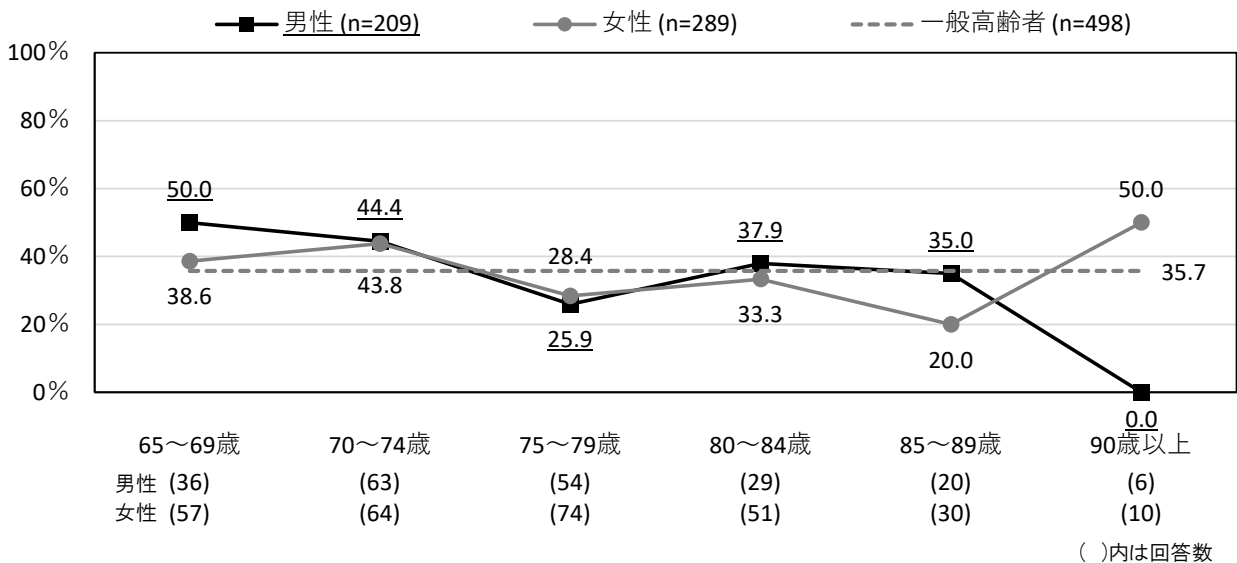
年齢階級別で見ると、一般高齢者では、年齢が高くなるにつれて割合が減少する傾向にあり、85～89歳で26.0%と最も低くなっています。要支援認定者等では、65～69歳を除くすべての年齢階級で全体の割合を上回っており、70～74歳で66.7%と最も高くなっています。



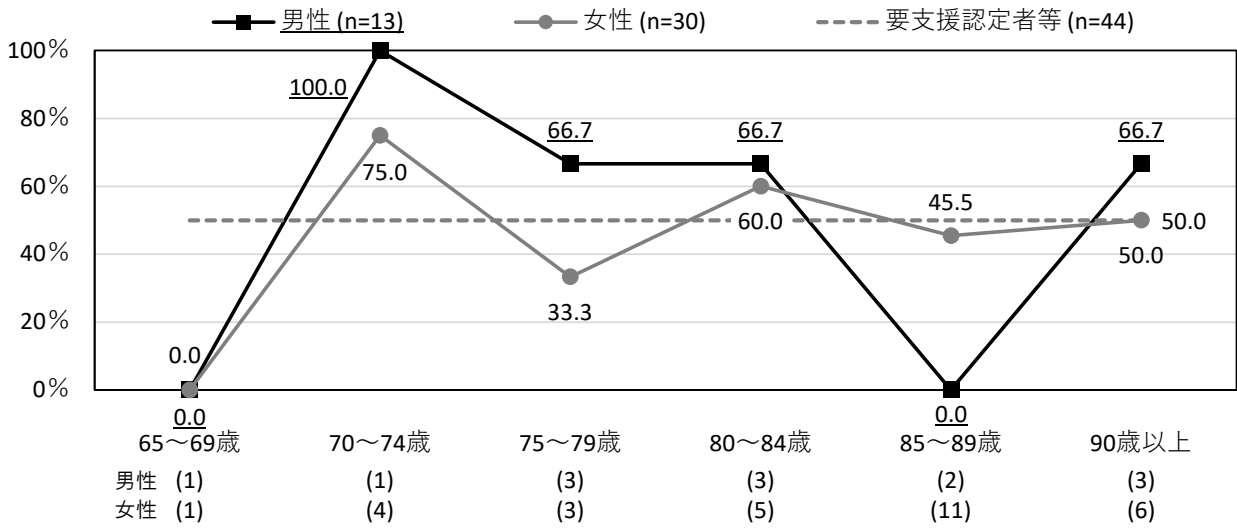
■性別・年齢階級別

性別・年齢階級別で見ると、一般高齢者では、男性は年齢が高くなるにつれて割合が減少する傾向にあり、90歳以上では0.0%となっています。女性も85～89歳までは年齢が高くなるにつれて割合が減少する傾向がありますが、90歳以上で割合が大きく増加し、50.0%となっています。要支援認定者等では、男性は65～69歳、85～89歳を除くすべての年齢階級で全体の割合を上回っており、女性では、70～74歳、80～84歳で全体の割合を上回っています。

【一般高齢者】



【要支援認定者等】



※サンプル数が少ないため、参考値として掲載

()内は回答数

(2) 社会的役割

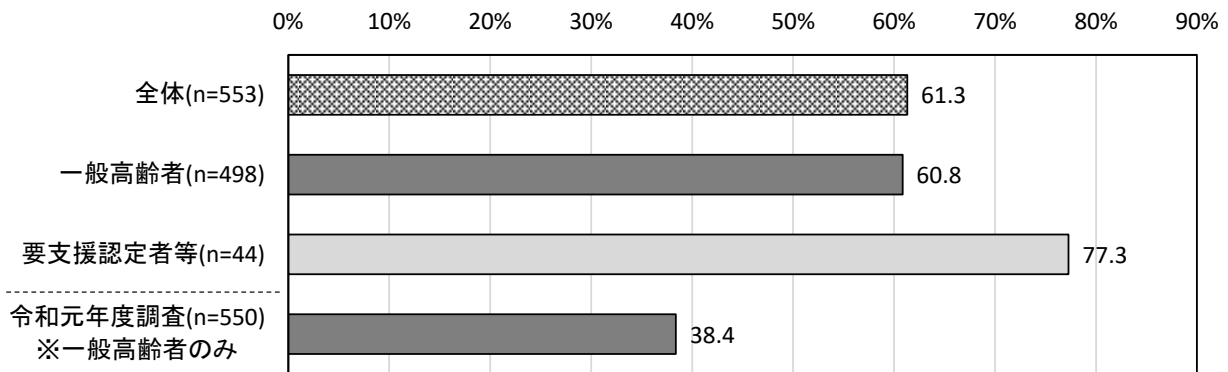
老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

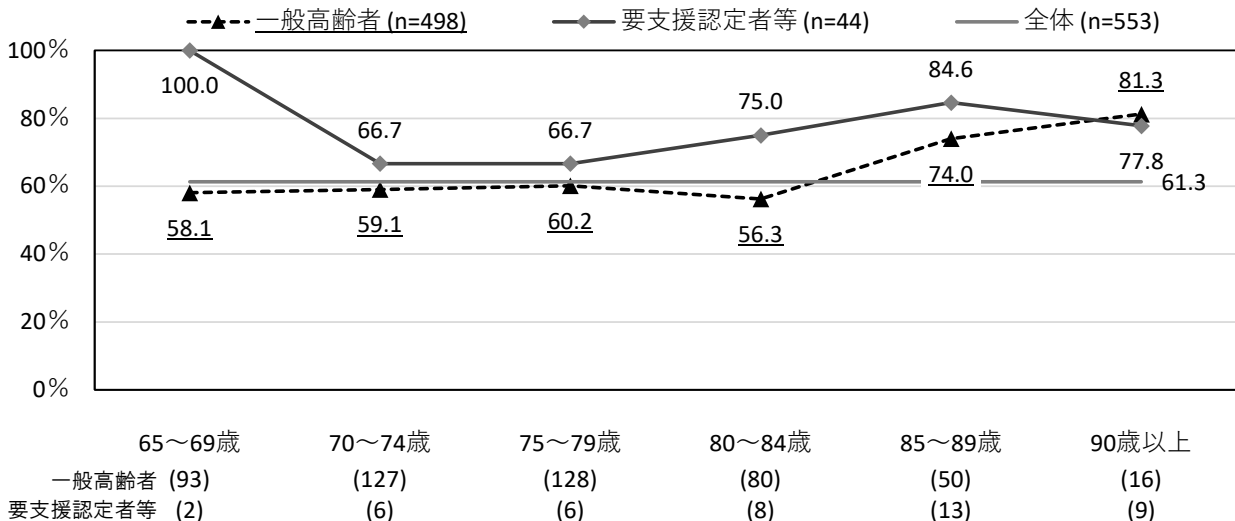
問番号	設問	該当する選択肢
問 35	友人の家を訪ねていますか	1. はい：1点
問 36	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい：1点
問 37	病人を見舞うことができますか	1. はい：1点
問 38	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい：1点

社会的役割の低下者は、全体で 61.3%、一般高齢者で 60.8%、要支援認定者で 77.3%となっています。令和元年度調査と比べると一般高齢者では 22.4 ポイント高くなっています。



■年齢階級別

年齢階級別で見ると、一般高齢者では、85～89歳以上で全体の割合を上回っており、90歳以上で 81.3%と最も高くなっています。要支援認定者等では、すべての年齢階級で全体の割合を上回っています。

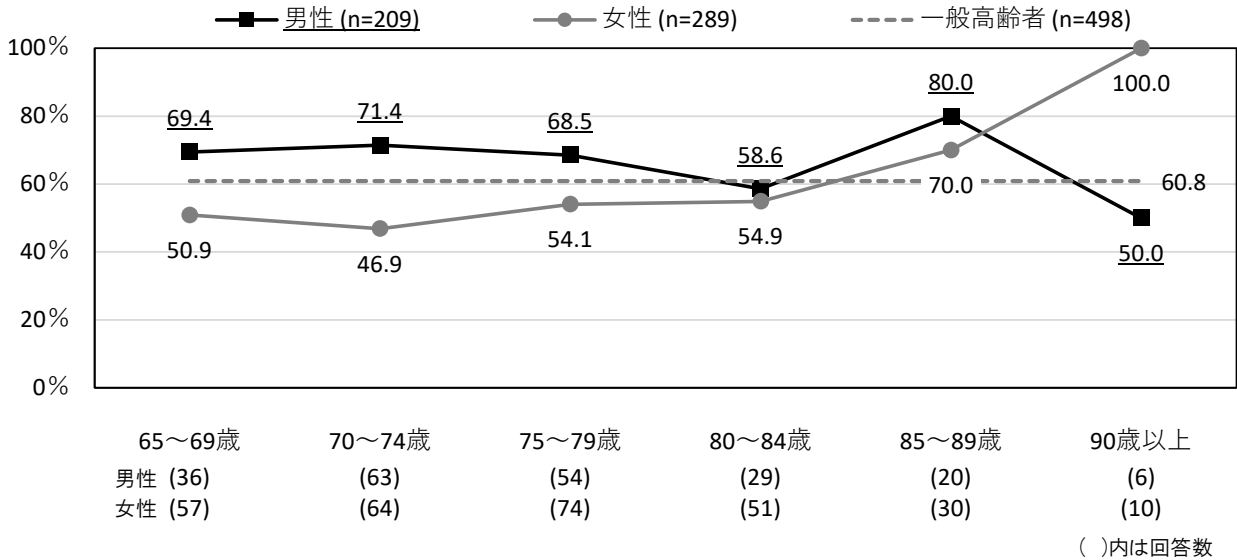


()内は回答数

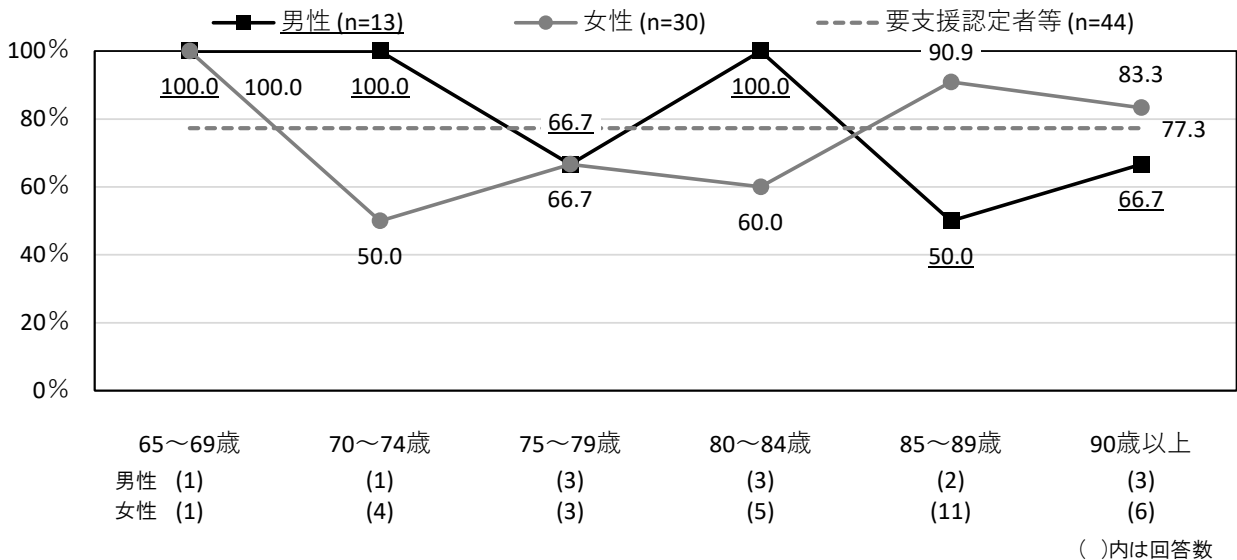
■性別・年齢階級別

性別・年齢階級別で見ると、一般高齢者では、男性はすべての年齢階級で5割以上となっており、85～89歳で80.0%と最も高くなっています。女性は年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向があり、90歳以上で100.0%となっています。要支援認定者等では、男性は65～69歳、70～74歳、80～84歳で全体の割合を上回っており、女性では、65～69歳、85～89歳以上で全体の割合を上回っています。

【一般高齢者】



【要支援認定者等】



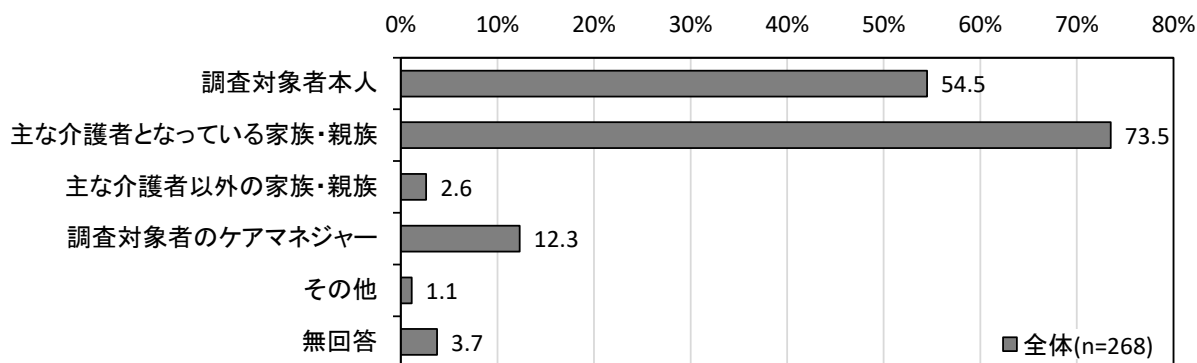
※サンプル数が少ないため、参考値として掲載

IV 在宅介護実態調査

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）

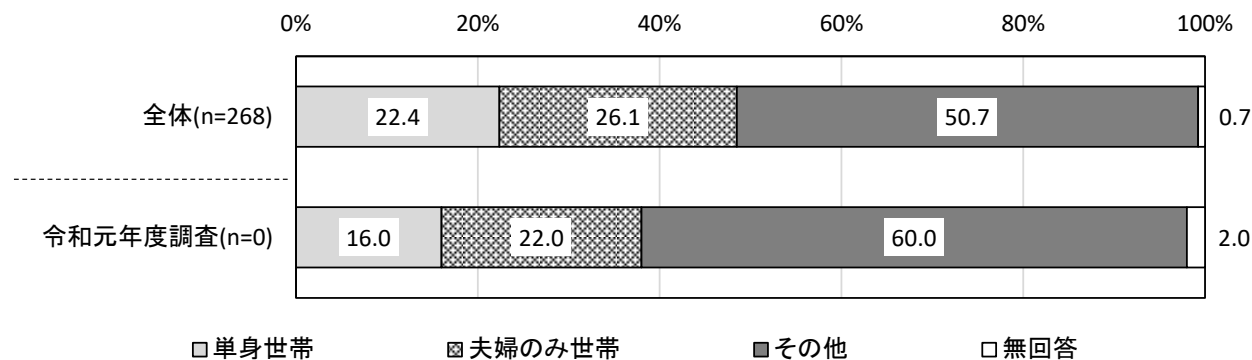
全体では、「主な介護者となっている家族・親族」が73.5%と最も高く、次いで「調査対象者本人」が54.5%、「調査対象者のケアマネジャー」が12.3%となっています。



問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

全体では、「その他」が50.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が26.1%、「単身世帯」が22.4%となっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「単身世帯」「夫婦のみ世帯」の割合が高くなっています。

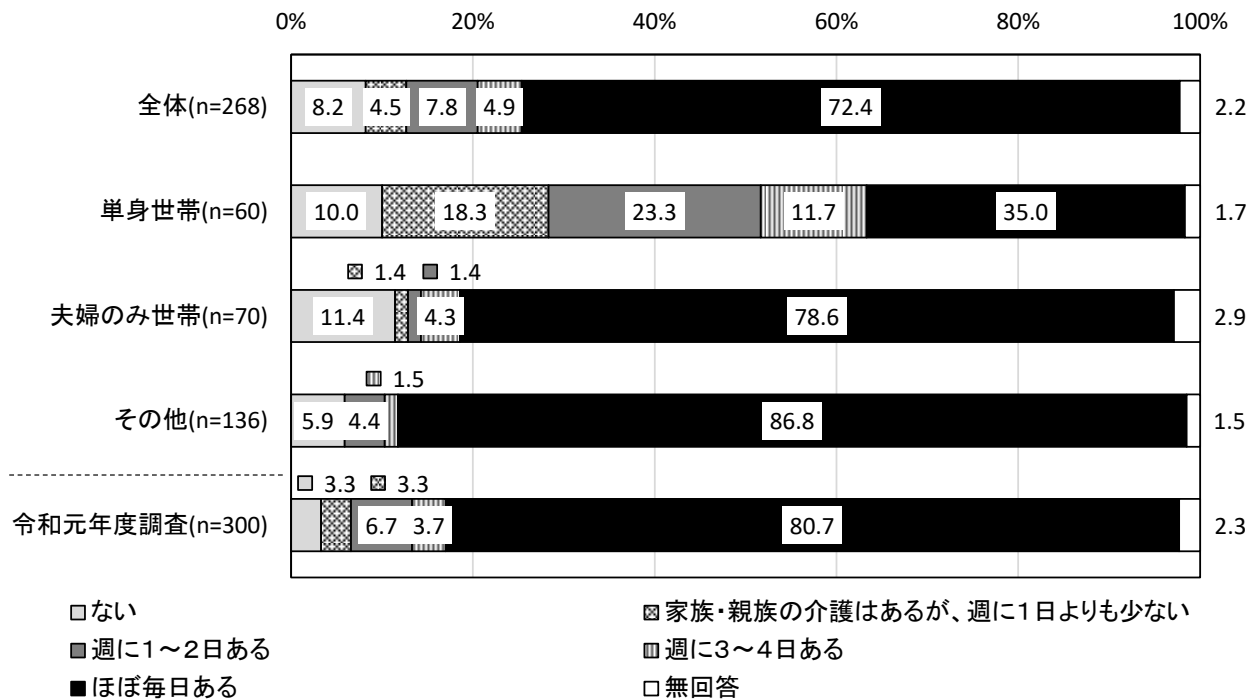


問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

全体では、「ほぼ毎日ある」が72.4%と最も高く、次いで「ない」が8.2%、「週に1～2日ある」が7.8%となっています。

世帯類型別で見ると、単身世帯では「ほぼ毎日ある」が35.0%と他の世帯類型と比べて低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「ない」の割合が特に高くなっています。



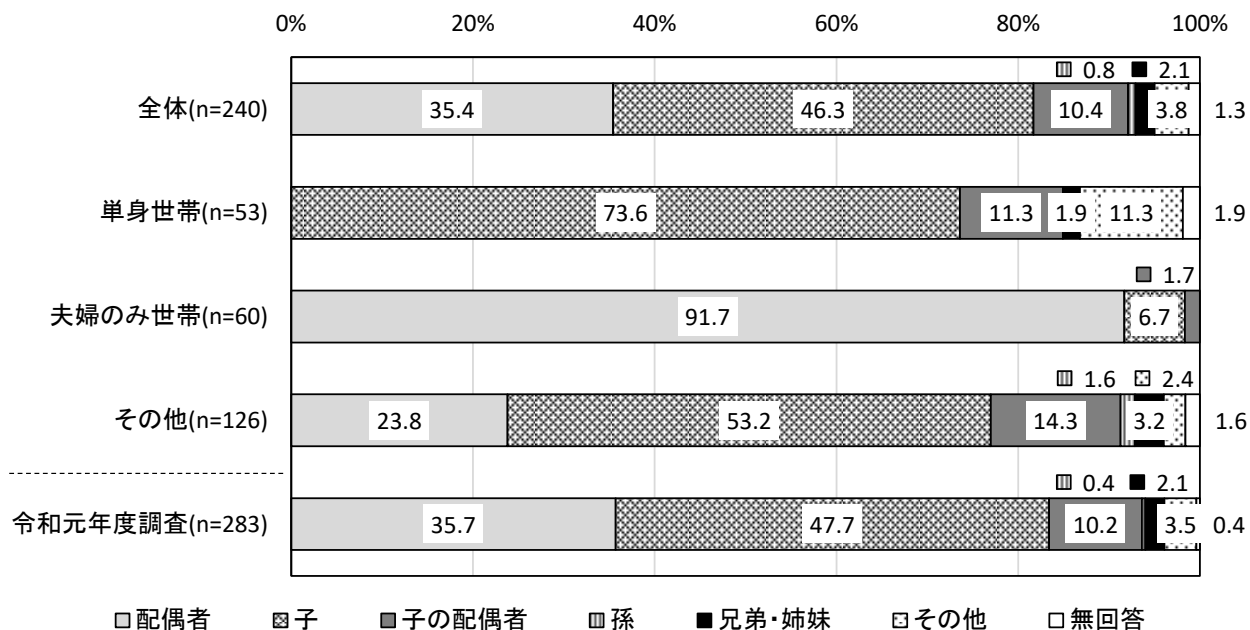
問2で「ない」以外と答えた方にお伺いします。

問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

全体では、「子」が46.3%と最も高く、次いで「配偶者」が35.4%、「子の配偶者」が10.4%となっています。

世帯類型別で見ると、単身世帯では「子」が73.6%、夫婦のみ世帯では「配偶者」が91.7%と他の世帯類型と比べて高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体ではほぼ同様の割合となっています。



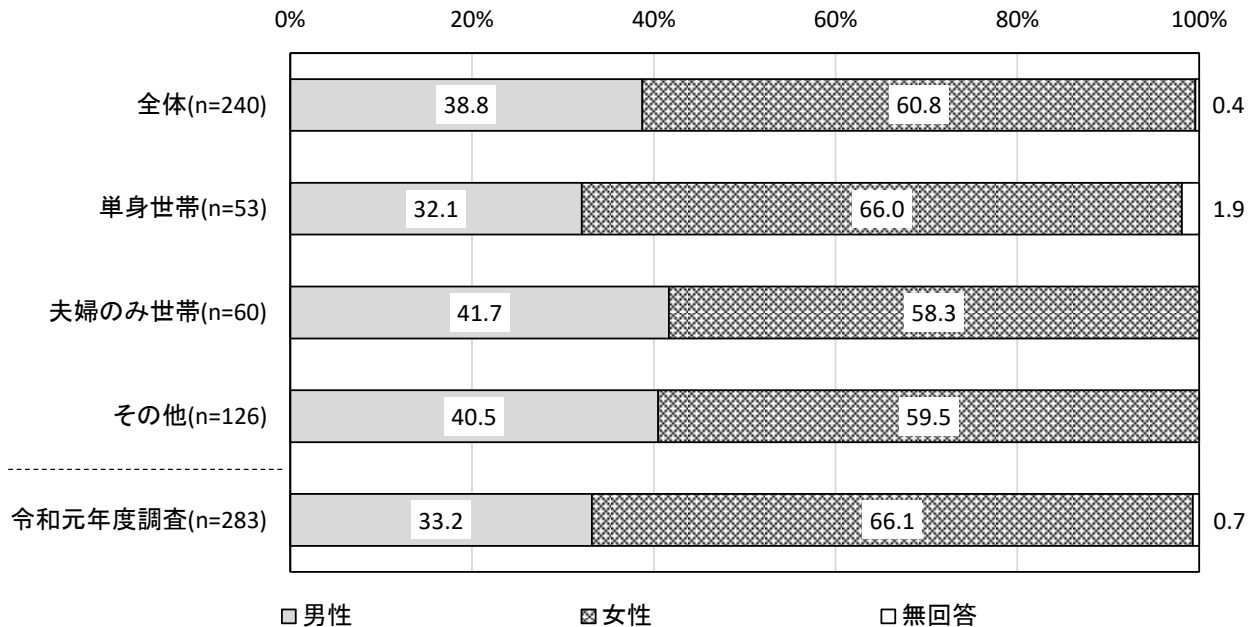
問2で「ない」以外と答えた方にお伺いします。

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

全体では、「男性」が38.8%、「女性」が60.8%となっています。

世帯類型別で見ると、すべての世帯類型で「女性」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「男性」の割合が高くなっています。



問2で「ない」以外と答えた方にお伺いします。

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

全体では、「50代」が26.3%と最も高く、次いで「60代」が25.8%、「70代」が20.4%となっています。

世帯類型別で見ると、単身世帯、その他では「50代」、夫婦のみ世帯では「80歳以上」が最も高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「40代」「50代」の割合が高くなっています。

		20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
(単位: %)											
全体	(n=240)	0.0	0.0	0.4	5.8	26.3	25.8	20.4	20.0	0.4	0.8
単身世帯	(n=53)	0.0	0.0	0.0	9.4	41.5	35.8	5.7	3.8	1.9	1.9
夫婦のみ世帯	(n=60)	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	11.7	26.7	55.0	0.0	0.0
その他	(n=126)	0.0	0.0	0.8	7.1	29.4	27.8	23.8	10.3	0.0	0.8
令和元年度調査	(n=283)	0.0	0.0	0.4	0.4	6.7	29.7	24.7	21.2	16.6	0.4

問2で「ない」以外と答えた方にお伺いします。

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

全体では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が92.5%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が74.2%、「外出の付き添い、送迎等」が72.1%となっています。

世帯類型別でみると、単身世帯では多くの項目が他の世帯類型と比べて低くなっており、「服薬」「食事の準備（調理等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が特に低くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「外出の付き添い、送迎等」の割合が特に高くなっています。

		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる）	入浴・洗身	顔身・だし歯磨き等（洗）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等の付き添い、	服薬
(単位:%)										
全体	(n=240)	20.8	17.5	12.9	12.1	19.6	30.4	27.5	72.1	44.6
単身世帯	(n=53)	9.4	5.7	7.5	3.8	5.7	13.2	18.9	66.0	17.0
夫婦のみ世帯	(n=60)	13.3	11.7	8.3	8.3	15.0	25.0	21.7	70.0	43.3
その他	(n=126)	29.4	25.4	17.5	17.5	27.8	40.5	34.1	75.4	56.3
令和元年度調査	(n=283)	27.6	21.2	14.8	16.6	24.7	37.1	29.7	68.6	47.3
		認知症状への対応	ト（医療面での栄養の対応）	等食事の準備（調理）	等除（洗）	に金銭管理や生活手続き	その他	わからない	無回答	
(単位:%)										
全体	(n=240)	14.6	3.3	74.2	92.5	63.3	27.5	0.8	1.3	
単身世帯	(n=53)	5.7	1.9	35.8	81.1	45.3	26.4	3.8	3.8	
夫婦のみ世帯	(n=60)	13.3	1.7	83.3	93.3	63.3	18.3	0.0	1.7	
その他	(n=126)	19.0	4.8	85.7	96.8	70.6	32.5	0.0	0.0	
令和元年度調査	(n=283)	15.2	1.4	77.4	93.3	66.8	2.8	0.0	0.4	

問2で「ない」以外と答えた方にお伺いします。

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

全体では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が89.6%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が3.8%となっています。

世帯類型別でみると、その他では「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が5.6%と他の世帯類型と比べて高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が高くなっています。

		主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な親族が転職した	介護のため家族・親族に仕事をしない	わからない	無回答
(単位: %)								
全体	(n=240)	3.8	0.4	1.3	0.0	89.6	0.8	4.6
単身世帯	(n=53)	1.9	0.0	0.0	0.0	81.1	1.9	15.1
夫婦のみ世帯	(n=60)	1.7	0.0	0.0	0.0	98.3	0.0	1.7
その他	(n=126)	5.6	0.8	2.4	0.0	88.9	0.8	1.6
令和元年度調査	(n=283)	2.8	0.4	1.4	0.0	94.0	0.0	1.4

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

全体では、「利用していない」が71.6%と最も高く、次いで「配食」が13.1%となっています。世帯類型別でみると、単身世帯では「配食」が23.3%、「ゴミ出し」が8.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が6.7%と他の世帯類型と比べて特になくなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「ゴミ出し」の割合が特になくなっています。

		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	福祉サービス（介護・移送タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な場	その他	利用していない	無回答
(単位: %)													
全体	(n=268)	13.1	1.1	1.9	1.1	3.0	2.2	1.9	0.7	1.9	3.0	71.6	5.6
単身世帯	(n=60)	23.3	1.7	1.7	1.7	8.3	6.7	1.7	3.3	1.7	3.3	58.3	5.0
夫婦のみ世帯	(n=70)	10.0	0.0	1.4	1.4	0.0	1.4	1.4	0.0	2.9	0.0	78.6	4.3
その他	(n=136)	9.6	1.5	2.2	0.7	2.2	0.7	2.2	0.0	1.5	4.4	75.0	5.9
令和元年度調査	(n=300)	12.0	0.3	2.7	0.3	0.3	1.3	1.3	0.3	1.0	3.0	77.3	2.7

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

全体では、「特になし」が32.8%と最も高く、次いで「サロンなどの定期的な通いの場」が30.6%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が16.0%となっています。

世帯類型別でみると、単身世帯では「配食」が15.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が21.7%、「見守り、声かけ」が10.0%、「サロンなどの定期的な通いの場」が36.7%と他の世帯類型と比べて高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「サロンなどの定期的な通いの場」の割合が特に高くなっています。

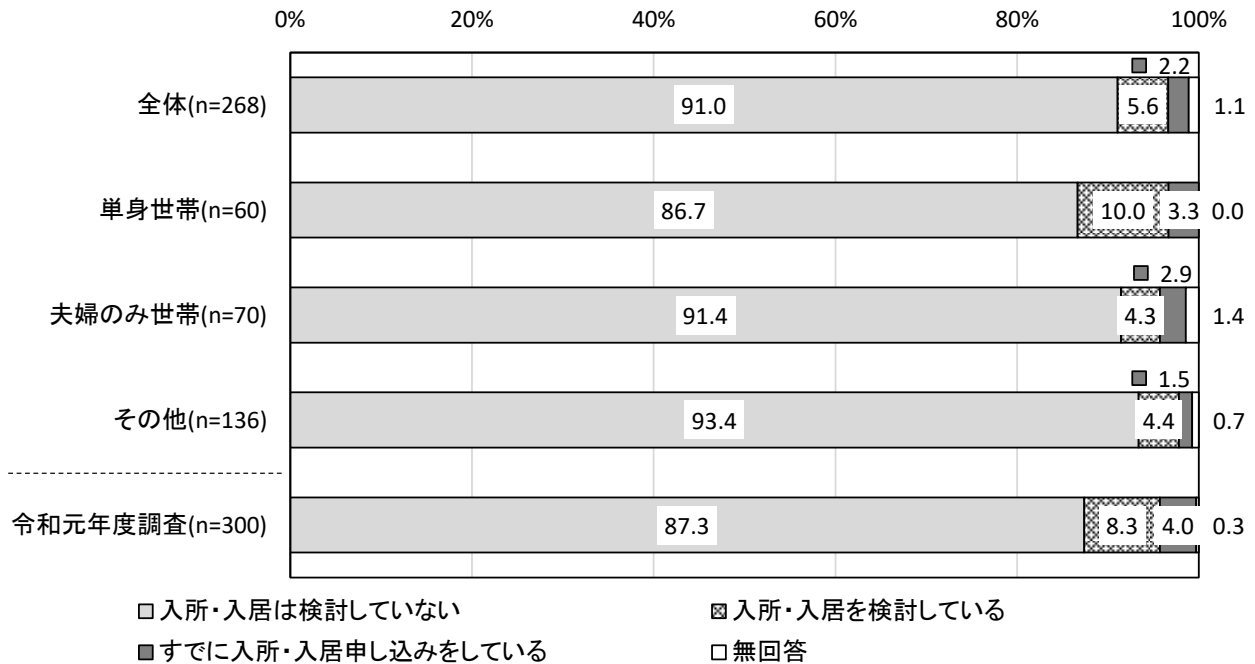
		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	福祉タクシー等（介護・移送サービス）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
(単位：%)													
全体	(n=268)	8.6	3.0	5.6	3.7	3.4	13.1	16.0	6.7	30.6	10.4	32.8	6.0
単身世帯	(n=60)	15.0	6.7	6.7	6.7	6.7	21.7	16.7	10.0	36.7	13.3	20.0	8.3
夫婦のみ世帯	(n=70)	8.6	2.9	8.6	4.3	1.4	7.1	18.6	2.9	25.7	5.7	35.7	4.3
その他	(n=136)	5.1	1.5	3.7	2.2	2.9	12.5	14.7	6.6	30.9	11.8	37.5	5.1
令和元年度調査	(n=300)	10.3	6.3	7.7	4.3	3.3	5.3	8.7	3.7	20.3	9.0	48.0	3.0

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

全体では、「入所・入居は検討していない」が91.0%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が5.6%となっています。

世帯類型別で見ると、単身世帯では「入所・入居を検討している」が10.0%と他の世帯類型と比べて高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっています。



問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

全体では、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が28.0%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が22.8%、「心疾患（心臓病）」が20.1%となっています。なお、「その他」も40.3%と高くなっています。

世帯類型別でみると、単身世帯では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が31.7%、「変形性関節疾患」が20.0%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が35.0%と他の世帯類型と比べて特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「糖尿病」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が特に高くなっています。

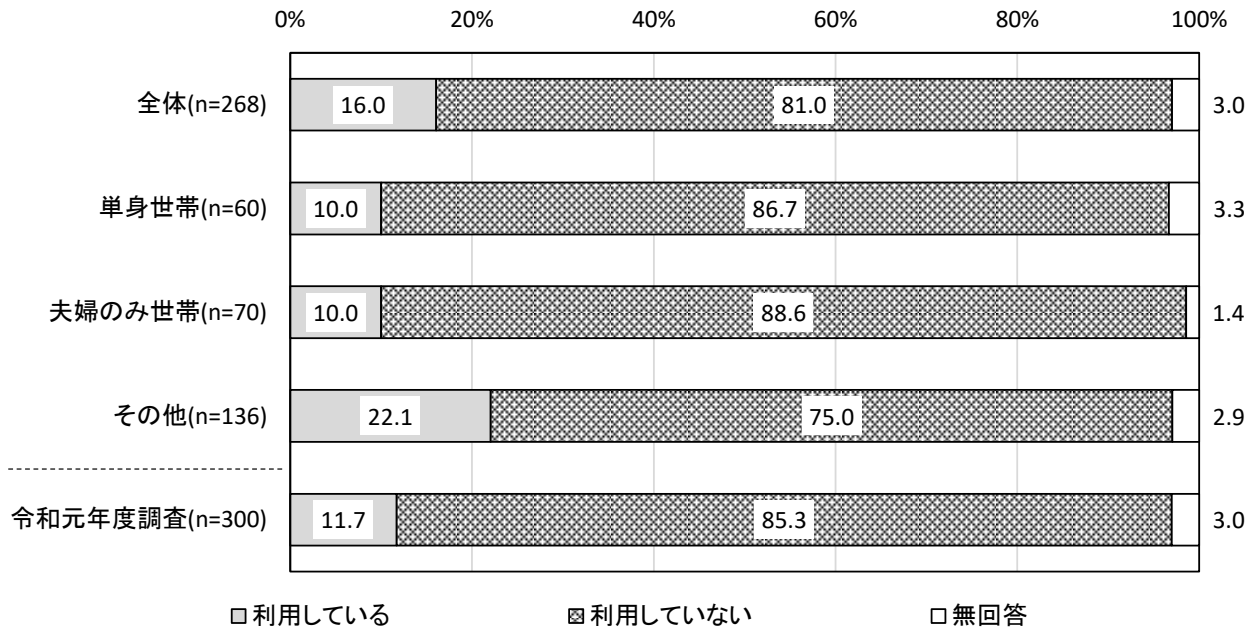
(単位：%)		中脳血管疾患（脳卒	心疾患（心臓病）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	膠原病（関節リウマチ含む）	変形性関節疾患	認知症
全体	(n=268)	19.8	20.1	10.4	9.0	5.2	28.0	4.5	13.1	13.4
単身世帯	(n=60)	13.3	21.7	11.7	8.3	3.3	31.7	3.3	20.0	11.7
夫婦のみ世帯	(n=70)	24.3	20.0	11.4	10.0	2.9	25.7	4.3	17.1	12.9
その他	(n=136)	20.6	19.9	9.6	8.8	7.4	27.2	5.1	8.1	14.7
令和元年度調査	(n=300)	22.3	25.3	9.0	8.3	4.7	34.7	6.3	14.3	21.3

(単位：%)		パーキンソン病	難病（パーキンソン病を除く）	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患を伴うもの（視覚・聴覚障害）	その他	なし	わからない	無回答
全体	(n=268)	3.7	0.7	16.0	22.8	40.3	3.7	0.0	0.7
単身世帯	(n=60)	5.0	1.7	16.7	35.0	41.7	6.7	0.0	0.0
夫婦のみ世帯	(n=70)	2.9	0.0	17.1	17.1	35.7	0.0	0.0	0.0
その他	(n=136)	3.7	0.7	15.4	20.6	42.6	4.4	0.0	0.7
令和元年度調査	(n=300)	3.0	1.7	13.0	20.7	24.3	3.3	0.0	0.3

問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

全体では、「利用している」が16.0%、「利用していない」が81.0%となっています。
世帯類型別でみると、その他では「利用している」が22.1%と他の世帯類型と比べて高くなっています。

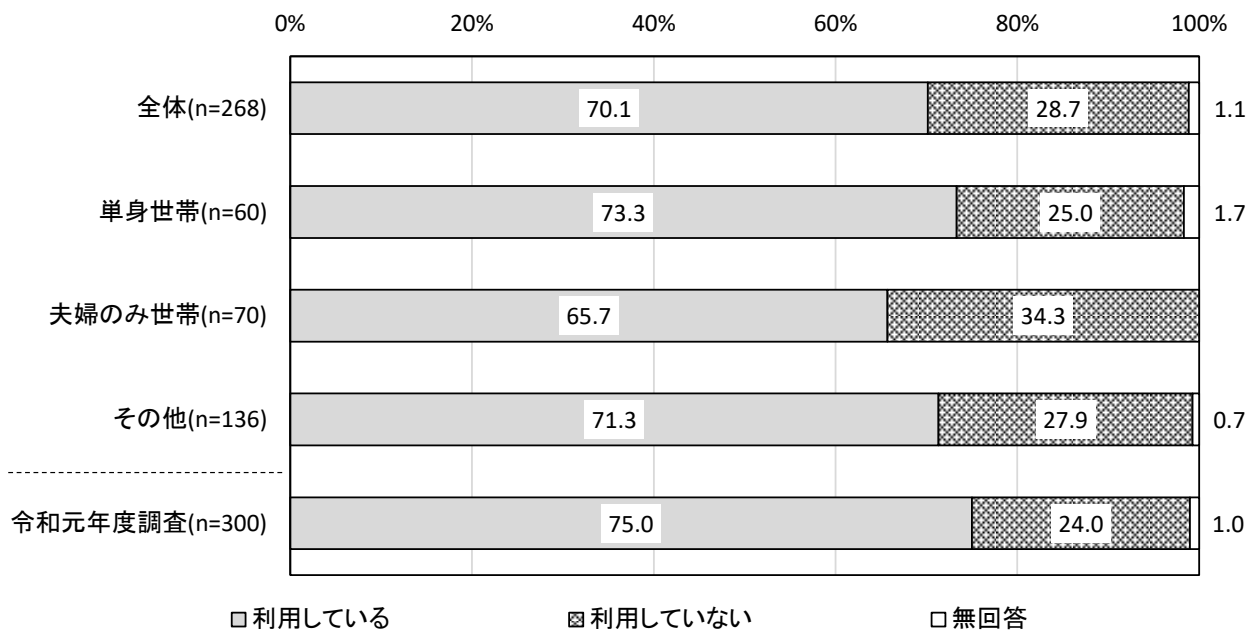
令和元年度調査と比べると、全体では「利用している」の割合が高くなっています。



問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

全体では、「利用している」が70.1%、「利用していない」が28.7%となっています。
世帯類型別でみると、夫婦のみ世帯では「利用していない」が34.3%と他の世帯類型と比べて高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「利用していない」の割合が高くなっています。



問13で「利用していない」と答えた方にお伺いします。

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

全体では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が55.8%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が13.0%、「家族が介護をするため必要ない」が11.7%となっています。

世帯類型別でみると、単身世帯では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が66.7%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が6.7%、夫婦のみ世帯では「家族が介護をするため必要ない」が20.8%と他の世帯類型と比べて特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が高くなっています。

(単位:%)		現状では利用している、ほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前に利用しなかった	支払いが難しい	近所に利用できないサービス	賃貸・住宅購入・リフォームの費用が	がサービスを利用できない	その他	無回答
全体	(n=77)	55.8	13.0	11.7	1.3	1.3	0.0	2.6	1.3	10.4	10.4
単身世帯	(n=15)	66.7	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	13.3	6.7
夫婦のみ世帯	(n=24)	45.8	16.7	20.8	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	12.5
その他	(n=38)	57.9	15.8	5.3	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0	13.2	10.5
令和元年度調査	(n=72)	27.8	29.2	16.7	1.4	1.4	0.0	2.8	1.4	13.9	11.1

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

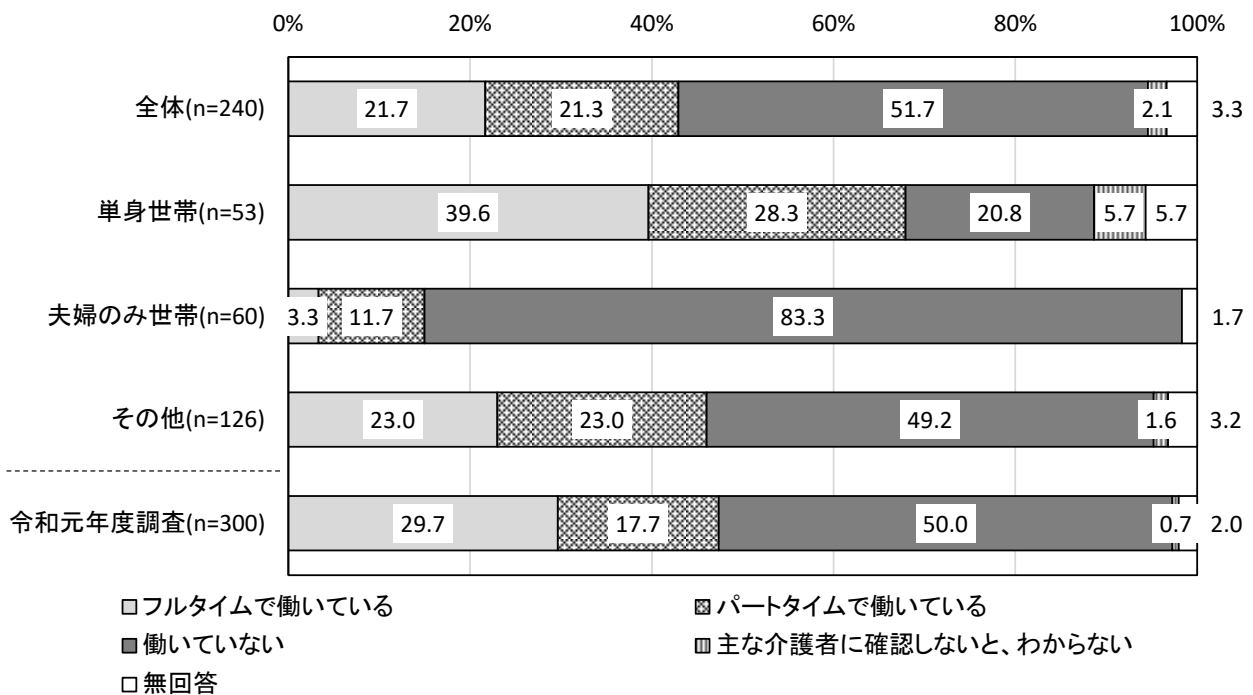
※B票は、A票の『問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）』において「ない」以外と答えた方にお伺いします。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

全体では、「働いていない」が51.7%と最も高く、「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせた『働いている』は43.0%となっています。

世帯類型別で見ると、単身世帯では『働いている』が67.9%、夫婦のみ世帯では「働いていない」が83.3%と他の世帯類型と比べて高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では『働いている』が4.4ポイント低くなっています。



問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と答えた方にお伺いします。

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか
(複数選択可)

全体では、「特に行っていない」が36.9%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が33.0%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が15.5%となっています。

世帯類型別でみると、単身世帯では「特に行っていない」が47.2%、夫婦のみ世帯では「介護のために、左記以外の調整をしながら、働いている」が22.2%、その他では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が41.4%と他の世帯類型と比べて特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「特に行っていない」の割合が低くなっています。

		特に行っていない	「出・早・残の調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」を取りながら、働いている	「介護のために、休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」を利用しながら、「在宅勤務」を働いている	「介護のために、左記以外の調整をしながら、働いている」	「主な介護者に確認しないと、わからない」	無回答
(単位: %)								
全体	(n=103)	36.9	33.0	15.5	4.9	5.8	7.8	1.9
単身世帯	(n=36)	47.2	22.2	8.3	5.6	5.6	11.1	2.8
夫婦のみ世帯	(n=9)	22.2	22.2	11.1	0.0	22.2	11.1	11.1
その他	(n=58)	32.8	41.4	20.7	5.2	3.4	5.2	0.0
令和元年度調査	(n=142)	47.2	32.4	14.8	3.5	3.5	0.7	0.7

問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と答えた方にお伺いします。

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

全体では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.1%と最も高く、次いで「特にない」が21.4%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が20.4%となっています。

世帯類型別でみると、夫婦のみ世帯では「仕事と介護の両立に関する情報の提供」が11.1%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が22.2%、「特にない」が33.3%と他の世帯類型と比べて特に高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「特にない」の割合が高くなっています。

		め自 営業・ 勤め先 はフリー ランス 等のた た	の介 護休 業・ 介 護休 暇等 の制 度	り制 度 を 利 用 し や す い 職 場 づ く	レ 働 時 間 の 柔 軟 な 選 択 （ フ レ ク ス タ イ ム 制 な ど ）	務働 ・テ レワ ーク な ど （ 在 宅 勤 ）	報仕 事 と 介 護 の 両 立 に 関 する 情 報 の 提 供	担介 護 に 関 する 相 談 窓 口 ・ 相 談 者 の 設 置	済介 護 を し て い る 従 業 員 へ の 経 済 的 な 支 援	そ の 他	特 に な い	主 な 介 護 者 に 確 認 し な い と、 わ か ら な い	無 回 答
(単位:%)													
全体	(n=103)	8.7	30.1	18.4	20.4	3.9	1.9	0.0	9.7	1.0	21.4	13.6	14.6
単身世帯	(n=36)	8.3	30.6	16.7	13.9	2.8	2.8	0.0	5.6	2.8	16.7	16.7	19.4
夫婦のみ世帯	(n=9)	0.0	33.3	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	33.3	11.1	22.2
その他	(n=58)	10.3	29.3	22.4	24.1	5.2	0.0	0.0	10.3	0.0	22.4	12.1	10.3
令和元年度調査	(n=142)	12.7	26.8	16.2	26.8	5.6	7.7	2.8	12.7	1.4	19.0	14.8	8.5

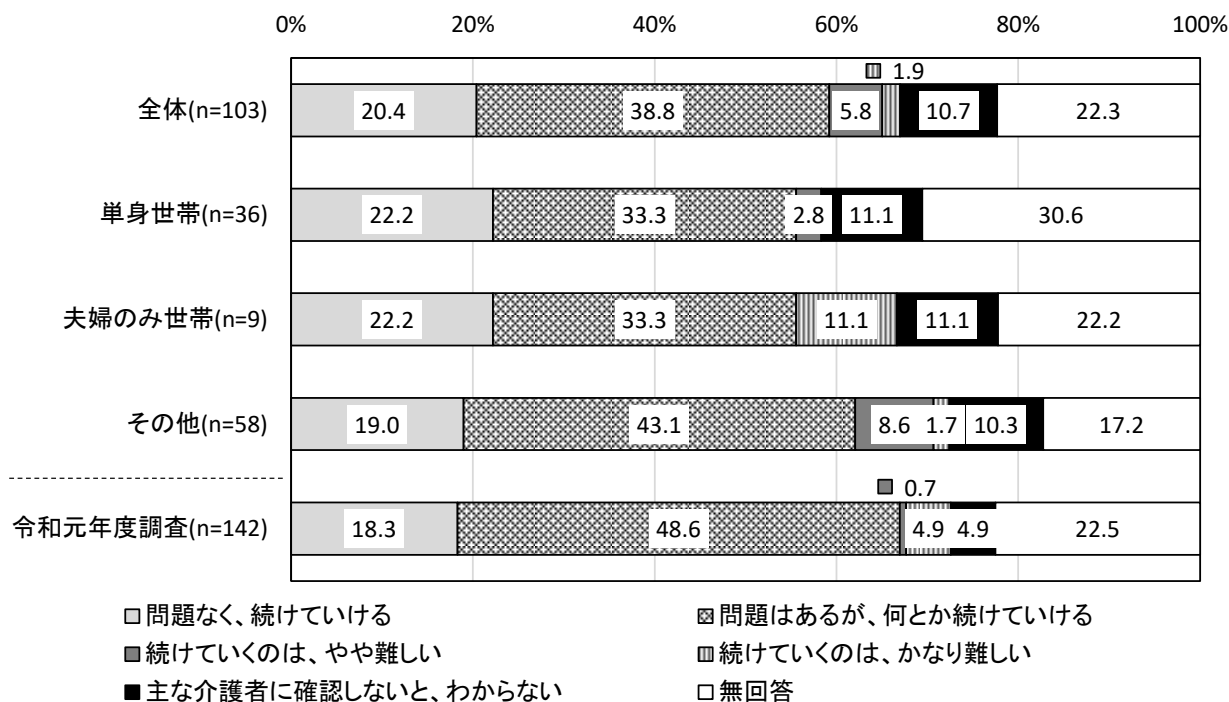
問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と答えた方にお伺いします。

問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

全体では、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた『続けていける』が59.2%、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『続けていくのは難しい』が7.7%となっています。

世帯類型別で見ると、夫婦のみ世帯では「続けていくのは、かなり難しい」が11.1%、その他では「続けていくのは、やや難しい」が8.6%と他の世帯類型と比べて高くなっています。

令和元年度調査と比べると、全体では『続けていける』が7.7ポイント低くなっており、『続けていくのは難しい』は2.1ポイント高くなっています。



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

全体では、「夜間の排泄」「不安に感じていることは、特にない」が19.2%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が17.5%、「認知症状への対応」が16.7%となっています。

世帯類型別でみると、単身世帯では「外出の付き添い、送迎等」が22.6%、「食事の準備（調理等）」が9.4%、夫婦のみ世帯では「不安に感じていることは、特にない」が31.7%と他の世帯類型と比べて特になくなっていきます。

令和元年度調査と比べると、全体では「夜間の排泄」の割合が特になくなっており、「屋内の移乗・移動」の割合が特になんなくなっています。

		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
(単位：%)										
全体	(n=240)	14.2	19.2	2.1	14.6	2.9	4.6	15.4	17.5	2.9
単身世帯	(n=53)	9.4	22.6	0.0	17.0	1.9	5.7	18.9	22.6	1.9
夫婦のみ世帯	(n=60)	10.0	11.7	1.7	8.3	0.0	3.3	13.3	18.3	3.3
その他	(n=126)	18.3	20.6	3.2	16.7	4.8	4.8	15.1	15.1	3.2
令和元年度調査	(n=300)	15.0	14.0	4.7	15.3	1.7	2.0	24.7	15.0	3.0
		認知症状への対応	ト（医療面での栄養等）	等食事の準備（調理）	等除、洗濯、家事（掃除）	に金銭管理や生活面	その他	こ不安に感じている	なしない介護者にか確認	無回答
(単位：%)										
全体	(n=240)	16.7	1.3	6.3	6.7	4.2	18.8	19.2	7.9	2.5
単身世帯	(n=53)	17.0	0.0	9.4	7.5	5.7	15.1	13.2	18.9	1.9
夫婦のみ世帯	(n=60)	10.0	0.0	5.0	8.3	3.3	20.0	31.7	3.3	3.3
その他	(n=126)	19.8	2.4	5.6	5.6	4.0	19.0	15.9	5.6	2.4
令和元年度調査	(n=300)	14.3	0.3	3.7	6.0	2.0	18.7	19.0	4.3	0.3

二宮町
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
在宅介護実態調査
調査結果報告書

発行日 令和5年3月

発行者 二宮町 健康福祉部高齢介護課

住 所 〒259-0196 神奈川県中郡二宮町二宮 961

T E L 0463-75-9542
